

水泳

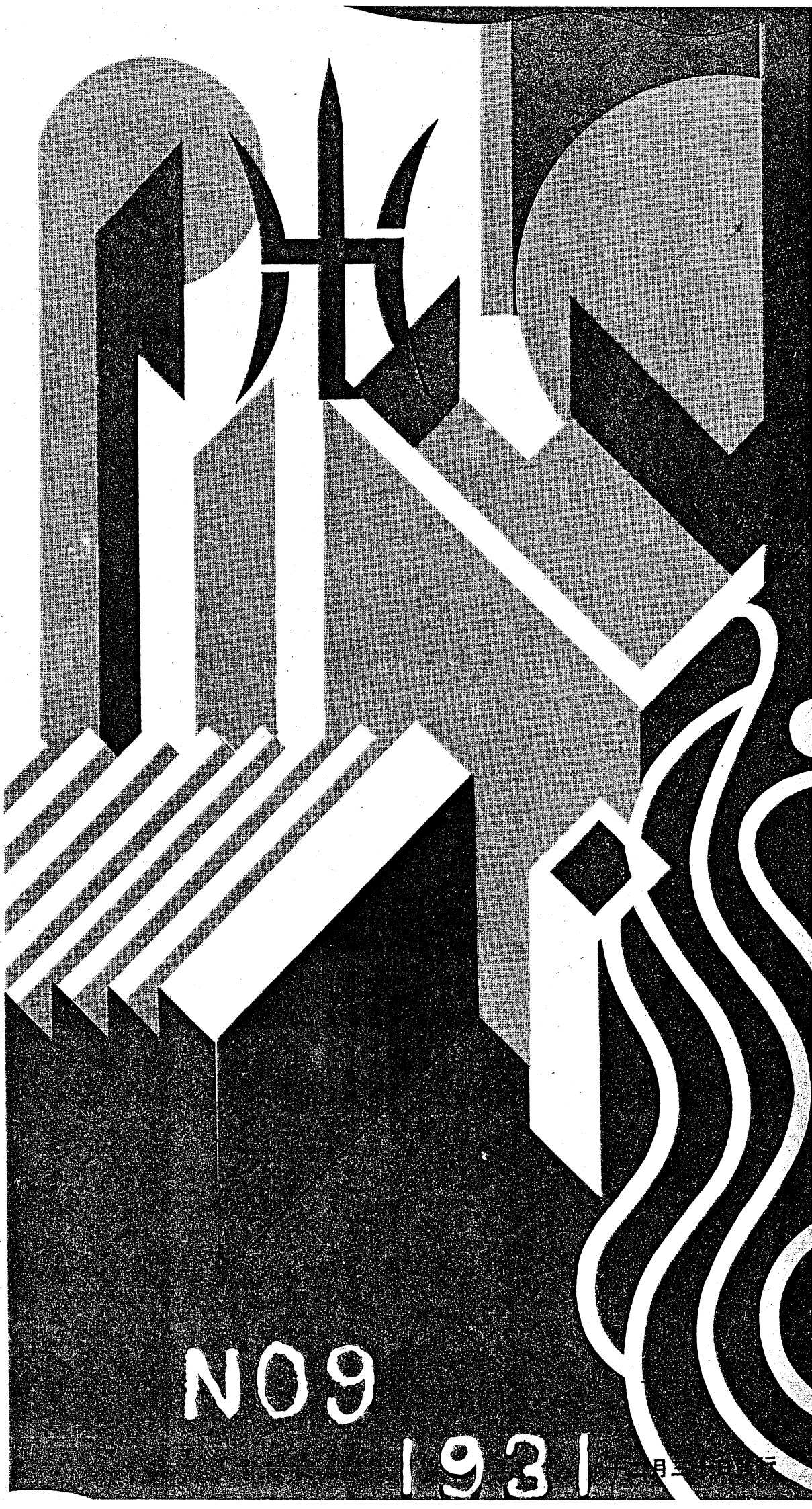
機関雜誌

日本水上競技聯盟

N09

1931

選手權大會
神宮競技
日本記錄





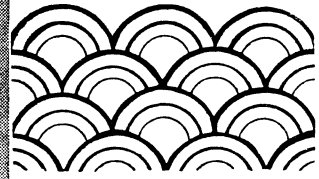
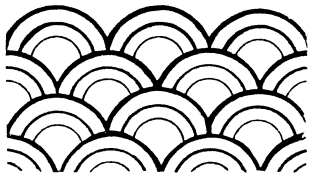
日本水上競技聯盟機關雜誌

目 次

昭和六年を顧みて	岸 清 一	(3)
神宮競技兼日本選手権大會	記 録 員	(4)
計時員から見た全日本選手権大會の結果	飯 田 光 太 郎	(8)
昭和六年神宮プール概況		(11)
昭和六年の飛込競技	島 崎 保 正	(12)
ロスアンゼルス便り	白 山 源 三 郎	(15)
昭和六年度新記録	日 本 水 上 競 技 聯 盟	(16)
日米對抗競技座談會	記 者	(21)
日米對抗雜感	Y • M • K	(23)
秩父宮同妃殿下臺覽水上競技大會	杉 本 傳	(24)
競泳發達史	市 村 魁 山	(26)
競泳選手と合宿	太 田 正 隆	(29)
スポーツ醫學の新研究	深 山 杲	(30)
臺比對抗競技		(32)
海外事情一束		(33)
競技會記事		(37)
會 報		(53)

寫 眞

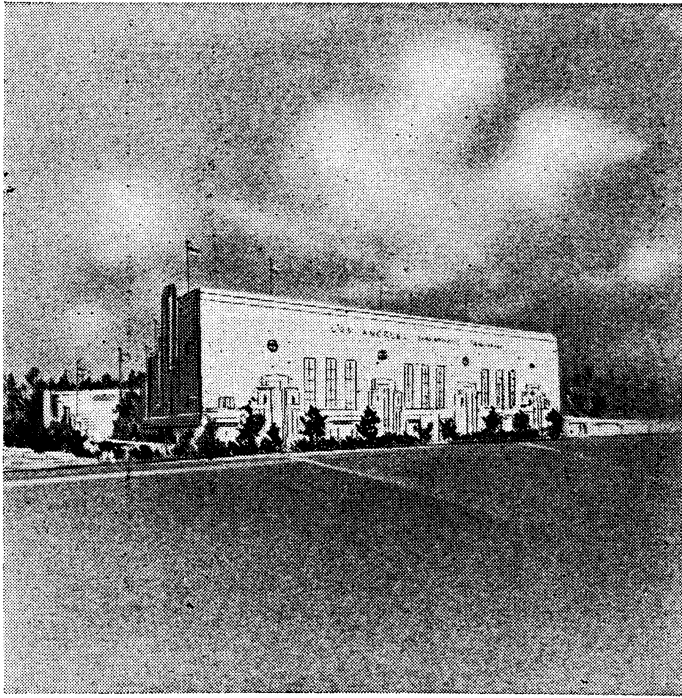
世界記録證。霸業成る。百米自由形決勝



日本水上競技聯盟

水 泳

機 關 雜 誌



昭 和 六 年

第 九 號

十 二 月 一 日

昭和六年が將さに暮れんとしてゐる。第十回オリンピック大會が愈々半年の後に迫て來た。近年華々しきギャロップを續けて來た我國の水泳界に對して、

私は此處に又新らしきトリビュートを送ることが出来るのを甚だ欣幸とするものである。

日米對抗水上競技大會の印象は私の永久に忘る可らざるものである。技術的に見て、それは世界選手權の争であり、水泳界の最上位に於ける火花の散る様な戦であつた。兩國選手は實によく泳いだ。人類の達し得る限りの水泳術を示してゐるのではないかとさへ考へられた。而して我國チームは立派に勝つた。米國チームは男らしく敗れた。私は此のゲームを考へる毎に感激に打たれるのである。

日米對抗水上競技大會は、技術的に見て最大の成功であつた許りでなく、競技會の組織と規律との方面から見ても、又觀衆のスポーツマンらしき靜肅と公平に於て、我國の競技界に新らしきスタンダードを築いた。

米國チームがエー、エー、ユーを代表する意味に於て、我國に於けるナショナル、オリンピック、コムミツティーたる大日本體育協會々長として、私は

昭 和 六 年 を 顧 み て

大 日 本 體 育 協 會 長

岸 清 一

此の大會の會長たるの光榮を有した。私はプールの傍の役員席で完全なる責任感と異常な熱心とを以て活動してゐられる末弘委員長、田畑總務主事其他の役員

諸君の姿を見、又松澤、キフアス兩監督の下に統制せらるゝ兩軍選手の舉措を見て、日本の競技會は其の組織と規律の方面に於ても亦、世界的レベルに達したることを確信した。

其後明治神宮大會に於ても、インターミドルに於ても、我國水泳選手は毎回新らしき飛躍を示した。女子の水泳選手も亦之に劣らじと素派らしき成績を残した。然し此等の華々しき成績を賞讃し且批評するには多數の専門家が居られるが故に、私は態と差控へやう。

唯だ私は我國水泳界の役員及選手諸君の多年の努力に對して、心よりの感謝を捧げたい。同時に半年の後に迫れるオリンピック大會に於ける我國チームの成功を祈りたい。而して斯かる良き選手と良き指導者とを有する我國水泳界の力を十二分に發揮せしむべき責任は、私も亦其の一半を負はなければならぬことを痛感して、一層身心の引緊るのを覚えるのである。（カットはロス・アンゼルスプール正面）



第六回明治神宮體育大會水上競技大會

昭和六年度全日本選手権水上競技大會

明治神宮競技も回を重ねると共にその質に量に益々隆盛となり本年は既に第六回を迎へた。水上競技は、他の競技にさきだつて十月二日から四日間外苑プールに舉行された。第一日から第三日迄は一般競技、前回から加へられた府縣對抗の青年團競技、更に本年初めて参加を見た海軍競技と水球、飛込が行はれ、第四日には我が國に於て獨特の發達を遂げた各地の游泳が行はれた。

更にこの一般競技は本年度の全日本選手権大會を兼ね又來年のオリンピック出場選手の第一豫選にも當てられたので、眞に本年度の總決算として選手の意氣甚だ旺であつた。

又今年から選手権大會に於ては、前年度の選手権保持者は直ちにその種目の決勝競技に出場し得る規定が設けられたので、一方これ等の人々があく迄選手権を確保せんと努むれば、今夏の日米對抗、全國學生競技、全國中等學校競技に活躍した幾多の精銳がその牙城に迫らんとし、水泳國日本の精華が麗しい外苑プールに展開された。

一 般 競 技

100 米自由型豫選

着順	姓 名	所 屬	時 間	記 録
A 組 1	高橋 成夫	(稻泳會)	1:00.2	神 新
2	豊田 久吉	(日 大)	1:00.8	
3	高木 茂雄	(靜 中)	1:05.0	
B 組 1	宮崎 康二	(濱名灣)	1:00.0	神 新
2	富樫 誠助	(鶴岡工)	1:02.4	
2	茨木 松郎	(小樽中)	1:10.6	

C 組 1	片山 兼吉	(明 大)	1:03.4
2	志村 義久	(稻泳會)	1:03.5
3	浦木 義夫	(明 大)	1:04.2
D 組 1	河石 達吾	(慶 大)	1:00.8
2	遊佐 正憲	(多慶津中)	1:01.4
3	横田 弘一	(武徳會)	1:04.4

100 米自由型準決勝

A 組 1	高橋 成夫	1:00.2	神 新
2	河石 達吾	1:00.6	
3	遊佐 正憲	1:00.8	
B 組 1	宮崎 康二	1:00.0	神 新
2	豊田 久吉	1:01.2	
3	片山 兼吉	1:02.0	

100 米自由型決勝

1	宮崎 康二	59.2	神 新 日本新
2	高橋 成夫	1:00.4	神新
3	河石 達吾	1:00.6	神 對

(前年度選手権保持者高石棄権)

200 米自由型豫選

A 組 1	横山 隆志	(稻泳會)	2:15.4	日本新 神宮新
2	大横田 勉	(明 大)	2:19.8	
3	松浦 武雄	(立 大)	2:24.2	
B 組 1	豊田 久吉	(日 大)	2:22.8	神 新
2	遊佐 正憲	(多慶津中)	2:22.8	
3	富樫 誠助	(鶴岡工)	2:26.0	
C 組 1	宮崎 康二	(濱名)	2:22.8	神 新
2	米山 弘	(稻泳會)	2:24.6	
3	武村 清	(明 大)	2:28.4	

決勝 (前年度カリリ弟 2:17.8)

1	横山 隆志	2:16.1	日本新 神 新
---	-------	--------	------------

2	宮崎康二	2:18.8	} 神新
3	武村清	2:19.4	

400米自由型

豫選

A組	1	横山隆志 (稻泳會)	5:01.4	} 神新
	2	坂上安太郎 (同)	5:08.2	
	3	新間六炳 (濱名灣)	5:09.6	
B組	1	大横田勉 (明大)	5:03.4	} 神新
	2	武村寅雄 (明大)	5:06.8	
	3	石原田愿 (福山中)	5:11.0	

決勝 (前年度牧野正藏 4:53.6)

1	横山隆志	4:56.4	} 神新
2	武村寅雄	4:57.0	
3	牧野正藏	4:59.4	

1500米自由型

豫選

A組	1	北村久壽雄 (高知商)	20:44.6	} 神新
	2	知念繁夫 (佐世保)	20:50.8	
	3	石原田愿 (福山中)	21:03.2	
B組	1	坂上安太郎 (稻泳會)	20:44.6	} 神新
	2	鈴木重孝 (明大)	21:13.2	
C組	1	武村寅雄 (明大)	20:40.0	} 神新
	2	根來幸成 (慶大)	21:06.2	

決勝 (前年度牧野正藏 19:35.2)

1	武村寅雄	20:02.2	} 神新
2	牧野正藏	20:27.4	
3	北村久壽雄	20:42.8	

50米背泳

豫選

A組	1	清川正二 (名古屋)	32.2	} 日本新
	2	大島正夫 (稻泳會)	34.4	
	3	猿橋清 (慶大)	34.8	
B組	1	河津憲太郎 (明大)	32.8	} 神新
	2	入江稔夫 (稻泳會)	33.4	
	3	若山瀧美 (同)	35.6	

決勝 (前年度鈴木政雄 33.4)

1	清川正二	32.8	} 神新
2	河津憲太郎	32.8	
3	入江稔夫	33.4	

100米背泳

豫選

A組	1	清川正二 (名古屋)	1:12.8	} 神新
	2	鈴木政雄 (明大)	1:15.4	
	3	根來幸成 (慶大)	1:16.4	
B組	1	河津憲太郎 (明大)	1:13.2	} 神新
	2	入江稔夫 (稻泳會)	1:13.2	
	3	若山瀧美 (同)	1:21.0	

決勝 (前年度カリリ兄 1:13.2)

1	清川正二	1:12.6	} 神新
2	入江稔夫	1:13.8	
3	河津憲太郎	1:14.2	

100米平泳

豫選

A組	1	小池禮三 (沼津商)	1:17.8	} 神新
	2	小出義彦 (桑名中)	1:20.4	
B組	1	大串泰造 (慶大)	1:22.2	} 神新
	2	山田弘 (廣島一中)	1:22.2	
C組	1	原毅 (帝大)	1:19.8	} 神新
	2	塚原茂樹 (稻泳會)	1:20.6	
	3	山崎恒三郎 (佐世保)	1:21.8	

決勝 (前年度鶴田義行 1:17.4)

1	鶴田義行	1:16.6	} 神新
2	小池禮三	1:18.2	
3	原毅	1:19.8	

200米平泳

豫選

A組	1	原毅 (帝大)	3:02.0	} 神新
	2	山田弘 (廣島一中)	3:02.2	
B組	1	小出義彦 (桑名中)	2:58.2	} 神新
	2	伊藤三郎 (中泉農)	2:59.8	
	3	塚原茂樹 (稻泳會)	3:02.0	
C組	1	小池禮三 (沼津商)	2:55.0	} 神新
	2	關禮次郎 (明大)	3:07.4	

決勝 (前年度鶴田義行 3:55.6)

1	小池禮三	2:54.0	} 神新
2	原毅	2:57.3	
3	伊藤三郎	2:57.3	

300米リレー決勝

(前年度濱名灣チーム宮崎、鳥居、片山、牧野 9:31.4)

1	濱名チーム (宮崎、新間、野田、牧野)	9:20.8	} 日本新
2	稻泳會チーム (志村、横山、坂上、高石)	9:23.0	

300米メドレーリレー決勝

(前年度早大チーム入江、松本、宮本 3:49.6)

1	明大チーム (河津、鶴田、片山)	3:31.0	} 日本新
2	稻泳會チーム (入江、塚原、宮本)	3:57.2	
3	慶大チーム (大串、根來、河石)	3:38.4	

女子一般競技

100米自由型決勝 (前年度神谷春子 1:20.0)

1	松澤初穂 (日本體專)	1:15.4	} 日本新
2	荒田雪江 (京二條)	1:15.8	
3	小島一枝 (栢山第二)	1:21.4	

200米自由型

豫選

A組	1	守岡初子 (茨木水泳團)	2:53.8	} 日本新
	2	荒田雪枝 (京二條)	2:59.8	

- 2 櫻井 愛 (同) 3:03.6
 B組 1 小島 一枝 (椛山第二) 2:59.2
 2 市口 房子 (日本女高商) 3:05.2
 3 内田 悦子 (和歌山) 3:18.6

決勝 (前年度鈴木里子 3:03.6)

- 1 守岡 初子 2:53.2 日本新
 2 荒田 雪枝 2:56.4
 3 小島 一枝 2:59.4

400 米自由型

豫選

- A組 1 市口 房子 (日本女子高商) 6:43.0
 2 石田 豊子 (椛山第二) 6:54.6
 3 鈴木 里子 (京武徳) 7:17.8

- B組 1 守岡 初子 (茨木水泳團) 6:04.4 日本新
 2 櫻井 愛 (京都二條) 6:51.2 神新
 3 内田 悦子 (和歌山) 6:59.2

決勝 (前年度永井常子 6:27.8)

- 1 守岡 初子 6:08.2 日本新
 2 市口 房子 6:42.0 神新
 3 櫻井 愛 6:45.4

100 米背泳

豫選

- A組 1 吉田 文子 (愛知第一) 1:29.8 日本新
 2 生田 美代子 (臺北第一) 1:34.0 神新
 3 永井 千鶴子

- B組 1 高野 菊枝 (愛知淑徳) 1:37.0 神新
 2 住川 俊子 (七尾高女) 1:52.4

決勝 (前年度加藤好子 1:34.4)

- 1 吉田 文子 1:29.0 日本新
 2 加藤 好子 1:30.8 神新
 3 生田 美代子 1:35.6 神新

200 米平泳決勝 (前年度前畑秀子 3:12.4)

- 1 前畑 秀子 (椛山第二) 3:12.6
 2 山田 金野 (愛知第一) 3:16.0
 3 磯野 昌子 (同) 3:24.2

400 米リレー決勝

- 1 京都二條高女(隠岐、櫻井、横井、荒田) 5:24.2 日本新
 2 椛山第二高女(石田、小島、社本、前畑) 5:37.2 日本新
 3 山松 高女(伊藤、米澤、加納、鶴崎)

青年團競技

100 米自由型

豫選

- A組 1 石川 勇 (静岡) 1:06.0
 2 大野 高次 (千葉) 1:06.6
 3 細谷 定一 (新潟) 1:06.8
 4 森 誠一 (岡山)

- B組 1 樋口 榮一 (京都) 1:02.6 神青新

- 2 服部 京造 (茨城) 1:06.6
 3 武藤 信義 (秋田) 1:08.0
 4 澤田 志郎 (高知)

- C組 1 木下 善一 (大阪) 1:05.2 神青新
 2 田中 繁一 (和歌山) 1:06.2
 3 近藤 甚吉 (愛知) 1:07.0
 4 土手中 喜敏 (廣島)

準決勝

- A組 1 樋口 榮一 1:03.8 神青新
 2 服部 京造 1:06.2
 3 石川 勇 1:06.2

- B組 1 田中 繁一 1:05.4 神青新
 2 山下 善一 1:06.0
 3 細谷 定一 1:07.0

決勝

- 1 樋口 榮一 (京都) 1:02.4
 2 田中 繁一 (和歌山) 1:04.4
 3 木下 善一 (大阪) 1:04.8
 4 服部 京造 (茨城)
 5 石川 勇 (静岡)
 6 細谷 定一 (新潟)

400 米自由型

豫選

- A組 1 松原 治郎 (岐阜) 5:39.2
 2 田中 繁一 (和歌山) 5:54.8
 3 服部 京造 (茨城) 5:56.2
 4 木村 政載 (東京)

- B組 1 小西 虎次郎 (鳥根) 5:23.2 神青新
 2 今井 清 (山口) 5:47.5
 3 長町 正人 (廣島) 6:07.8
 4 宮崎 正二 (静岡)

- C組 1 西條 與修 (京都) 5:31.0
 2 石田 勘藏 (神奈川) 5:31.8
 3 近藤 甚吉 (愛知) 5:36.8
 4 西川 忠國 (山梨)

準決勝

- A組 1 小西 虎次郎 (鳥根) 5:24.2 神青新
 2 石田 勘藏 5:32.4 神青新
 3 饒村 古久 5:34.4

- B組 1 西條 與修 5:37.8
 2 近藤 甚吉 5:42.0
 3 今井 清 5:44.4

決勝

- 1 小西 虎次郎 (鳥根) 5:22.6
 2 饒村 古久 (兵庫) 5:31.0
 3 石田 勘藏 (神奈川) 5:32.6
 4 西條 與修 (京都)
 5 近藤 甚吉 (愛知)

6 今井 清 (千葉)

100 米背泳

豫選

- A組 1 小西 小一 (大阪) 1:23.6
- 2 山本 一男 (山口) 1:24.0
- 3 小山 藤助 (山形) 1:25.2
- 4 樽見 壽 (石川)

- B組 1 早瀬 彌太郎 (滋賀) 1:23.8
- 2 小牧 榮一郎 (神奈川) 1:25.4
- 3 服部 正一 (愛知) 1:25.8
- 4 島本 長一 (和歌山)

- C組 1 小田 勘五郎 (廣島) 1:22.8
- 2 西條 與修 (京都) 1:25.0
- 3 古田 信一 (静岡) 1:26.2
- 4 吉田 重雄 (千葉)

準決勝

- A組 1 小田 勘五郎 1:20.8 神青新
- 2 小西 小一 1:23.4
- 3 山本 一男 1:24.5

- B組 1 西條 與修 1:23.2 神青對
- 2 小牧 榮一郎 1:23.6
- 3 古田 信一

決勝

- 1 小田 勘五郎 (廣島) 1:21.8 } 神青新
- 2 西條 與修 (京都) 1:23.0 }
- 3 小西 小一 (大阪) 1:23.0 }
- 4 小牧 京一郎 (神奈川)
- 5 山本 一男 (山口)
- 6 古田 信一 (静岡)

200 米平泳

豫選

- A組 1 中川 重雄 (愛知) 2:58.4
- 2 重松 稔 (福岡) 3:16.6
- 3 岩倉 利一 (和歌山) 3:18.0

- B組 1 大泉 孝四郎 (兵庫) 3:17.0
- 2 飯塚 四百郎 (静岡) 3:21.6
- 3 谷川 忠一 (東京) 3:22.6

- C組 1 尾藤 正太郎 (京都) 3:09.8
- 2 岡田 達男 (山口) 3:10.4
- 3 長田 直喜 (千葉) 3:14.6

決勝

- 1 中川 重雄 (愛知) 2:57.8
- 2 岡田 達男 (山口) 3:08.0
- 3 尾藤 正太郎 (京都) 3:08.2
- 4 長田 直喜 (千葉)
- 5 岩倉 利一 (和歌山)
- 6 重松 稔 (福岡)

200 米リレー

豫選

- A組 1 京都(谷口、田畑、鶴澤、樋口) 1:56.4 神青新
- 2 東京(岡松、木村、濱上、關堅) 2:00.2 神青新
- 3 岡山(岸、萬袋、根木、森)

- B組 1 廣島(吉田、土手中、國近、大石) 1:57.2 神青新
- 2 神奈川(大澤、三倉、瀧下、岩元) 1:58.6 神青新
- 3 兵庫(大北、四宮、饒村、高瀬) 1:59.2 神青新

- C組 1 大阪(木下、佐藤、中谷、小西) 1:55.6 神青新
- 2 静岡(小野、宮崎、石川、宮崎) 1:56.4 神青新
- 3 千葉(大野、大下、石田、石井) 1:59.8 神青新

決勝

- 1 京都(田畑、谷口、鶴澤、樋口) 1:54.0 神青新
- 2 大阪(木下、佐藤、中谷、小西) 1:55.0 神青新
- 3 静岡(岡崎、水野、石川、岡崎) 1:56.2 神青新
- 4 廣島

各縣得點

- 優勝 京都 29. 2大阪 15. 3廣島 10.
- 4愛知 9. 5静岡 8. 6和歌山、島根、神奈川、山口、各 7. 7兵庫 5.
- 11千葉 4. 12茨城 3 13新潟、福岡各 1

海軍競技

400 米リレー決勝

- 1 佐世保(岩崎、河野、東田、岡崎) 4:22.6
- 2 横須賀(山縣、柳瀬、田中、高梨) 4:35.8
- 3 吳 (岩本、濱本、村松、北村) 4:37.8

100 米自由型決勝

- 1 宮脇 世明 (佐世保) 1:03.8
- 2 河野 新 (同) 1:05.0
- 3 北村 滿義 (吳) 1:07.0

800 米自由型決勝

- 1 知念 繁夫 (佐世保) 10:51.0
- 2 岩崎 次助 (同) 11:39.0
- 3 田中 孝 (横須賀) 12:03.4

200 米平泳決勝

- 1 織 奧 正二 (吳) 3:06.6
- 2 岩本 義雄 (同) 3:07.2
- 3 猪瀬 孫久 (佐世保) 3:11.2

50 米潜水決勝

- 1 柳瀬 勝得 (横須賀) 34.0
- 2 藤井 宰輔 (吳) 35.8
- 3 東田 珍克 (佐世保) 37.8

日本泳法演武

日本泳法は第四日の10月5日零時半から行はれた。各流派の代表が各妙技を振つて日本の游泳の精華を示した。當日出場した流派は次の10であつた。

- 岩倉流 小堀流 觀海流
- 向井流 野島流 山内流

神傳流水府流水泳流太田派 水任流

この競技會は戦前の期待に反せず多大の收穫を以て終了した。即ち過去七年間誰しも接近を許さなかつた百米自由型の高石君の記録を年少宮崎君が見事破つて五十九秒二の大記録を出し、又横山君は二百米自由型に於て之又高石君の記録を破つて二分十五秒四の日本新記録を作つた。尙横山君の四百米に於ける四分五十六秒も武村清君の四分五十五秒には及ばないにしても五十米プールの記録としては實に堂々たるものである。その他八百米リレーの濱名灣チームの日本新記録を初めとし、實に十三の日本新記録が生れた。神宮記録に至つては殆んど全部が更新された。

第三日の競技終了と共に委員長末弘博士以下競泳飛込、水球の各詮衡委員が會して選手候補者として男子競泳二十八名、女子十名、水球九名、飛込八名が選ばれた。

コーチ松澤一鶴

男子選手 宮崎康二、高橋武夫、河石達吾、横山隆志、武村清、武村寅雄、牧野正藏、北村久壽雄、清川正二、入江稔夫、河津憲太郎、小池禮三、原毅伊藤三郎、鶴田義行、新聞六炳、野田一雄、片山兼吉、豊田久吉、遊佐正憲、大横田勉、阪上安太郎、

小出義彦、中川重雄、鈴木政雄、高石勝男、塚原茂樹、根來幸成、

女子選手 松澤初穂、荒田雪枝、小島一枝、前畑秀子、山田金野、守岡初子、浅井昌子、吉田文子、加藤好子、横田みさを、

水球選手 高石勝男、藤田明、時任巖、竹林隆二、土井修爾、上野克巳、松本隆重、阪上安太郎、延原喜太郎、

飛込選手 小林一男、原西三、原秀夫、野田卓夫、生江哲太郎、西尾太一、石田英勝、鎌倉悦子、

尙水上聯盟は十一月十六日理事會を開催しインターカレッジの水球戦蹟により水球選手候補に高橋成夫、澤海東助(慶)、木村清兵衛(慶)、坂倉隆吉(慶)、清水清秋(慶)、小柴義清(慶)、黒川武夫(慶)、村井清(帝)、土居三千夫(帝)、の九名、又松澤コーチの希望に依り競泳に知念繁夫(佐世保)、石原田愿(福山中)、鈴木重孝(明大)、山田弘(廣島一中)、宮本武夫(早大)、志村義夫(早大)、の六名を追加推薦した

これらの候補選手は來る十二月二十五日から合同練習をなすことになつた。競泳は松澤氏コーチの下に YMCA で、水球は藤田明、坂倉隆吉兩君のコーチで帝大に於て、又飛込は杉村氏コーチの下に茨木中學でそれぞれ練習をする筈である。尙女子選手の合同練習は三中旬の豫定である。

計時員から見た全日本選手権大會の結果

飯田光太郎

以前は一等の時間のみを計つて一番藥だつた計時員も此頃は重要な大會では一等、二等、三等及び1500米の1000米、800米の500米、400米の300米、等の途中時間を正式に計り其上に各水路の途中時間を全部計る様になつて來たので一番面倒な役となつた。

今度の大會もオリンピックの豫選であるので成るべく澤山のデータを出したいと云ふので計時員二十七名と云ふ未曾有の多數で三日間の大會を計時した豫期したよりも役員の出席率が大で反つて時計の数が不足を告げた。時計さへもつとあれば人の繰廻しももつと樂になつて間違ひが少くなる。

今回の計時方法は豫選は目醒しい競技者を中心として途中時間を取つたが決勝は各水路の時間途中時間を一名の計時員が受け持ち、其外に一等、二等、三等、を取る計時員を二名以上宛途中時間を取る計

時員を三名以上配置することゝした。途中時間は一名では餘程熟練して居ないとむつかしいので必要な場合は各等を取る計時員が之を補助することゝした各水路を二人で受持てる様になれば一層完全な計時が出来る。

水路ある場合を考へると各水路一人の前によるもの之之に18人以上の計時員が必要である。従つて18個以上の正確な秒時計が必要と云ふことになる。各水路二人の復式によると最小限度の25人の計時員が活動しなければならない。

前書は之だけにして置いて計時員諸氏努力によつて得られた結果を競技の順に書く。

ゴデックで書いてある時間は正式時間を示す。

第一日

海軍400米リレー決勝

一着佐世保チーム 4:22.6 岩崎 1:07.8 河野 1:04.2
車田 1:25.2 宮脇 1:04.0

女子200米豫選

守岡初子 1:25.2、2:57.0、4:31.6、6:04.4

日本記録 日本記録

海軍200米平泳決勝

織奥正二 1:26.6、3:06.6

男子400米自由型豫選

A 横山隆志 1:04.6、2:21.4、3:41.8、5:00.4

B { 大横田勉 1:08.8、2:25.0、3:44.0、5:03.4
武村寅雄 1:13.2、2:29.8、3:46.8、5:06.8

女子100米背泳豫選

折返の不良で失格となつた横田操(京武)は 0:43.0 で50米
に先着して 1:29.8 で第一着に入つて居る。

女子200米平泳

前畑秀子 0:42.0、1:29.8、2:21.4、3:12.6

3:16.0 と云ふ優秀な記録で二着に入つた愛知一女の山田
金野の途中時間は第一日だったので手配が付き兼ねて取れ
なかつたのは残念であつた。八月下旬巴里で舉行された歐
洲選手権の一着ウォルステンホルム英 3:16.2 より優勝な
ものであつた。又今夏の米國女子選手権の一等ロールズ
3:13.6 より下であるが二等 Hoffman 3:18.4 よりは優
つた世界的記録であつたのだ。

一着 前畑秀子 3:12.6 二着 山田金野 3:16.0

三着 浅井品子 3:24.2 四着 角橋綾子 3:59.2

五着 白井淑子 4:02.2

海軍800米自由型決勝

1. 知念繁夫 1:09.6、2:28.2、3:51.4、5:16.4、6:40.6
8:05.0、9:29.6、11:51.0

2. 岩崎次助 11:38.0

3. 田中 孝 12:03.2

4. 12:09.6

5. 12:34.0

此 500 米は計時員不足で正式に計時出来なかつた。

女子200米自由型豫選

守岡初子 38.6、1:22.6、2:08.6、2:53.8

日本記録

小島一枝 40.4、1:25.8、2:59.2

海軍50米潜水決勝

1. 柳瀬 34.0、2. 藤井 35.8、3. 車田 37.8、4. 浅沼 38.0、
5. 松下 38.8、6. 濱本 33.8

殆ど全部が水中諸手伸様の横體を用ゐて居たのは注目に値
する。

男子100米平泳豫選

小池禮三 0:35.6、1:17.8

男子800米リレー決勝

1. 濱名灣游泳協會 9:20.8 日本記録

宮崎康二 2:18.2 新聞六炳 2:23.8 野田一雄 2:20.4

枚野正藏 2:18.4

2. 稻泳會チーム 9:23.0 日本記録

志村義久 2:22.6 横山隆志 2:16.8 阪上安太郎 2:23.0
高石勝男 2:20.6

明大チームは引繼の不良で失格したが之も日本記録を破つ
て居るので参考迄に掲げて置く。

失格 明大チーム 9:25.0

大横田勉 2:19.8 武村寅雄 2:20.0 片山兼吉 2:23.6
武村 清 2:20.8

明大の失格の爲めに三となつた佐世保鎮守府チームの時間
は審判員から通知がなかつたので正式に計時出来なかつた
第二日

男子400米自由型決勝

1. 横山隆志 1:09.8、2:55.8、3:42.2、4:56.4

2. 武村寅雄 1:09.8、2:25.8、3:41.2、4:57.0

3. 牧野正藏 1:09.2、2:25.4、3:42.4、4:53.4

4. 大横田 勉 1:09.8、2:26.6、3:45.2、5:07.2

5. 阪上安太郎 1:11.0、2:29.4、3:50.8、5:11.4

6. 新聞六炳 1:11.4、2:30.4、3:54.4、5:14.6

附記 50米水路に於て 4:56.4 は最高記録である。25米水
路の 4:55.0 の日本記録よりは數段強い。

女子400米自由型決勝

1. 守岡初子 1:24.2、2:58.4、4:33.6(新) 6:08.2(新)

2. 市口房子 1:30.8、3:11.6、4:56.0、6:42.0

3. 櫻井 愛 1:30.6、3:17.8、4:59.0、6:45.4

4. 内田悦子 1:32.0、3:20.2、5:09.8、6:58.4

5. 石田豊子 1:31.8、3:20.4、5:12.4、7:01.0

男子100米平泳決勝

1. 鶴田義行 1:16.6、2. 小池禮三 1:18.2、3. 原毅 1:19.8

4. 小出義彦 1:20.3、5. 大串泰造 1:22.0、5. 山崎恒三郎

1:22.2、山田弘 1:23.0

男子100米自由型決勝

1. 宮崎康二 28.4、53.2

2. 高橋成夫 28.2、1:00.4

3. 河石達吾 1:00.6、4. 遊佐正憲 1:00.8、

5. 豊田久吉 1:01.0

男子50米背泳決勝

1. 清川正二 32.8、2. 河津憲太郎 32.8、3. 入江稔夫 33.4

4. 34.2、5. 34.6、6. 34.6

7. 34.8、

女子100米背泳決勝

1. 吉田文子 40.8、1:29.0、2. 加藤好子 1:30.8

3. 生田美代子 1:35.0、4. 高野菊枝 1:38.3

5. 永井千鶴子 1:45.6、6. 佳川俊子 1:51.9

男子1500米自由型豫選

A 組				B 組	
北村	知念	石原田	阪上	鈴木重	
100*	1:14.6	1:11.4	1:14.8	1:18.2	1:17.0
200	2:36.8	2:33.0	2:37.4	2:38.0	2:40.0
300	4:00.4	3:55.4	4:00.4	4:00.2	4:02.2

400	5:23.2	5:19.4	5:23.6	5:22.2	5:27.4
500	6:48.0	6:44.6	6:48.0	6:44.4	6:54.2
600	8:14.2	8:10.2	8:13.4	8:08.6	8:18.6
700	9:38.6	9:35.4	9:37.8	9:32.0	9:44.0
	北村	知念	石原田	阪土	鈴木重
800	11:04.0	11:00.2	11:04.2	10:56.0	11:11.0
900	13:29.2	12:26.2	12:29.4	12:20.4	12:36.4
1000	13:53.0	13:50.8	13:54.2	13:44.4	14:03.4
1100	15:16.2	15:15.0	15:19.0	15:09.8	15:30.4
1200	16:40.0	16:39.0	16:44.2	16:33.4	16:57.0
1300	18:04.4	18:03.6	18:10.2	17:57.8	18:24.0
1400	19:26.8	19:28.0	19:27.6	19:23.4	19:50.4
1500	20:44.6	20:50.8	21:03.2	20:44.6	21:13.2

C 組

	武村寅	根來	武村寅	根來
100米	1:15.6	1:07.4	900米 12:24.8	12:36.8
200	2:37.6	2:40.6	1000	13:47.6 14:01.6
300	4:00.2	4:03.6	1100	15:09.2 15:27.4
400	5:22.2	5:28.4	1200	16:30.4 16:54.2
500	6:47.2	6:53.4	1300	17:52.8 18:20.8
600	8:12.6	8:19.0	1400	19:16.6 19:46.6
700	9:37.8	9:44.6	1500	20:40.0 21:06.2
800	11:01.8	11:11.4		

男子200米平泳豫選

A	原 毅	39.4、1:24.4、2:10.6、2:56.8
	山田 弘	41.2、1:26.4、2:14.8、3:02.0
B	小出義彦	39.8、1:25.2、2:11.6、2:58.2
	伊藤三郎	— 1:25.6、— 2:59.8
C	塚原茂樹	39.0、1:23.4、2:12.4、3:02.0
	小池豊三	39.2、1:23.4、2:09.8、2:55.0
	關禮治郎	40.0、1:27.0、2:16.0、3:07.4
	織奥正二	40.0、1:28.2、2:20.6、3:15.6

女子200米自由型決勝

1.	富岡初子	38.8、1:21.8、2:08.4、2:53.2
2.	荒田雪江	— — — 2:56.4
3.	小島一枝	40.8、1:24.6、2:13.0、2:59.4
4.	櫻井 愛	40.2、1:26.6、2:13.8、3:04.2
5.	鈴木里子	41.6、1:28.0、2:19.4、3:16.2

男子200米自由型豫選

A	横山隆志	29.4、1:03.8、1:39.6、2:15.4
	大横田勉	30.0、1:07.0、1:43.0、2:19.8
	松浦武雄	30.2、1:06.2、1:44.8、2:24.2
B	豊田久吉	31.0、1:07.2、1:44.6、2:22.8
	遊佐正憲	31.0、1:07.8、1:46.2、2:22.8
C	富樫誠助	33.0、1:08.6、1:49.0、2:26.0
	宮崎康二	39.6、1:08.8、1:46.4、2:22.8
	米山 弘	— — — 2:24.5
	武村 清	33.0、1:10.2、1:48.8、2:28.8

第三日

青年團200米平泳決勝

中川重雄 39.4、1:23.8、2:10.8、2:57.0

青年團100米背泳決勝

1. 小 田 1:21.8 2. 西 條 1:23.0 3. 小 西 1:23.0
4. 小 牧 1:24.0 5. 山 本 1:24.2 6. 古 田 1:27.0

男子100米背泳決勝

1. 清 川 1:12.6 2. 入 江 1:17.8 3. 河 津 1:14.2
3. 鈴木政 1:14.8 5. 根 來 1:17.0 6. 若山瀧 1:39.4

男子200米平泳決勝

1. 小 池 37.6、1:21.8、2:08.2、2:54.0
2. 原 38.6、1:23.8、2:10.6、2:57.8
4. 伊藤三 — — — 2:57.8
4. 小出義 40.2、1:24.8、2:12.2、2:57.8
5. 塚 原 40.2、1:25.4、2:14.0、3:00.0
6. 關 40.2、1:27.0、2:15.2、3:03.6
山 田 40.8、1:27.4、2:15.4、3:03.6

三着の計時員は全部小出を三着として取つて居る。伊藤を單獨に取つたのは2:58.0を示して居る。審判員の方で小出の先着を認めないので四着の小出より遅い事はない筈であるので2:57.8とした。

男子200米自由型決勝

1. 横 山 29.6、1:04.8、1:40.8、2:16.4
2. 宮 崎 30.0、1:04.8、1:42.0、2:18.8
3. 武村清 30.2、1:05.8、1:42.0、2:19.4
4. 大横田 31.0、1:06.4、1:43.0、2:20.6
5. 米 山 30.8、1:06.8、1:44.2、2:21.0
6. 遊 佐 30.6、1:05.4、— 2:21.6
7. 豊 田 29.0、1:02.2、1:43.0、2:24.4
8. 富 樫 31.2、1:06.8、1:45.0、2:25.4

男子1500米自由型決勝

	1. 武村寅	3. 牧 野	3 北 村	4. 根 來
100米	1:12.0	1:11.6	1:12.6	1:15.4
200	2:30.4	2:34.8	2:36.2	2:36.4
300	3:50.4	3:50.0	3:58.2	3:59.4
400	5:11.2	5:11.4	5:21.4	5:23.2
500	6:31.2	6:32.8	6:45.2	6:49.0
600	7:51.6	7:54.4	8:10.2	8:14.2
700	9:12.4	9:15.4	9:36.2	9:37.4
800	10:32.8	10:36.4	11:00.4	11:03.0
900	11:53.8	11:57.6	12:25.2	12:27.0
1000	13:15.2(新)	13:20.4	13:46.5	13:51.6
1100	14:36.0	14:44.6	15:12.6	15:15.2
1200	15:57.8	16:10.2	16:36.4	16:39.2
1300	17:20.2	17:34.8	17:59.6	18:02.0
1400	18:42.2	19:01.0	19:22.2	19:26.0
1500	20:02.2	20:27.4	20:42.8	20:45.2

5. 阪上	6. 知念	7. 鈴木重	8. 石原田
160 1:14.8	1:13.0	1:13.8	1:13.0
200 2:26.4	2:23.8	2:35.4	2:35.0
300 4:00.0	3:57.4	3:58.8	4:00.0
400 5:24.6	5:20.6	5:23.0	5:25.0
500 6:45.6	6:45.0	6:48.0	6:50.0
600 8:13.4	8:09.4	8:14.0	8:16.0
700 9:37.6	9:36.2	9:41.0	9:41.0
800 11:02.0	11:01.2	11:07.2	11:09.0
900 12:26.8	12:26.4	12:34.4	12:37.0
1000 13:55.0	13:52.4	14:00.4	14:04.0
1100 15:21.4	15:18.8	15:26.2	15:33.0
1200 16:47.4	16:46.6	16:46.6	17:03.0
1300 18:12.6	18:14.4	18:20.0	18:33.0
1400 19:29.0	19:42.0	19:46.0	20:03.0
1500 21:03.4	21:05.6	21:10.8	21:30.8

女子400米リレー決勝

京都二條高女	5:24.2 日本記録
隠岐美根子	1:23.4
櫻井愛	1:20.4
横井キヌ	1:24.8

荒田雪江	1:15.6
2. 椋山高女	5:37.2 日本記録
石田豊子	1:28.0
小島一枝	1:19.8
社本田歌子	1:25.4
前畑秀子	1:24.0
3. 小松高女	6:29.0
男子300米メドレークレー	
1. 明大	3:32.0 日本記録
河津憲太郎	1:13.2
鶴田義行	1:16.6
片山兼吉	1:01.2
2. 稻泳會	3:37.2
入江稔夫	1:14.4
塚原茂樹	1:19.6
宮本武夫	1:03.2
3. 慶大	3:38.4
根來幸成	1:16.0
大串泰造	1:22.0
河石達吾	1:00.4

昭和六年神宮プール概況

六月中旬十七萬圓を要した第二期工事が完了し近代的模範プールが現出した。六月十六日漲水十七日からは早慶戦の練習が始まり、十九日の内見式、二十一日の早慶戦二十二日からは一般に公開された。日米戦の爲に西スタンドも七月末に繰上げ仕上げた。九月十五日に一般公開を閉ち十月初めの神宮兼全日本それから水球リーグ戦を経て、十月十一日限りプールを閉ちてしまった。その間文部省講習と十三回の競技會が行はれ多數の人が泳ぎ名實共に日本一の眞價を發揮した。十二月八日明治神宮に奉獻來る昭和七年一層有意義なる活動を此所に見んとするものである。

1 競技會13に抱含された選手は約1500名 觀覽者有料約五萬、入場料は6萬3千圓に達してゐる。

2 一般公開の方は文部省講習 196名、優待入場者3937名を合せ 82371名入場料は7179圓95錢の競技會等専用使用料を隊き13175圓25錢を上げてゐる。プールの収入として 20355圓20錢となる澤である。

3 競技會の費用は各主催者で支拂つて數字は明かでないプールとしての支出は次の通りである。

水道料	3470圓75錢
電力費	227・25
瓦斯代	109・66
電活料	45・28
人夫賃 <small>(一日平均)</small> <small>(女11)</small> <small>(男9)</small>	2178・105
雇員費(7)	1121・91
消耗品	2057・10
修繕費	290・00
合計	9500・055

昭和六年の飛込競技

島 崎 保 正

昭和六年の飛込競技界を語るに當つて第一に擧げねばならぬことは男子飛板飛込の著しき進歩である。競技者の數から見ても又その質から見ても昨年とは全く見違へる程の進歩であつた。飛込の基礎は飛板飛込にあるが此の飛板飛込に立派な收獲を得たことは飛込競技の基礎が此處に確立したことを示し將來に充分の期待を持つことが出来るのである。

飛込競技規則の改正

記録的に最初の事件は競技規則の大改正であつた。殊に各種目の規定飛の變更は直接に競技成績に影響するのであるから若しも之れが爲めに競技成績が低下し或は停滞するやうであつたならば我國の飛込競技は未だ幼稚であつて世界の飛込より一足遅れてゐる事と考へるより仕方がないのである。然し事實は全く之れに反して規定飛の變更等に拘らず量にも質にも立派に進歩した。此の事から考へて我國の飛込が既に世界の飛込競技の水準には到達してゐると見ても差支へないであらう。此の如き飛込の進歩を説明するに當つて飛込競技にその成績を示す方法のないことが遺憾である。競技得點合計はその大略を示すに過ぎぬ。時計の如くには正しくその成績を示す方法があつたならば本年は恐らく新記録の續出に賑ひ、平均の著しき躍進があつたに違ひない。

主なる競技會

本年の競技會として主なるものは日米大會の豫選全日本關東豫選、全國學生飛込競技、全日本選手權等であつて此の他に關西に二三の注目すべき競技會があり、北陸、名古屋等にも競技が行はれた。

最初に行はれた日米大會の豫選は新規則による最初の競技會であつたばかりでなく、明年のオリンピックを目指して昨冬以來私かに技を磨いて來た人々の初顔合までであつたので大きな期待がかけられてゐたが何分にも初めての規定飛で戦ふことゝシーズン初頭の爲め調子が整はずたゞ一通りの無難な競技に止つて居つた。此の豫選の結果日米大會には七名の人々が番外とし飛込競技に出場することに決定した此の一團は直ちに新美庄平氏を監督として統制ある合同練習を行つた。之れは飛込競技者も一チーム中のメンバーとして團體生活をなすべき素地を作らん

とした爲めである。此の合同練習の間に關東の競技者は何故に關西の競技者が確實なる飛込をなし得るかを了解し得た。即ち飛込は先づ數多く飛ぶことが必要であると云ふことを事實に於て教へられたことは此の合同練習のよい副産物であつた。日米大會中は毎夜兩種目の番外競技が行はれたが我々の計劃しただけの照明が行はれなかつた爲めに、見る人にも飛ぶ人にも満足と與へ得なかつたことは残念であつた。

八月の下旬には全日本選手權の關東豫選が行はれた。全日本の飛込競技者の少くとも半數を有するであらう東京に於ける會であるから甚だ充實した競技會であつた。此の會では本年度から新に規則中に加へられた初等飛込競技をも行つたが最初の試みでありながら成功を納めることが出來た。之れは神宮プールに飛込設備の完備した爲め俄かに飛込を楽しむ人が増し、之れ等の人々に適當なチャンスと與へることが出來たからである。競技會の折は此の初等競技はなかなか喝采を拍し且つ藤倉三郎、五郎の兄弟及等有望なる新進を見出すことが出來たのは喜ばしいことであつた。

之れに次いで全國學生の飛込競技が行はれた。日本一流の競技者を有する慶大が連年優勝を誇るかと思はれたが新進の明大は堂々たる活躍を示して第二位を豫想された日大を遙かに抜いて慶大に迫り慶大の夢を驚かした。明大の殊勳者生江は大競技に出場するのは初めてであるがよく立派な成績を擧げ得たのは數年間單純な飛込に止つて基礎的練習を十分に積んでゐたからである。徒らに難種目のみを心掛けて基礎練習の不十分な人々にとつてはよい参考であると思ふ。

全日本選手權大會

全日本選手權大會で今年のシーズンの幕は閉された。既に膚寒ひ十月初旬殊に高飛込の日は雨に妨げられたが飛込競技の全國的の争覇が行はれた。此の競技は名實共に全日本の飛込競技であつて今年の我國の飛込競技の實力がほど遺憾なく表はされてゐたやうに思ふ。此の競技會のみを語れば昭和六年の飛込競技會を大體盡すことが出來やうと思ふ。出場者

は男子飛板飛込13名、高飛込9名、女子飛板飛込4名、高飛込2名、昨年迄の飛込競技の出場者は關東と茨木中學系の競技者に限られてゐたのであるが今年は石川縣、大阪等よりの参加者を得て初めて眞の全日本らしくなつて來た。

男子飛板飛込は全くの激戦であつて優勝者の豫想はつかず又競技開始後も最後の飛込を終る迄全く順位を定め得なかつた。此の競技を見て痛切に感じたことは何の競技者もよくその飛込をコントロールしてゐることであつた。今までは一種位は全然失敗する程不得手乃至は練習不充分の飛込を持つてゐるのが普通であつたに拘らず、今回はどの飛込も相當に練習を積んで必ず一定の所までは飛びこなして居つた。それ故一つの飛込を全然失敗すると全く優勝の可能性を失つてしまはなければならなかつた程で全く油斷も隙もない大接戦であつた。此の如く凡ての競技者の技倆がほど一定の所に揃つて來たのは全く初めてのことである。競技記録には明瞭に之れが表はれて優勝者から第13位まで凡ての人の得點合計は僅少の差を以て順次に並んでゐる。此の如く得點合計が次第に減じて途中で階段的の差異のないことは競技者の技倆が接近してゐることを示すものである。數年前の如く優秀なる一名又は二三名のものと他のものとの間に確然たる差のあつた時に比較すると誠に隔世の進歩であると云はねばならない。然し一面から見れば所謂團栗の背較べの觀がないでもない。但しその團栗が數年前の優秀な技倆の人々に匹敵してゐるのである。

高飛込もなかなかの接戦であつた。接戦であつたと云ふものゝ全體の技倆は飛板飛込に比して凡そ三年程遅れてゐると見なければならぬ。漸く各種の飛込を飛び得るに至つて今年は之れを力一ぱいで飛んでゐる所まで來たが未だ飛込全體を自身でコントロールする所には達してゐない。飛込競技の練習過程が飛板飛込より高飛込に入つて行くものであるから未だ充分に高飛込に人を得ないのにもよるであらう。然し飛込競技の最高技術者

。競技者諸君が一層の努力を此の方面に拂はれんことを切望する。

女子の飛込は男子に比して更に一層進歩が遅れてゐる。たゞ毎年關東のものゝみの競技であつたのが本年は大阪からも参加を得て之れ亦参加者の範圍を擴大してゐる。關東は數は大阪に比して多いかも知れぬが遺憾ながら依然たる舊態を止めてゐるのは情ない。

活躍した人々

小林一男(茨木水泳團)は、飛板飛込に優勝し高飛込に第六位を得てゐる。助走と踏切に何となく無理があり之れが爲め空中の動作に圓滑を缺いてゐるが熱心な練習によつて築き上げた空中に於ける意識と確實なる入水は全く第一人者であつて、地味ではあるが必ず失敗なく飛んでゐた。此の空中に於ける正しい姿勢と入水及び之れを確實になし得るに至つた練習は他の人々の模範となるものであらう。

原西三(慶大)の強い踏切と果敢な宙返りとは推賞するに足るものである。唯だ後宙返りに比して前宙返りに缺點があるやうである。前宙返りものゝ練習と共に更に腕と下半身の伸びとに注意を拂つたならば遙かによい成績を擧げうるであらう。

原秀夫(慶大)は飛板飛込三位高飛込二位を得た。複雑なる宙返りを飛び得ることに於ては比類がないが回轉が鈍いことゝ水に入る時に腰の伸び切らないことが缺點である。踏切は原西三以上に立派なものであるから更に宙返りを輕快にすることゝ之れに續いて身體を直線的に伸すことに練習を積まれんことを希望する。立派な體格と神經の所有者であるから高飛込にも、つと力を注がれたならば日本の高飛込の爲め喜ばしいことであると思ふ。

野田卓夫、西尾太一(茨木中學)各々飛板飛込の四位及六位を得た。此の二名は年少の中學生であるが杉本傳氏のコーチによつて立派な飛込を示した。優勝した小林と共に茨木系の飛込を代表するものであるが、姿勢を決して亂さぬ點と水に入る形の正しさは此の點に多大の缺點を有する關東の競技者にとつて参考となることが多い。兩人共未だ體重が充分でなくその爲めに飛込全體の力が弱ひが之れは止むを得ぬことで年と共に容易に改まつて來よう。野田の素直な飛込は將來の大成を期待するに充分である。

生江哲太郎(明大)は全國學生飛込競技には大活躍を演じて明大の成績の基となつたが全日本に於ては飛板飛込に於て五位に止つた。優秀な體格と強いバネの所有者であるが二三洗練されない飛込がある。宙返りのかゝり方とその伸し方を研究されんことを望む。

石田英勝(F.D.C) 高飛込に優勝。力強い動作と思ひ切りのよい點は高飛込には極めてふさはしいものである。然し空中に出てからいさゝかぞんざいな點が目につく。非常な努力を以て種々平衡を保つやうに努力してゐることはよく認められるが事實未だ未だ充分でなく巧さと云ふものは認められない。之

れは高飛込の練習のみを行つて飛板飛込の練習を行はない爲めであらうと思ふが、飛板を用ひて速い宙返りを軽く行ふことを練習されんことを望む。

井上一郎(日大)は高飛込に三位を得てゐるが此の飛込は凡そ優勝者石田と相反する特徴を持つてゐる。極めて行き届いた綺麗なフォームを作るが踏切は力に缺けてゐて飛込として甚だ弱々しくなつてゐる。たゞ先天的に弱い腰と脚とを以て競技會毎に成績を高めて行く點には敬意を表する。

岩切盛行(明大)は高飛込の四位となつた。練習時の成績を以てすれば石田に次ぐかと豫想されてゐたに拘らず競技に當つては意外の不成績を示した。練習も試合も軽卒と評せられても止むを得ないであらう。

水谷泰夫(立大O.B)は練習を幾分不足とは云ひながら老練に似合はぬ意外の不振に終つた。余りに工風に過ぎ形にとらはれてはゐないであらうか。身體中に無理に力を入れ、何か他と異つた形を作つて飛ばうとしてその爲めに大切な自然さとか圓滑さを無くしてゐるのではなからうか。一番大切な高く遠くそして素直に飛ぶことに基點を置いて考へ直されんことを望む。

鎌倉悦子(清水谷高女)は立派な體格と整然たるフォームとを以て女子軍板と高飛込の兩種目に優勝した。之れはよきコーチの下に正しい練習を行つたからであらう。

林悦子(自由學園) 大瀬千枝子(Y.W.C.A)は女子軍板飛込の三、四位を得た新進である。殊に林は正しい練習を續けたらば甚だ有望な將來を有してゐるやうに見受けられた。人の少ない女子飛込の爲めに切に練習を望む。

石渡桂子(T.D.C)は高飛込の二位となつた。本年に入つてその飛込が一變し著しく改善されたが此の競技にはいさゝか練習不足の點が見えたのは残念であつた。

此の他男子飛板飛込に中島(明大) 中田(日體) 柴原(金澤三中) 井上(大阪O.S.J俱樂部)等の新進が活躍した。殊に柴原の如きは石川縣松住プールに唯一練習して複雑なる飛込を相當に飛びこなしてゐる點は敬服に價する。此の競技會より柴原の得た所は大きかつたらうと思ふ。どうか之れを充分に研究して明年は無理のない素直な飛込を完成して戴きたい。

總括的な感想

以上競技會を中心として述べて來たが此處に總括

的に本年度の感想を記さう。

(1) 第一には飛込が一般化して來たことである。之れには競技者の數の増したこと、優秀な競技者の増したこと、それと共に此の競技の觀衆の増したこと等を擧げることが出来る。全日本選手權競技の參加者の顔振れを見、又その接戦を見且つ神宮プールに於ける飛込競技に集つた觀衆を見れば容易に之れ等を認めるであらう。東京に於て競技者が増し觀衆が増した原因の一つは便利なる位置により設備の飛込プールの完成したことであるのを忘れてはならない。市の中心に近く充分な飛込用の設備が出來た爲めに之れを楽しむ人が増し又競技を見るに都合のよい設備が出來た爲めに始めて觀衆を集めることが出來たのである。石川縣より參加した柴原少年は松住町に飛込の設備を有するプールがあつたからこそ現れたのであるし、又大阪に茨本中學と甲子園プールの設備があつてこそ絶えずよき競技者を輩出することが出來たのである。我々は競技の一般化を喜ぶと同時に設備の完成と云ふことが重大な役割を演じてゐることを見逃してはならない。

(2) 大阪は選手權四種目の中本年度はその三種目を獲得してゐる。數に於て質に於て關東は絶対に關西に劣つてゐると思はない。然も尚ほ此の結果となつたことは大阪に名指導者杉本傳氏があり之れを助けるに高階、太田君等のベテランがあるからである。飛込に於て必要なは第一に設備であるが次に必要なものは指導者である。之れは本年になつて氣の付いたことではないが如何に數と質とを以てしてもよき指導者に對しては太刀打ちが出來ないことを痛感したわけである。

(3) 本年は競技規則に初等競技種目が新に加へられ關東に於ては之れを行つたことを既に述べた。大阪に於ても好成績を擧げたと聞いてゐる。由來飛込競技は選手權種目に出場するに到るまでには相當の時間を要する。昨年度迄の規則に於ては初心者に對する競技者に聚會を與へることに遺憾があつた。本年此の種目が私に定められ直ちに實行せられてよき成績を得たのは此の企てが時機に適してゐた爲めである。將來此の初等競技は益々活用せられるであらうし又各地方に於ける飛込の普及は先づ此の適當なる應用によつて促進せられるであらう。

(4) 女子の飛込が一二の新進を見たのみで依然として競技者も少ないのは残念である。之れは先輩と指導者に缺けてゐる爲めと考へられる。止むを得ないことではあらうが余りに競技生活が短かくて或る程

度の技倆に達する前に飛込から遠ざかる爲め常に全く先輩を有せずして練習を始めねばならないことが進歩しない原因の第一である。

オリンピック第一次候補者に

最後にオリンピック第一次候補者及惜しくも此の選にもれた人々に就いて一言して此の稿を終るとしやう。

我々飛込関係のものが多年望んで居るのは現在世界第一流の位置を確保してゐる男子競泳と並ぶ所まで飛込を發達せしめて水上競技全體の發達を實現

したいと云ふことである。前回のオリンピックでは高階が立派に斥候としての使命をはたし豫選を通過して我國の飛込の可能性を立證して呉れた。明年のオリンピックには數名の競技者を送らうとしてゐる。その出發期は既に半歳の後に迫つてゐる。短いと云ふものゝ尙ほ日數にすれば百八十日もある。此の間に更に眞粋なる研究と精進とによつて缺點を正し長所を伸して強く美しい飛込を完成して明年のオリンピック代表選抜の最終豫選には見違へる程の技を以て戦はれんことを切望する。

ロサンゼルス便り

白山源三郎

「水泳」第七號及び第八號正に落手厚く御禮申し上げます随分待たせて居ましたので私には非常な喜びでありました日米戦の實況を彷彿たらしめることが出来改めて成功の歡喜を味ひ諸君の勞苦と満足とを忍びました

七號は大分忙しそうに見えました讀んで行く内に感ぜられます神宮プールの寫眞を諸方に見せびらかせて大いに鼻を高くしました The biggest and the most Complete swimming pool in the world. とやれます流矢の米人も參つて賛成します此言葉をとられて残念なことでせう八號は後世に残すべき貴重な材料が満載されて居ます立派な雑誌だと思ひます

雑誌の體裁が美しく外國雑誌に比して餘り劣らないのでこちらでは特に具合がよるしい關係各筋へ配りました慾を云へば且吾々水泳の世界的地位を考へて寫眞の説明位には英語を入れる様にしたら更によいかなと思ひました御参考までに

色々書いて送りたい事がありますが何分時間がないので困ります追々と御送りすることに致します今ハリウッドアセレチック倶楽部の室内水泳大會を見て歸つた所であります

明日オリンピックスタヂウムで南加大學とスタンホードのフットボールがあります本年度太平洋岸の最大ゲームでありますその爲スタンホードの連中が應接に来て居ますのでオースチンクラブ フランク・ブースが馳せ集り可なり盛大でした五〇〇米ではクラブが脚をいためて出ませんでしたのでオースチンとカリ、兄弟が出ました結局マイオラー着(六分三二秒六)オースチンに始同着マヌエラは自働車で怪我してから少時練習して居なかつた處爲か最後で弱つて三着(私の時計で六分三三秒六)でありました

飛込はフランク・クルツ・ヂョニー・ライリー・ダツチスミス女子でジョルジア・コールマン・ドル・シー・ポイントン・オールスター・キヤストでありますデスデヤルデンがプロフェツショナルになり特に後でエキシビションをやりました少寸凄い飛込ですワイスミューラーは映画に出るので當地に居ますが今夜はスタビーフロイゲルと云ふコミック・アクターとコミックスイムをやりましたオリンピック九二八の縮圖見たようにスターが揃ひました

其他に雑誌に原稿を御送りします

諸兄の御健康を祈ります

十一月六日午後十二時

白山氏最近の住所

G. Shirayama

2260 W. 25th St

Los. Angeles Calif. U.S.A.

目次に戻る

昭和六年度新記録

○印ハ日本記録他ハ全部日本及日本國際記録 ×印ハ日本タイ記録

男子之部

時間	氏名	所屬	競技會名	場所	水路	月日
50米自由形						
26.4	宮本武夫	(早大)	早關	神宮	50	6.28
200米自由形						
○ 59.2	宮崎康二	(濱名游協)	日本選手權	神宮	50	10.3
200米自由形						
2:15.4	横山隆志	(稻泳會)	日本選手權	神宮	50	10.3
2:16.0	マニユエラ・カリリ	(米國チーム)	日米	神宮	50	8.7
2:16.2	ジェイムス・ギルフラ	(米國チーム)	日米	神宮	50	8.7
2:16.4	横山隆志	(稻泳會)	日本選手權	神宮	55	10.4
× 2:16.8	高石勝男	(日本チーム)	日米	神宮	50	8.7
500米自由形						
6:22.6	横山隆志	(日本チーム)	日米	神宮	50	8.7
6:22.8	牧野正藏	(東部中等チーム)	東西中等對抗	大阪筑港	50	8.30
6:26.8	牧野正藏	見付中學	東西優勝校	大阪築港	50	8.29
800米自由形						
10:16.6	牧野正藏	(東部中等チーム)	東西中等對抗	大阪築港	50	8.30
10:20.6	牧野正藏	(見付中學)	東部中學校	神宮	50	8.22
10:21.4	牧野正藏	(見付中學)	東西優勝校	大阪築港	50	8.29
10:25.2	横山隆志	(日本チーム)	日米	神宮	50	8.7
10:56.0	武村寅雄	(日本チーム)	日米	神宮	50	8.7
10:30.4	北村久壽雄	高知商業	西部中等	大阪築港	50	8.23
1000米自由形						
13:15.2	武村寅雄	(明大)	日本選手權	神宮	50	10.4
13:27.0	牧野正藏	(日本チーム)	日米	神宮	50	8.9
13:31.2	横山隆志	(早大)	日米豫選	神宮	50	7.28
50米背泳						
32.2	清川正二	(名高商)	日本選手權	神宮	50	10.2
100米泳背						
1:11.8	フランク・フルトン	(米國チーム)	日米	神宮	50	8.8
1:12.0	河津憲太郎	(明大)	日米豫選	神宮	50	7.28
1:12.0	河津憲太郎	(日本チーム)	日米	神宮	50	8.8
× 1:12.2	清川正二	(日本チーム)	日米	神宮	50	8.8
400米リレー						
4:04.4	佐田徳平 宮崎康二 片山兼吉 高石勝男	(日本チーム)	日米	神宮	50	8.8

時間	氏名	所屬	競技會名	場所	水路	月日
4:06.0	マイオラ・カリリ	(米 國 チ ー ム)	日 米 神	宮	50	8. 8
	ジョージ・フィスラー					
	マニユエラ・カリリ					
4:15.4	シヨーン・ハウランド	(京 都 武 德 會)	京 都 選 手 權	京 都 八 瀬	25	8.26
	竹 村 公 良					
	松 本 治 一					
	横 田 弘 一					
	樋 口 榮 一					

800米リレー

9:17.0	ジョーン・ハウランド	(米 國 チ ー ム)	日 米 神	宮	50	8. 9
	マイオラ・カリリ					
	マニユエラ・カリリ					
9:20.8	ジェイムス・ギルフラ	濱 名 灣 游 泳 協 會)	日 本 選 手 權	神 宮	50	10. 2
	宮 崎 康 二					
	新 間 六 炳					
	野 田 一 雄					
9:23.0	牧 野 正 藏	(稻 泳 會)	日 本 選 手 權	神 宮	50	10. 2
	志 村 義 久					
	横 山 隆 志					
	阪 上 安 太 郎					
9:26.6	高 石 勝 男	(東 部 中 等)	東 西 中 等 對 抗	大 阪 築 港	50	8.30
	宮 崎 康 二					
	富 樫 誠 助					
	新 間 六 炳					
9:26.6	牧 野 正 藏	(稻 泳 會)	關 東 選 手 權	神 宮	50	8.31
	横 山 隆 志					
	阪 上 安 太 郎					
	米 山 弘					
9:30.4	高 石 勝 男	(西 部 中 等 チ ー ム)	東 西 中 等 對 抗	大 阪 築 港	50	8.30
	北 村 久 壽 雄					
	杉 本 盛 憲					
	遊 佐 正 憲					
	片 岡 寅 次 郎					

300米メドレーリレー

3:28.2	河 津 憲 太 郎	(日 本 チ ー ム)	日 米 神	宮	50	8. 7
	鶴 田 義 行					
	高 石 勝 男					
3:29.8	フランク・ラルトン	(米 國 チ ー ム)	日 米 神	宮	50	8. 7
	ジョーン・ジュミラー					
	ジョーン・ハウランド					
3:31.0	河 津 憲 太 郎	(明 大 チ ー ム)	日 本 選 手 權	神 宮	50	10. 4
	鶴 田 義 行					
	片 山 兼 吉					

女 子 之 部

時 間	氏 名	所 屬	競 技 會 名	場 所	水 路	月 日
100米自由形						
1:15.4	松 澤 初 穂	(日 本 女 子 體 專)	日 本 選 手 權	神 宮	50	10. 2
1:15.8	荒 田 雪 江	(東 京 二 條 女)	日 本 選 手 權	神 宮	50	10. 2
1:16.0	松 澤 初 穂	(日 本 女 子 體 專)	日 米	神 宮	50	8. 9
1:16.2	松 澤 初 穂	(早 本 女 子 體 專)	大 坂 選 手 權 豫 選	大 坂 築 港	50	9. 6
1:18.4	荒 田 雪 江	(京 都 二 條 女)	第 五 回 女 子 中 等	大 坂 築 港	50	5. 24
1:18.6	小 島 一 枝	(相 山 二 女)	全 女 子	神 宮	50	8. 15
1:18.6	荒 田 雪 江	(京 都 二 條 女)	女 子 東 西 對 抗	名 古 屋 清 洲	50	8. 18
1:18.6	小 島 一 枝	(相 山 二 女)	三 回 全 日 本 中 等	名 古 屋 清 洲	50	9. 6
1:18.6	荒 田 雪 江	(京 都 二 條 女)	京 都 選 手 權	京 都 八 瀨	25	8. 26
1:18.6	荒 田 雪 江	(京 都 二 條 女)	第 五 回 女 子 中 等	大 坂 築 港	50	9. 24
1:19.0	荒 田 雪 江	(京 都 二 條 女)	全 女 子	神 宮	50	8. 15
1:19.0	小 島 一 枝	(相 山 二 女)	全 女 子	神 宮	50	8. 16
1:19.0	小 島 一 枝	(相 山 二 女)	第 五 回 市 民	名 古 屋 七 本 松	25	8. 22
1:19.4	小 島 一 枝	(相 山 二 女)	日 米	神 宮	50	8. 9
200米自由形						
2:53.2	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	日 本 選 手 權	神 宮	50	10. 3
2:53.8	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	日 本 選 手 權	神 宮	50	10. 2
2:55.2	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	日 米	神 宮	50	8. 7
300米自由形						
4:31.0	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	第 八 回 全 國 女 子	大 坂 築 港	50	9. 24
4:31.6	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	日 本 選 手 權	神 宮	50	10. 2
4:33.6	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	日 本 選 手 權	神 宮	50	10. 3
4:37.8	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	日 米 豫 選	神 宮	50	7. 29
4:37.8	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	日 米	神 宮	50	8. 8
400米自由形						
6:04.4	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	日 本 選 手 權	神 宮	50	10. 2
6:06.6	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	第 八 回 全 國 女 子	大 坂 築 港	50	9. 24
6:08.2	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	日 本 選 手 權	神 宮	50	10. 3
6:10.8	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	日 米 豫 選	神 宮	50	7. 29
6:12.2	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	日 米	神 宮	50	8. 8
500米自由形						
7:53.6	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	第 八 回 全 國 女 子	大 坂 築 港	50	9. 24
800米自由形						
12:50.2	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	第 八 回 全 國 女 子	大 坂 築 港	50	9. 24
1000米自由形						
16:18.8	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	大 坂 選 手 橫	大 坂 築 港	50	9. 6
1500米自由形						
24:42.2	守 岡 初 子	(茨 木 水 泳 團)	大 坂 選 手 權	大 坂 築 港	50	9. 6
50米背 泳						
0:40.2	橫 田 操	(同 志 社 女)	第 四 回 女 子 中 等	京 都 八 瀨	25	9. 6
0:40.6	加 藤 好 子	(愛 知 淑 德)	女 子 東 西 對 抗	名 古 屋 清 洲	50	8. 18
0:40.8	吉 田 文 子	(愛 知 一 女)	中 泉 女 對 抗 愛 知 一 女	名 古 屋 清 洲	50	7. 12
0:41.0	加 藤 好 子	(愛 知 淑 德)	東 海 競 泳 大 會	名 古 屋 清 洲	50	6. 21

時間	氏名	屬所	競技會名	場 所	水路	月日
0:41.6	加藤好子	(愛知 淑徳)	記念競泳大會	名古屋清洲	50	5.31
0:42.0	吉田文子	(愛知 一女)	東海競泳大會	名古屋清洲	50	6.21
0:42.6	吉田文子	(愛知 一女)	記念競泳大會	名古屋清洲	50	5.31
100米 背 泳						
1:27.4	加藤好子	(愛知 淑徳)	全國競泳	名古屋七本松	25	7.19
1:28:0	加藤好子	(愛知 淑徳)	第五回市民	名古屋七本松	25	8.22
1:28.4	加藤好子	(愛知 淑徳)	全女子	神宮	50	8.15
1:28.6	加藤好子	(愛知 淑徳)	日米	神宮	50	8.9
1:29.0	吉田文子	(愛知 一女)	日本選手權	神宮	50	10.3
1:29.2	加藤好子	(愛知 淑徳)	第二回東海女子	名古屋清洲	50	7.25
1:29.4	横田操	(同志社 女)	第五回女子中等	大阪築港	50	9.24
1:29.6	加藤好子	(愛知 淑徳)	第五回女子中壘	大阪築港	50	9.24
1:29.8	吉田文子	(愛知 一女)	日本選手權	神宮	50	10.2
1:30.0	加藤好子	(愛知 淑徳)	日米豫選	神宮	50	7.29
1:30.0	加藤好子	(愛知 淑徳)	神宮豫選	名古屋清洲	50	8.30
1:30.2	加藤好子	(愛知 淑徳)	東海競泳	名古屋清洲	50	6.21
1:30.2	横田操	(同志社 高女)	第五回女子中等	大阪築港	50	9.24
1:30.4	加藤好子	(愛知 淑徳)	女子東西對抗	名古屋清洲	50	8.18
1:30.6	吉田文子	(愛知 第一 女)	第五回市民	名古屋七本松	25	8.22
1:30.6	加藤好子	(愛知 淑徳)	第五回女子中等	大阪築港	50	9.24
1:30.8	加藤好子	(愛知 淑徳)	神宮	神宮	50	10.3
1:31.0	加藤好子	(愛知 淑徳)	第三回全日本中等	名古屋清洲	50	9.6
1:31.0	横田操	(同志社 女)	第四回女子中等	京都八瀬	25	9.6
1:31.4	加藤好子	(愛知 淑徳)	全女子	神宮	50	8.16
1:31.8	加藤好子	(愛知 淑徳)	第八回全國女子	大坂築港	50	9.24
1:32.0	吉田文子	(愛知 一女)	第三回全日本中等	名古屋清洲	50	9.6
200米 背 泳						
3:14.2	加藤好子	(愛知 淑徳)	全女子	神宮	50	8.15
3:17.8	加藤好子	(愛知 淑徳)	全女子	神宮	50	8.16
3:18.2	横田操	(同志社 女)	第八回全國女子	大阪築港	50	9.24
200米 リレー						
2:23.4	永井峰子 戸張ハツ子 小島一枝 前畑秀子	(關東チーム)	女子東西對抗	名古屋清洲	50	8.18
2:24.4	隱岐美和 櫻井愛子 横井キタ子 荒田雪江	(京都二條女)	第八回全國女子	大阪築港	50	9.24
2:25.2	水野スズエ 小島一枝 社本田歌子 前畑秀子	(相山二高女)	第五回市民	名古屋七本松	25	8.22
2:26.1	隱岐美根 櫻井愛子 横井キス 荒田雪江	(京都二條女)	第四回女子中等	京都八瀬	25	9.6

時間	氏名	所屬	競技會名	場所	水路	月日
2:27.0	水野スズエ	(梶山ニ女)	全日本中等	名古屋清洲	50	9.6
	小島一枝子					
	社本田歌子					
2:27.8	前畑秀子	(梶山ニ女)	全國競泳	名古屋七椏松	25	7.19
	社本田歌子					
	前畑秀子					

400米リレー

5:24.2	隱岐美根子	(京ニ條女)	日本選手權	神宮	50	10.4
	櫻井キヌ					
	横井雪江					
5:32.0	隱岐美根子	(京ニ條女)	第八回全國女子	大阪築港	50	9.24
	櫻井キヌ					
	横井雪江					
5:34.6	水野スズエ	(梶山ニ女)	神宮豫選	名古屋清洲	50	8.30
	小島一枝子					
	社本田歌子					
5:34.8	前畑秀子	(京ニ條女)	京都選手權	京都八瀬	25	8.27
	隱岐美根子					
	櫻井キヌ					
5:37.2	荒田雪江	(愛山女專附女)	日本選手權	神宮	50	10.4
	石田豐子					
	小島一枝子					
5:38.0	社本田歌子	(京都武德會踏水會)	第八回全國女子	大阪築港	50	9.24
	前畑秀子					
	鈴本サト子					
5:38.8	丸橋綾子	(梶山女專附女)	第八回全國女子	大阪築港	50	9.24
	伊達ミソ子					
	谷口鏡子					

300米メドレーリレー

4:24.0	加藤好子	(關東チーム)	女子東西對抗	名古屋清洲	50	8.18
	前畑秀子					
	小島一枝子					

日米對抗競技座談會 (つゞき)

時 昭和六年九月十二日夜

所 九段富士見軒

人 末弘嚴太郎 飯田光太郎 石本己四雄
田畑政治 松澤一鶴 小林榮三
野村憲夫 本井 功 西本龍三
安部輝太郎 杉田忠治 藤田 明
粟田春三郎 鶴岡英吉

米國選手及び彼等の感想

安部 アメリカ選手をこちらから眺めたものならば随分面白い観察も又ゴシップ風のものもあるだらうけれども、アメリカ選手に、君達は日本の水上競盟なり、水泳をどう見るかといふと、早速遠慮してしまうのです。この前に来たデレスク等は、いゝ加減にやめて貰ひたい位だつたが、今度は全然反對で非常に遠慮して言つてゐる。こゝで言つても御世辭になるが、聯盟の役員が手が揃つていて、順序よく事が運ぶと讚めてゐました。以前アメリカのA.A.Uなどは随分ひどいやり方をして、學校出の人などは一人もなく學校選手を非常に迫害したらしい。ハウランドの話に依ると、もう十年もすればA.A.Uも日本と同じやうにカレッヂで固めることが出来ると云つてゐました。今は段々そうなりつゝあつてファイブは學校を出た人ではないが、他は全部學校を出た人らしいです。日本の泳については、何しろやつて来た早々日米對抗の豫選を見せて貰つてすっかり喜んで、牧野などの評判を聞いてゐたので早く見たいと言つて、千五百のあつた日などは大騒ぎだつた。千五百ではキツプアスの子供までが、あんな競泳はどこかオリムピックでも見たことがないと云つて通を振廻してゐた。それで泳振りに就いては、チョイチョイキツプアスがあんなに足を出して泳ぐのは無駄になるからよく見ておくと、アメリカ選手に注意してゐた。一般に日本選手の足を眞似たいと云つてゐたやうです。ブレストでは小池のスムーズな泳に一寸びつくりして感心ばかりして居るより外なかつた様でしたが、鶴田の泳を見てオリムピックで優勝した當時もあんな泳ぎだつたかと云ふ

から、もつとスムーズだつたと云つてやりました。スペンスはどんな泳だと聞いたら、ホーンの泳ぎにもう少し上下動が少なくなつて、足の動が一寸大きいと云つてゐたので凡そ見當がつき想に思ふ。來年は小池が勝つと田畑君などは云ふが、小池はまだ若いから伸びると云ふと、キツプアスはいやスペンスも若いから判らぬと云つてゐた。丁度百米でゴヂヤツクではないバラニーが勝つといふと同じではないかと思ひます。要するに今度来たアメリカ選手は今まで来た選手と非常に違つて、凡ての態度が日本の學生々活に非常に似通つてゐて氣持のよい選手でした。又選手の統制が非常によくとれてゐて、監督には従順ですらすら物事を運んでゐるのには感心した。その點は日本選手に対しても感じて歸つたらしく、兎角今度の日米對抗はあらゆる意味において大成功に終つた。そして兩國運動團體の理解を増した。本年のオリムピックにはこれが餘程助になると思ひます。

石本 この機會に少し申上げて置きたいのですが、僕の伯父に會ひましたら、何かに書いてみんなにお傳へして貰ひ度いとのことでした。それは今度来たアメリカ選手の中にエール大學の人々が三名ゐるので、日本人でエール大學を出た人が東京に相當居てこれ等の人々がエール會を組織して居り東京會館で晚餐會をしたいから、エール大學の選手に出て貰ひたいとキツプアスに申込んだ。ところがキツプアスは行くのはよいけれども、第一にメニューを見せてくれといふので、メニューを出した所が、これだけは食べてもよいが外は食べてはいけないと云つて出して寄越した。話は唯それだけです、監督はそれだけ氣をつける人で、選手の實力を保つて行くやうにしなければならぬと思ふ。この間岸さんの招待會の時も一寸違つた料理が出るとみんなキツプアスの方を見ながらにやにや笑つて食べてゐた所などを思ひ合せて、監督は食物までに大分干涉してゐるやうで、日本でもどうかさういふ點を注意して貰ひ度いと思ひます。よく聞くことですが、合宿すると脚氣が非常に出るといふことですが、あれなどは大いに注意

して貰つたらどうかと思ひます。

末弘 今の石本君の話には全然賛成です。高石などは平常通りにして、決して特別のやり方をしないやうに考へてゐると云つてゐた。即ち自分で餘り考へなければならぬ時は弱い時であるといふ譯だらう。

西本 他から積極的にこれはいいが、これは悪いと言つたら初めは變に思ふだらう。

安部 今度アメリカ選手はホテルの食事にはチキンが非常に多かつたやうで、キツプアスはレースに出かける前には野菜サラダとコールドビーフ、それも辛子をつけてはいけない。それかトーストに卵の半熟をつけたものかの何れかを選ばしてゐた。紅茶も一杯丈で、あとは飲むなら水といつてゐた。學生選手にはキツプアスも相當注意してゐたが、クラブから來た選手には干涉しかねてゐた。

末弘 樺山さんの話だけでも、アメリカでもエール大學は學生の統制がとてよく殊にフットボールと水泳は模範的なものだそうだ。

安部 レースが終つて歸國に際して、ハワイに寄つて歸り度いといふ人が大分出來た。これは悪口のやうだがカリリ兄弟ともう二人ばかりあつた、オスボーンはハワイに友達がゐるので五日ばかり訪問して歸りたいところが海軍の演習か何かあつてそれに間に合ふためにはアメリカの船でハワイから行かなければならぬ。さうすると値段が違ふが自分でそれは拂ふから、郵船に交渉してくれといつた。郵船では幾人もあると困るが一人位ならよいといふので、オスボーンに話すと、暫く考へてゐたが、僕一人特典を與へられてはみんなに悪いから一緒に歸りますと云つてゐたが、エール大學のキアプテン丈けあつて仲々よいところがあると思ひました。

末弘 兎に角アメリカの東部の一流大學といふのは非常によく特にエールの水泳選手はよいので、又キツプアスも運動選手の監督としては技術的にも人格的にも優れてゐるさうだ。

田畑 大使館でもキツプアスは賞めてゐた。

鶴岡 日米對抗についての御話も大部分終つたやうに思はれますから、我々の最大目標たるオリムピックに對する豫想なり、希望なりを御話願ひます。

オリムピック大會の豫想

田畑 來年のオリムピックには、アメリカは極局コ

ヂヤックを出すだらうからそれを前提として考へなければならぬ。先づアメリカはバツクに勝つ。日本は千五百に必ず勝つ、もう一つは二百のブレストに勝てさうであるが、アメリカとしては百米にコヂヤックが出て勝つだらう。それで問題の分岐點は極局四百米と八百リレーで一番確實なものが勝つ。之が問題の中心だらうと思ふ。

飯田 今田畑君は百メートルでコヂヤックが勝つだらうといつたが、この間ハンガリーのバラニーが百米を五十七秒六で泳いでゐます。

松澤 さう云つたことから考へて日米大會から教へられた對策如何といふことです。八百米リレー、四百米の分業システムといふやうなものも非常にいい教訓だと思ひます。

西本 然しオリムピックの場合はメンバーが十三人と限られてゐないからその點は非常によい。

末弘 問題は選手がどれだけ出来るかといふことでこれは今日も岸さんに云つたことだが、詰り日本選手は今度にしても十三人といふと少いやうだけれども日本としては可成りベストであつて、來年にそれが二十五人位も出すことが出来たら問題なく完全に勝てると思ひます。それが最後の問題だと思ひます。それは僕等の立場で幾人でも出すやうに盡力しますから、諸君は自信を以て出し得る選手を澤山作つて下さい。

小林 來年勝つには二百の選手を澤山作ることである。千五百は必ず勝てるのですが、各専門の選手を澤山出すといふことにあります。

田畑 來年は牧野、横山、武村は千五百で、四百、八百リレーの選手にしては日本は勝てない。

末弘 それは全然賛成だ。

小林 二百米の選手は澤山急には出來ないから牧野をもり立てる、武村を強くする。千五百の選手はいくらでも出来る。

安部 さういふ意味で千五百にピカーをおいてあとの第二流を八百リレーや四百に使ふやうにする。

小林 四百でピカーを使ふより千五百でピカーを使はないと千五百に勝つ率は少いと思ふ。

末弘 四百には日本に見込があると思ふ。要するに日本としては決勝に三人残しておれば非常に望のあるレースが出来ることと思ふ。決勝に三人残すと云ふことはあらゆるものに就いて例へ負けたとしても日本は強いと云ふことになり、全體のレベルを上げることになり、同時にそれが一等をとる所以だと思ひます。その方が或選手をあそこに持

つて行つて勝たせやうといふよりいゝと思ひます
藤田 四百米に専門の人を作るのが第一だと思ひます。

石本 それを三人ね、今末弘先生の云はれたやうに
決勝に三人残すは非常によいことだと思ひます。

本井 千五百に横山、武村、牧野の三人がゐる。

小林 僕はそうでない。千五百は牧野一人で澤山だ
と思ふ。然し武村は四百に使へない千五百なら使
へる。それで武村を強くするそして千五百をやら
せる。牧野一人では練習も出来ないから。そして
横山を四百と二百とに廻した方が得策だと思ひま
す。牧野を四百に使ふのは無駄ではないでしやう
か。

末弘 この間の大會では無駄だと云つても使はざる
を得なかつた。あとになつて何とか云ふけれ共、
百についても問題になるのは一分を切たことは案
外誰も出来ないのではないかと思ふ。それは自分
一人で最上のコンディションで、誰も何にも云は
ずにやればバラニーとかその他でもあるだらうが
オリンピックなどではそうは行かぬ。だから結局
オリンピックを目標として決勝に三人残すといふ
のがよい。

飯田 尤もバラニーの五十七秒六といふのはヨーロ
ツパの記録にもなつてゐない。

小林 バラニーは外國には行つたことは無いやうで
すね。

藤田 いや前のオリンピックに百で三等になつてしま
すが、あのレースももう少し、籤を引いてゐた
ら問題なく勝つて居たと思ひます。

オリンピック大會への希望

末弘 來年のオリンピックに對し初めから日本とア

メリカで中心となつて全體の空氣を作り度い。ア
メリカは物が判つてゐるから、この前のアムステ
ルダムのやうなことはないだらうが、今度のやう
な素地を作つて置けば非常に樂で全く對等に扱つ
てくれると思ひます。

松澤 今日まで日本は競技に参加したのを、今後は
國際水上聯盟の組織の中に参加出来るではないか
と思ひます。

安部 きつとそうなります。キツフアス等は國際水
上聯盟の組織等といふものは、實力あるアメリカ
の主張が通らずフランスやイギリスが割合威張
つてゐる。然し何も知つてゐないのだからアメリ
カと日本でこうしやうと云へば必ず通るから、協
調して行き度いと云つてゐました。

松澤 キツフアスはオリンピックの會議あたりへ訂
正すべきことがあるならどんどん出して呉れ、若
し今年の十一月迄の會議にかけるA.A.U 日米兩
方の案として提出する可能性が充分あるから、水
泳のためによいことならどんどん草案を送つてく
れ、それも英語でなく日本語でよい。アメリカで
日本語の先生に譯して貰ふと云つてゐました。

西本 バツクのスタートが問題だね。

末弘 あれはアメリカでも問題だ。

飯田 バツクと云ふより全體のスタートであると思
ふ。

松澤 オリンピックの役員も二月何日か迄に提出せ
よといふ手紙が來てゐます。然し命ぜられると行
なければならぬので……。

飯田 日本からついて行く人が役員になつて入るよ
り仕方がないと思ふ。

鶴岡 色々有益な御話を長時間に涉つて御願ひして
有難ふ存じました。

日米對抗雜感

Y · M · K

○
リンディーの太平洋横斷が地球を縮少し、日米兩
國を接近せしめたとすれば、別の意味に於て、日米
對抗も同様に云へる譯です。

○
此の試合に快勝し得たことによつて、吾々は米國
人に誇り得る力強い一つのものを得た事を喜ばねば
なりません。

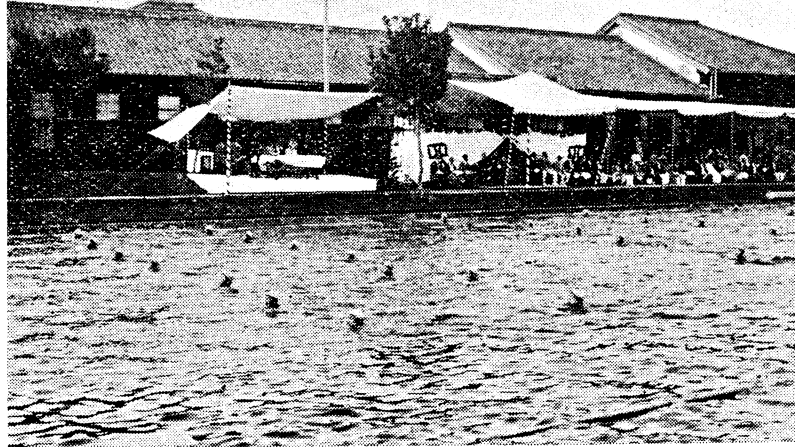
○
彼は技術的には、我に劣るとも優つて居りません
唯、總てのスポーツを通じてそうでせうが、體力に
於て劣る丈です。これは科學的な解決に待つ外ない
のでせうか。

○
一見ルーズに見えて、各自よく融和し、よく統制
(以下23頁)

秩父宮

同妃殿下

台覽



水上競技

大會

杉本傳

八月十六日大阪府體育振興會に於ては秩父宮殿下が八月中軍務の爲府下高槻町の工兵第四大隊に御入隊遊される機會を得たるを以て府立茨木中學校水泳場に於て台覽の目的を以て大阪府下の小學校、男子及女子中等學校、大學校專門學校及青年團の競泳、茨木中學水泳行進、茨木水泳團對神戸外人の水球を當日の水上競技會に於て舉行した。大正四年九月六日大正天皇の御即位を紀念し奉る爲に工を起し大正五年二月十一日此の茨木中學プールに初めて水が漲つて以來茲に星霜を経る事十六年、我國水上競技發展の先端に立つて活躍した泉源である此のプールに茨木中學の全校生徒と我國水上競技會に活躍した茨中出身者に依つてなされた水泳行進曲を台覽に供し奉り其の御説明役を拜した事は私に取つて無上の光榮とする所であつた。

此の水泳行進曲なるものを紀念の爲に記録して見やう。

體育上から見た水泳はたゞ選手が競泳するだけでは甚だ物足りないものだ、全生徒が一定の形式の下に統一された泳ぎをやると云ふ所に體育振興の目的を達せられるのである。此の理由に依り大衆的の行進を仕組んだのである。此れは當日の番組に入れられ午後四時五十分から五時十七分に至る二十七分間に全部が進行されたのである。

六百數十名よりなる一團はプール外に整列して殿下に敬禮終つた時茨木中學ブラスバンドはワルツ「愛情の天使」を奏し始めた此の時、第八回萬國オリンピック大會に出場した平泳の石田恒信は先登にプールに飛んで蛙平泳で進む、續いて茨中生徒一列七名宛百五十四名が同じく蛙平泳で十米の距離を保

つて次ぎから次ぎへと五十米のプールを泳ぎ渡る、ブレスト行進の終ると同時に飛込が始められた出場者は第九回萬國オリンピック大會に出場した高階富士夫、日米對抗番外競技に出場した小林一男、茨中生徒西尾太一、野田卓夫他に一年生六名。

飛板飛込三米

1. 西尾、走前逆飛
2. 高階、立後逆飛
3. 野田、走前踏切後逆飛(伸び切型)
4. 小林、走前蝦飛
5. 西尾走前一回半宙返り(蝦型)
6. 高階、後踏切前逆飛
7. 野田、一回半宙返り(抱型)
8. 小林、立前踏切後一回宙返り(抱型)
9. 西尾、後踏切前一回半宙返り(抱型)
10. 野田、走前踏切後一回半宙返り(抱形)
11. 小林、後二回宙返り(抱形)

五米高飛込

1. 西尾、走前逆飛
2. 野田、後一回宙返り(伸び切り型)
3. 小林、立前踏切後逆飛(伸び切り型)

十米高飛込

1. 高階、走前一回半宙返り(蝦形)
2. 小林、後踏切前一回宙返り(蝦形)
3. 一年生立前直飛、一名宛六名
4. 小林、立後逆飛
5. 野田、西尾、兩側腰掛前逆飛、高階、走前逆飛(三人同時)

以上の飛込、二十四回が八分間に進行して行つた。

飛込が終ると同時に第四コースから片授手扇横泳で一人で泳ぎ出したのは第三回極東大會芝浦に日本選手として一哩に出場した中田留吉當時用ゐた歴史的泳法其まゝ台覽に供じたのです。續いて背泳の上田治、大正十一年より十五年までの日本記録保持者續いて背泳の入江稔夫第八回オリンピック大會に出

場し此のプールに初めて泳ぎを習つて在學中に世界記録を二つ作った。

背泳が終る頃、指揮者の合圖によつてプール周圍に立つた一年級二百名次ぎの合圖で水中に飛込蹠足を始める水煙は見事なものであつた。此れはクロール教育の最初に行ふもの、次ぎは指揮者の合圖で二百名の蹠足は止められて駆走で四ヶ所の出口から退場、其れと同時に水泳部員のクロールの基礎練習とも云ふべきボールを手にしたバタ足にて行進する十名の一行が進む。次ぎにクロールの行進が始められた先登は大正九年我水泳界に始めて中、長距離にクロールを用ゐる動機を作つた入谷唯一郎、續いて一行七名二百五十二名のクロール隊、八米の距離を保つて次ぎか 次ぎへと行進した此のとき音楽隊は行進曲我等の軍隊を吹奏した。此のクロール組の後から元明治大學主將の村松正一、指揮の下に荒木健造、吉岡治一、金森文太郎、宮原万壽、奥野健吉、大川秀夫、阪上安太郎等十五名が二列になつて續く。最後に第八回第九回の萬國オリンピック大會に出場した高石勝男がクロールで百米を泳ぎクロールの作品が一年のバタ足から此の邊まで行くものである事を

台覽に供したのである。高石が泳ぎ終るときプールから引上げに行つたものは入谷唯一郎彼等は茨中在學當時同級同組であつた此の高石、入谷がプールの縁に立つたとき出演した全員は殿下に對して敬禮をなして茨木中學水泳行進曲は終りを告げたのである此の水中レビューは我學校としては再びやる事が出来ないものであると思つて居る登上人物がこんなに揃へる事は實に困難であるからだ。

最後に行はれた神戸外人チーム對茨木水泳團チームの水球は二對五で茨木側の勝ちとなつた。外人團は一昨年以來の全日本選手權保持者であるだけにチームワークがよく取れて克く洗練されたチームだ、茨木は其の日の寄せ集めであつたけれども高石、坂上、赤松のフォワードに石田、奥野、田中のバックワード、入谷のゴールキーパーと精銳を集め得たから強襲で押通して勝つてしまつた。

午後四時より始められた此の競技會は定刻午後六時に豫定の番組を終り君が代の吹奏裡に兩殿下をお送り申上げて此の紀念すべき會は終りを告げたのである。

(21頁よりつづく)

のとれてゐたのは、キファース監督の勝れた手腕のみによるのではないでせう。エール系の選手の洗練された品格と、彼の努力による所を見落してはなりません。

○

キファースに云はせれば「邪魔にはなりませんまい」のデレーニーがチームの空氣をどんなに和げ、どんなに明るくしてゐたことでせう。「貴い無駄」です

○

キファースは自分はプロフェショナルなるが故に日本側の委員の様に充分水泳界に盡し得ないと云つてゐたが、彼の世界的コーチたる聲譽と信望は、彼の正しいプロフェッショナリズムに生れたのではないでせうか。正しいプロフェッショナル意識は、誤られたるアマチュア意識に勝ること幾倍だか知れません。吾國にも彼の様なプロコーチが欲しいものです。

○

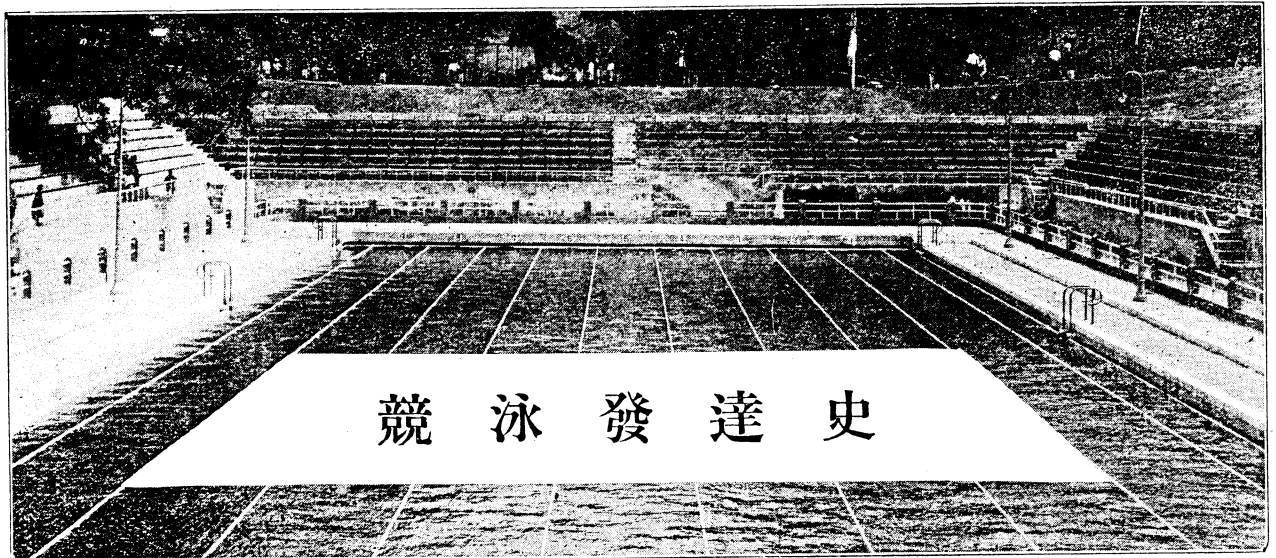
此大會で輝しい足跡を残したのは、總じて中等選手です。これこそ、吾が水泳界將來の不斷の發展の證左です。行詰を知らない前途の幸福を祝福せずにはゐられません。

○

總てがイボック・メイキングな形式と内容によつて、行はれた大會に、一段と光彩を添へたのは藝術品としての賞牌です。スポーツは獨り藝術及醫學の對照のみでなく總ての科學對象になり得るのではないでせうか、それらの進出を望んで止みません、

○

水上競技聯盟もこの企てによつて自他共にその能力を知つた譯です。全日本の水泳家と協力して、缺陷なき組織の下に、世界の覇業に前進せねばなりません。



競泳發達史

山 魁 村 市

第一章 競泳勃興時代(自明治年代至大正11年代)

第二 大正初期の競泳界(8年度迄)

(1) 極東選手権大會(大正2年度)

極東大會は比律賓マニラに於けるカアニバル祭に胚胎したものである。此の大祭には群島から集まつた壯者が米國人指導の下に盛大な競技を行ひ來つたものであるが、逐年盛んになるにつけて、遂に極東諸國聯盟して舉行せんと議が起り、茲に我國にも加盟を勧に來た。即ち大正元年九月マニラY M C A 體育部主事ブラウン氏が來朝して、體協會長加納治五郎氏と會見した。加納氏は遠來の勞を謝し且つ日本ではスポーツに理解の士に乏しいから直ちに加盟するのは尙早であると確答を保留したのである併しブ氏の熱誠に動かされて選手だけは送るべく盡力を約した。ブ氏は更に支那を説き茲に日比支三國にて競技を行ふ運びとなり、第八回乞は三國輪番に主催となり隔年行ひ來つたが、第九回以後は四年目毎に開催すべく變更されたのである。

此の大會参加は我が水泳界に光輝あるスタートを切らしめたもので、同時に新紀元を劃した重大事であつた。即ち第二回上海大會に我が鴉飼選手が目醒しい活躍をして以來、内地の競泳界は俄然色めき渡り極東の霸權を目指して突進また突進、眞にわき目も振らずに精進した。其の甲斐あつて今は全く極東に敵なく世界の覇を唱ふる迄の大躍進を遂ぐるに至つたのである。

回数	年次	場所	優勝國	得点	日比支
(1)	大正2年	マニラ	比	0 49	2
(2)	4年	上海	支	12 11	28
(3)	6年	東京	日	47 3	3
(4)	8年	マニラ	比	9 25	7
(5)	10年	上海	比	20 21	0
(6)	12年	大阪	日	74 8	0
(7)	14年	マニラ	日	67 14	0
(8)	昭和2年	上海	比	39 43	4
(9)	5年	東京	日	62 20	4

◇第一回極東大會(2年5月マニラ—1913)

日本からは明治大學野球團のほか陸上長距離選手として田舎片及び井上の兩名が出征した。此時田舎片選手は祖國の爲め勇躍一番遂に一哩マラソンに優勝、5哩では田舎片井上が一二等占め點を獲得して萬丈の氣を吐いた、之れによつて我が内地の運動競技界は極度に刺激されたのである。水上競技は比49點支2點と云ふ結果で比軍の大勝に歸したのであるが我れは時ららずして水上代表を送るに至らなかつた。成績は

40碼	52.8	ベニテツ	(比)
220碼	3.40.8	デルパン	(比)
1哩	42.51.8	クリストパン	(比)
220碼平	4.59.6	デルパン	(比)
100碼	1.25.4	レネア	(比)
440碼	9.32.6	クリストパン	(比)
100碼背	1.38.6	ベニテツ	(比)
160碼リレー	1.55.8	比島チーム	

(2) 全日本選手権大會 (3年度)

極東大會に刺激された我が水泳界に、統整ある競泳會の出現は自然の要望である、時代の動きは茲に全日本選手権大會の前身たる全國水泳大會を生んだのであつた。此れは上海に開かるべき第二回極東大會に派遣すべき代表選手の豫選會たと同時に將來我國に於ける標準競技たらんと企圖から出發したものであつた。大正3年8月の創始であるが、爾來速縮たること、參加者が全國的なること、主催者が權威者たること、整備せること等の條件を具備したものである。其後幾多の苦難を嘗め變遷を経て來たが、今日でも其の價値は認められ我國屈指の名に背かぬものがある。便宜上時代別に見ると

- 前期 第一回乃至第九回 全國永泳大會
 (大日本體育協會主催)
 後期 第十回乃至第回全日本選手権大會
 (日本水上聯盟主催)

會の名稱及び主催者より見ると以上の如くであるが競泳池から見ると第一回乃至第七回は建設期とも云ふべく大森赤羽鳴尾其他のダムや池を彼方此方と物色して歩き水草を追ふ放浪時代であり、第八回以後は芝プール其他立派なものが出來て安定期に入つたと云へやう。また前期は極東霸權確定時代と云ふべく後期は世界的進出時代とも云ふべく、泳法から見る時は建設期は新舊泳法混亂時代、安定期はクロール萬能時代とも云ふべきであらう。以下表記すれば

回数	日時	場所
1.	大正3年8.10	大森
2.	4年8.20	芝浦
3.	5年9.8	赤羽
4.	7年8.37	鳴尾
5.	9年8.28-29	生麥
6.	10年9.24-25	生麥
7.	11年9.16-17	調布
8.	12年8.25-26	芝
9.	13年10.17-18	芝
1.	14年10.10-11	芝
2.	15年8.14-15	京二高
3.	昭和2年7.30-31	玉川
4.	3年10.6-7	京二高
5.	5年8.3-4	玉川
6.	5年8.22-24	神宮

尚初期の競泳界は關東中心にして關西は稍々おくれ

てゐたが3年8月に大毎主催中等學校水泳會の創始により漸次活況を認めるに至つたのである。

◇第一回全國水泳大會(3年8.10大森)

當時に於ては我が水上競技界最高峰たるべきもので其れだけに競泳専門の會として空前の盛會であつた。體育協會幹事本田好氏主唱の結果生れ出たものである。レコードを慎重に作らうとあつて一回5人以内にて幾組にも別けて行ひ、短時間者より順次に等級を定むる方法を探つたのであるが、之れは所謂タイムレコード判別法とも稱すべきもので此の方法は第5回(9年三笠園池)迄も踏襲されてゐたのである此日快晴に恵まれて午前拾時から東京府下大森のガス會社構内の海水ダムで行はれ午後六時終了した、種目は自由型のみで背泳及び平泳は無く3回より追加された。

鵜飼彌三郎の力泳は兼て習得せるオーストラリアンクロールを用ひ100米に1分5秒2と云ふ驚異的記録をあげたが之れは大正12年に入り入谷高石によつて破られるまで嚴然として存したものである、同選手は四年前芝浦の速力檢定水泳會の200碼に2分32秒で優秀した事あり、明治末葉から大正前半にかけて我が國一流の名聲を馳せた猛者である、が遂に明年上海行の代表に選ばれたのである。當日の成績を特記すれば

100米	1:05.2	鵜飼彌三郎(横濱體研)
	1:13.4	萩原誠一郎(同上)
	1:14.4	松村素夫(東京高師)
200米	3:00.8	萩原誠一郎(横濱體研)
	3:10.2	川中忠治(大日本武徳會)
	3:13.0	永井節二(同上)
400米	6:51.6	玉井晋次郎(大日本水泳)
	6:59.0	萩原誠一郎(横濱體研)
	6:59.9	村等(大日本武徳會)
800米	12:39.0	鵜飼彌三郎(横濱體研)
	14:25.2	川下彦三郎(修徳館)
	15:15.0	馬場園義馬(高輪中)
400リレー	5:21.2	横濱體育研究會 (鵜飼、萩原外二名)
	5:41.6	修武館水泳部
	5:45.0	大日本武徳會
少年100米	1:23.4	齋藤一郎(修武館)
	1:23.8	山下繁吉(横濱體研)
少年200米		

- 3:10.0 吉田 壽夫 (安房中)
- 3:16.0 山下 繁吉 (横濱體研)
- 3:17.0 内藤 貞二 (磯子水泳場)

(3) 極東雄飛の第一步 (4年度)

上海に於ける鵜飼選手は自由型四種目に優勝し日本一流の名に背かず極東争覇の第一步に於て既に敵軍を威壓する武勳を樹てた。

◇第二回極東大會(4年5月上海—1915)

水陸拾壹名の代表が送られたが水上は鵜飼一名陸上は短長距離及び自轉車選手をも包含してゐた。鵜飼選手は一騎當千の力泳もの妻く極東新記録を以て50碼 100碼 440碼及び 1哩に榮冠を獲得、支那の李羅伯は 220碼自由 100碼背泳 220碼平泳の三種目に優勝したが、結果は支那28點日本12點比島11點で支那の優勝と決したのである、其後支那は一回も優勝せぬのみか零敗を喫する三度び誠に香しからぬ成績である切に奮起を祈るものである。競技成績は

- 50碼 32.4
鵜飼彌三郎(日) フェレル(比) チョイ(支)
- 100碼 1:9.6
鵜飼彌三郎(日) リー(支) フェレル(比)
- 220碼 3:27.4
李羅伯(支) デルパン(比) ホー(支)
- 440碼 7:21.0
鵜飼彌三郎(日) 李羅伯(支) デルパン(比)
- 1哩 31:59.4
鵜飼彌三郎(日) 李羅伯(支) ウォン(支)
- 100碼背 1:38.3
李羅伯(支) フェレル(比) ラウ(支)
- 220碼平 4:0.6
李羅伯(支) デルパン(比) ホー(支)
- 200碼リレ 2:225.8
支那チーム 比島チーム
- 跳伸 36呎8寸。
李羅伯(支) ホー(支) デルパン(比)

◇關東聯合水泳大會(4年8.14北條)

競泳界に先鞭をつけた此の會も茲に 9回を重ね少々見るべきものがあつた、此の日快晴にして一高40高師70安房中 100早大20千葉水産23農商務省水産30等の参加があり正午三發の銃聲を合圖に、高師水泳部岡村教授審判の下に50米から開始された、競泳場は船で圍んだ海上である。當日安房中學の健兒の目醒しい奮闘は斷然他校を壓してゐた。以後數年間各地に勇躍の黄金時代に入つたのである。當日の成績は

- 50米 39.0 辰野房次郎 (安房中)
- 37.0 川名 誠 (千葉水産)
- 37.3 秋山直治 (安房中)
- 100米 1:15.0 奥田 寛 (安房中)
- 1:19.0 松村素夫 (高師)
- 1:23.0 辰野房次郎 (安房中)
- 200米 3:03.0 池谷謹一 (安房中)
- 3:09.3 吉田 壽夫 (安房中)
- 3:09.0 藤村寛太 (高師)

得點 100 安房中學 70 高師 40 一高 30 農商務省水産講習所 23 千葉水産講習所 20 早稲大學

◇第二回全國水泳大會(4年8.20芝浦)

競泳場 東京芝浦の舊一號二號の兩埋立地の中間の運河の幅約30間の場所を仕切つて 100米の直線コースを作り、一方の岸に天幕を張り渡し出發決勝の兩端には大傳馬船に踏板を渡してスタートの踏切に便した。

概況 此の日天氣晴朗にして品海の白帆の去來しきりにして絶好の水泳日和、出場選手26名團體20餘に及んだが關東地方に局限された觀ありしは創生時代として免れぬ處である、此の日は極東大會及び前會に名聲を馳せた鵜飼選手が上海仕【みのオーストラリアン・クロールを以て特技を示すと云ふので觀衆の山を築いた。殊に同選手の屬する横濱體育研究會の應援隊は小蒸汽にて應援し、又玉井選手の屬する大日本水術練習所は二隻の大傳馬船にて赤筋二本に錨印の旗を打振りつゝ應援し物凄い熱狂を見せてゐた。

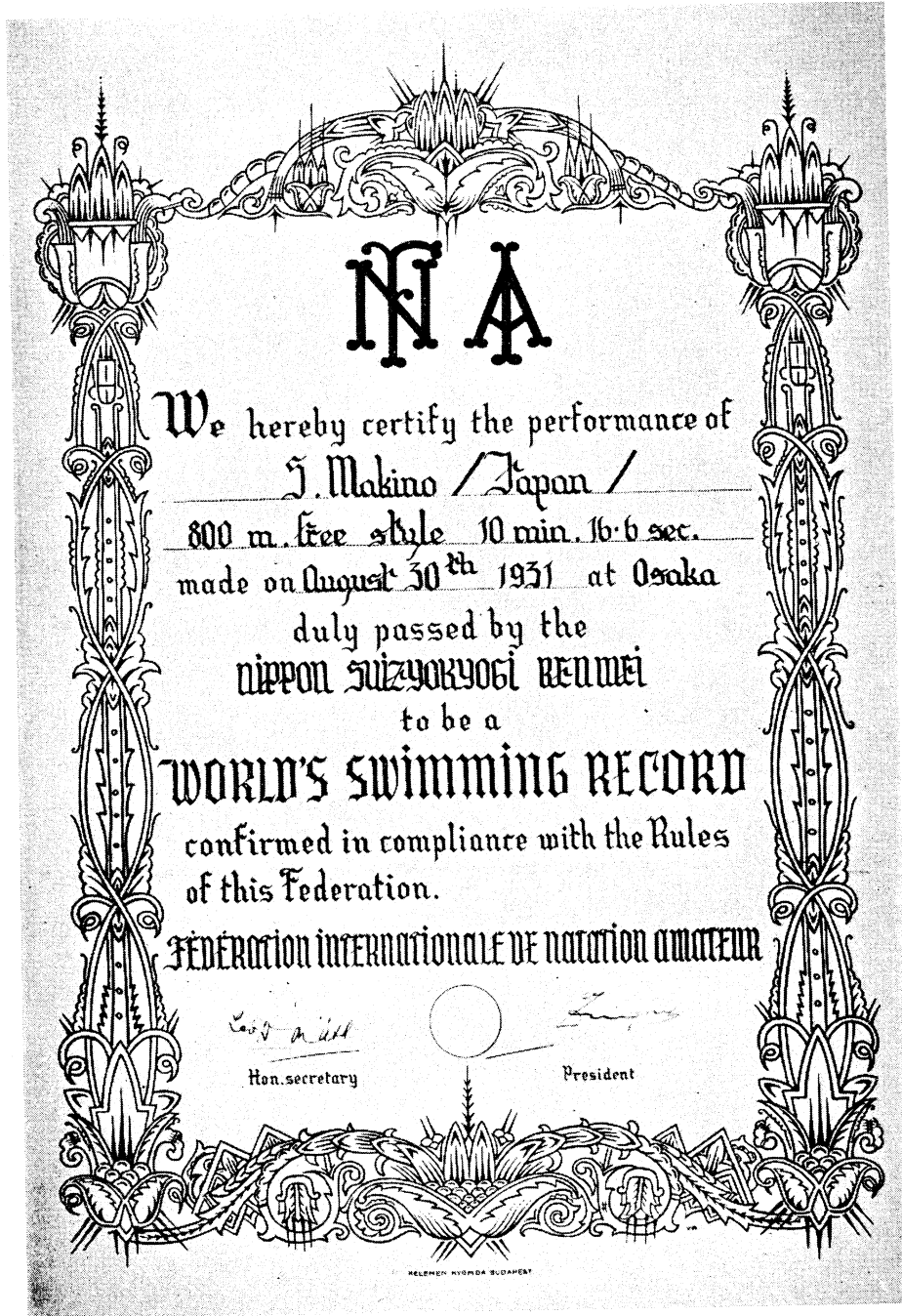
競技經過 審判長體協幹事本田存氏以下極めて嚴密なる審判にて愈々午前9時40分に100米自由型から開始された、午前中百二百四百を終り午後少年百及び八百と 400リレーを行ふ。鵜飼選手は 100米に於て最初30米をクロール、後の70米を片技手で進んだが、400 競泳の時は最初から片技手一重伸で一貫した。蓋しクロールは短距離のほか用ゐる事が出来なかつたので此の傾向は大正前半を通じて見受けられ、後年茨木中學入谷選手が長距離をクロールにて一貫した時は驚異の眼をみはつたものである。安房中の奥田寛、福原喜一、池谷謹一、辰野房次郎等はさすが關東水泳大會で鍛へた丈に此會斷然たる強味を有して 400リレーに優勝し、以後リレーは安房中の獨占となつた。高師の齋藤兼吉は漸く鋭鋒を現はして來た。當日の成績は

- 100米 1:10.8 鵜飼彌三郎 (横濱體研)
- 1:21.6 齋藤兼吉 (高師)

(以下32頁へ)

Photo Suiei

世界記録證



牧野正藏選手

800米 10:16.6

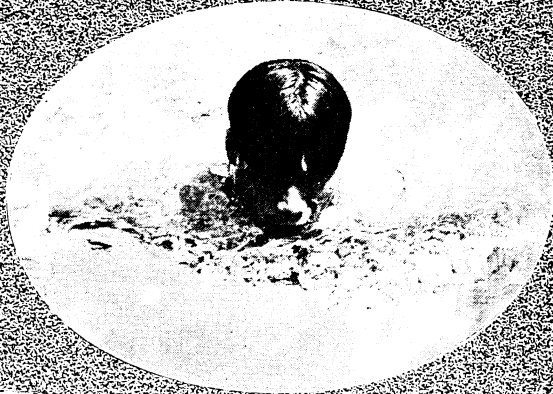
31.8. 1931. 大阪築港 (50m)

寫眞上はこの程到着した記録證

下は牧野選手力泳



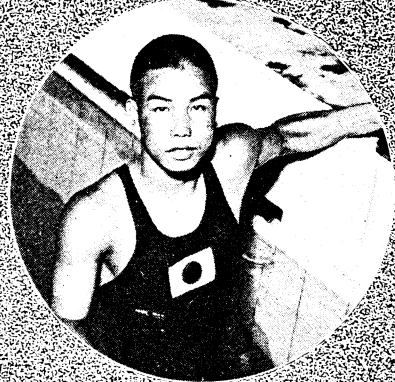
宮崎康二
100自 59.2



鶴田義行
100平 1:16.6



武村寅雄
1500自 20:02.2



小池禮三
200平 2:54.0



横山隆志
200自 2:16.4
400自 4:56.4



清川正二
50背 32.8
100背 1:21.6



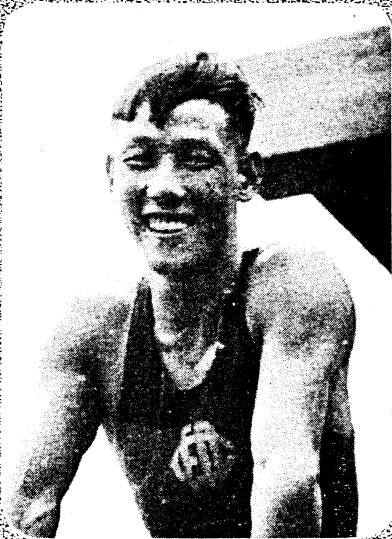
水球チーム
稲泳會



300メドレー
明大チーム
3:21.0



800リレー
濱名灣
9:20.8



石川 英勝
高飛込



小林 一男
飛板飛込



鎌倉 悦子
飛板飛込
高飛込



松澤 初穂
100自 1:15.4



守岡 初子
200自 2:53.2
400自 6:08.2



吉田 京子
100背 1:29.0



400リレー
京都二條高女
5:24.2

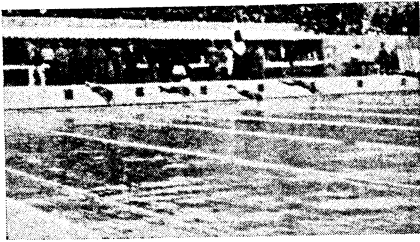


前畑 秀子
200平 3:12.6

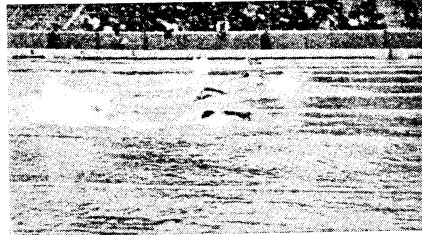
100米自形決勝

昭和六年十月三日 神宮プール

コース 3宮崎 4河石 5高橋 6豊田 8遊佐
 着順 1宮崎 2高橋 3河石 4遊佐 5豊田



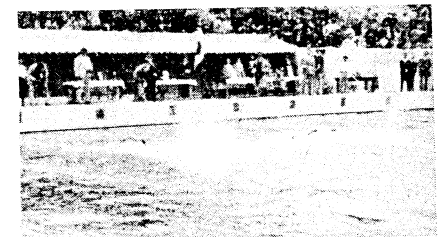
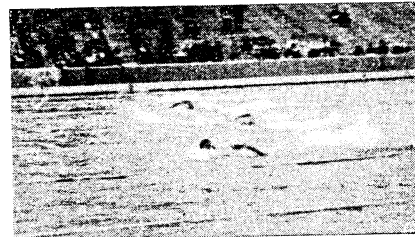
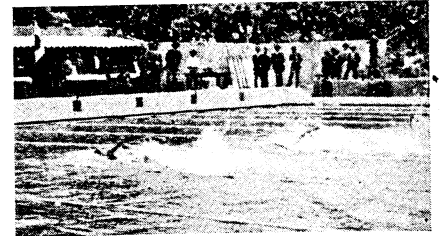
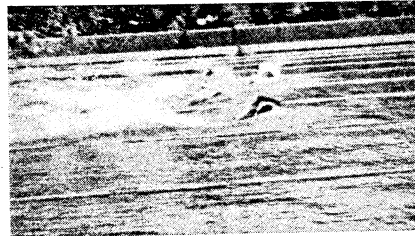
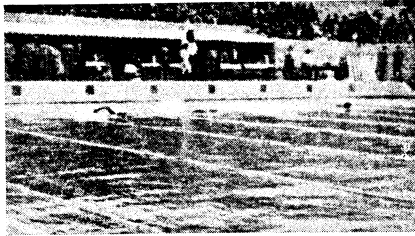
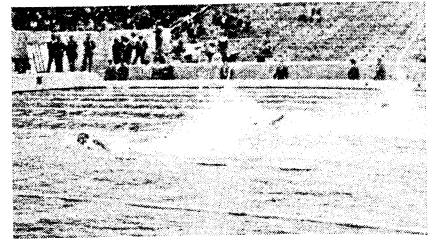
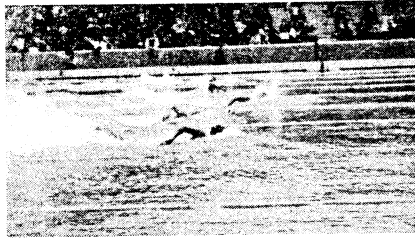
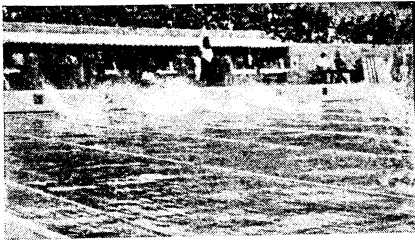
スタート



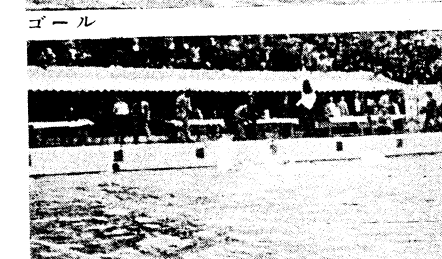
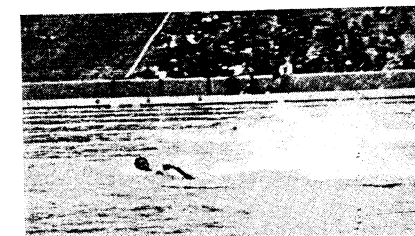
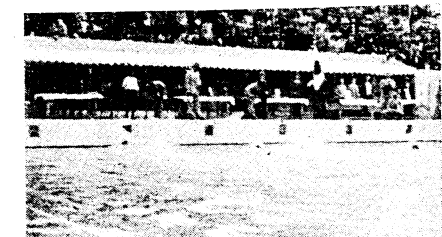
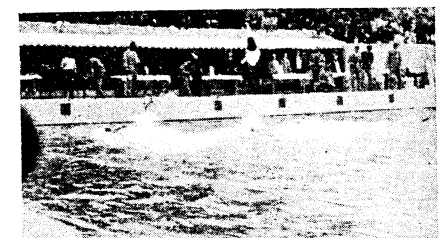
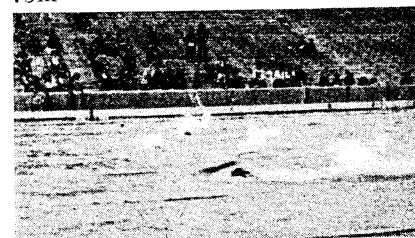
25m



90m



15m



ゴール



競 泳 選 手 と 合 宿

醫學博士 太 田 正 隆

合宿で肝要な事は言ふ迄もなく人の和と各自の健康である。人々の和合は監督及主將の人格と各自の修養に待つべき事で今述ぶべきではない。健康保持に必要な條件は選手の睡眠と栄養とである。

睡眠は疲労恢復に最も肝要である事は今更言ふ迄もない。夫故選手の中で神経系が外界の刺戟に對して興奮性に生れついて居て睡眠不足に成り勝ちの人は、他選手の諒解を得て出来るだけ刺戟の少い所で熟睡せしむるやうにせねばならぬ。殊に對抗競技の合宿では一層必要である。

一般に運動選手は競技前の烈しき練習中は体内の蛋白質の分解が非常に旺盛である爲め肺臟よりの有毒瓦斯の發生が多いから寢室の空氣の流通は充分よくし、部屋 廣さと人數との割合は先づ八疊に二三人位がよい。

睡眠時間は各人の睡眠の深淺によつて種々であるから、理想から言へば睡眠の淺い人は淺い人同志、深い人は深い人同志を同室にねかすがよい。

若し對抗競技の合宿で興奮して眠られぬ人が出来たら、夕飯後の飲食物攝取を嚴禁し前記の如く刺戟少き部屋に消燈してねかし、時には葡萄酒、ベルモット等を就床前に用ふるも可い。睡眠劑は成可く用ひぬ方がよい。

大體睡眠の時間、寢室等の關係は平常の合宿と競技前の合宿とコンディションが變らぬやうにせねばならぬ。

次に栄養の問題であるが、一體人間の栄養に肝要な滋養素は蛋白質、脂肪及含水炭素(糖分)の主要養素とビタミン A. B. C. D 等の副養素とであつて、

之等の滋養素を人間に供給するものは言ふまでもなく常食品である。之れは動物性食品、穀類、豆類、野菜類、果物類等があるが、物によつて夫々前記滋養素の含有量が種々違つて居る。而して健全なる人は之等常食品の種々の物を充分に偏らずに食べればよいのであるから、健康な選手諸君は蛋白質、脂肪糖分、ビタミン A. B. C. 等を偏らず充分食べればよい。但し各滋素一瓦に付き

蛋白質	4.1	カロリー
糖 分	4.1	カロリー
脂 肪	9.3	カロリー

であるから脂肪が一番栄養價があるわけである。

次に含水炭素(糖分)は筋肉運動に缺くべからざるものであつて、運動エネルギーの根源と成るグリコゲン及葡萄糖は主として此の含水炭素から出来るのである。人間が攝取した含水炭素から製られたグリコゲンは肝臟及筋肉内に最も多く貯藏されて居て、此のグリコゲンと血液内の葡萄糖との分解によつて運動のエネルギーが生ずるのである。扱て此の含水炭素は主に穀類及其の類似品に含まれ、次には豆類、野菜類及果物類の一部に含まれてゐるから合宿選手は競技前には平素よりも餘計に之等の常食品を食べ又其の他の糖分を攝取すべきである。選手が海外に遠征した時には特に注意して穀類を食べねばならぬ。但し運動のエネルギーを増大せしむる目的で含水炭素即糖分を多く食べ時には必ずビタミン B を含んで居るものを澤山食べねばならぬ。一體劇しく筋肉を働かすと体内に乳酸其の他の有害物が澤山出来て、之が蓄積すると疲労が増大する。此の

乳酸 酸化解毒を体内のビタミンBが促進するので従つて体内のビタミンBが平常より不足がちと成るらしい。所がビタミンBが不足の時に含水炭素を澤山食べると脚氣が起り易く成るのである。

次に平常合宿の食餌と競技前合宿の食餌との關係を精密に研究すれば中々簡単には言はれぬが、脚氣や肋膜炎の既徑症の無い健全なる選手ならば平常の食餌と競技前の食餌とは量的に差はあつても質的には餘り差の無い方がよい。例へば平常合宿では半搗米、發芽米又は米麥混合飯を食べて居るのに競技前合宿では精白米を食べるが如きはよろしくない。何となれば此の場合は即ビタミンBの攝取量に相違を來すのである。のみならず精白米の方が美味しいから餘計食べる爲め、含水炭素の攝取量も亦常と違つて來る。即含水炭素を餘計攝取してビタミンBの食べ方が少く成る理である。即前述の如く脚氣の起り易い状態と成るのである。斯の場合(常食飯の質的變化が避け得られぬ時)は副食物としてビタミンBを多く含有する物を澤山食べさせるより致方がないのである。

又平常野菜類、穀類を多く食べて居る人が競技前合宿では蛋白質及脂肪を多くとつて勢力を着けんが爲め肉食を多くすると、野菜類、穀類の供給が減じて含水炭素の攝取量が減ずる爲め却つて害を來す事がある。

夫故平常半搗米又は發芽米を食べて居る選手は競技前も亦矢張り之を食し、平常新鮮なる野菜、果物鶏卵等を充分好んで食べる人は競技時も同様に之を澤山攝取して平常及競技時に於ける食餌の質的相違を避けねばならぬのである。

然るに脚氣の既徑症ある選手では、競技前には平常より遙かに烈しく筋肉を使ふから、他の選手より特に多く好んで居るものを食べねばならぬし、又肋膜炎の既徑症のある選手は他選手よりも餘計ビタミンBを攝取せねばならぬから脂肪に富む動物性食品を充分に食べねばならぬ。

斯る事柄を顧慮すると指導者及監督諸氏は合宿に於て各選手の健康状態を充分知り置くと共に、他方其の寢室及食餌の献立にも注意を拂はねばならぬのである。

ス ポ ー ツ 醫 學 の 新 研 究

如何にしてタイムを向上せしめ
且疲勞回復を速かならしむるか

II 酸素吸入の運動に及ぼす効果

(原著 Acta Schol. Med. Univ. Imp. Kyoto 第十四卷第一號参照)

京都帝國大學醫學部眞下内科 深 山 杲

過般本誌(第五號)に「ビタミンB製劑の運動に及ぼす効果」と題して筆者の研究成績を簡単に報告した處、幸ひにして讀者諸君の御留意を忝うし得た由承り、筆者の大いに光榮と存する次第である。

就ては編輯當局より請はるゝまい、今度は表題のやうな研究に就て再び貴重なる頁を汚がさして載く事にした。

報告に先立ち申上げて置き度い事は、筆者の此種の研究に關し、曾て或る外人から夫れはスポーツ精神に悖らないかとの御忠告を受けたが或は讀者諸君の間にも之と同様の御懸念をお持ちの方がいらつやるかも知れないと思はれるので此處に筆者 之上對する解釋を聊か申述べて置き度思ふ。抑々競馬等で

そのタイムを向上せしめる方法として Doping (刺激劑)を從來から用ひて居るが、之は一時的に馬を異常興奮の状態に導き夫れに依つて普通の體力以上に勢力を發揮さして成績を上げる法であるが、之は必ずその後甚しい過勞を來すものであつて此の方法を人間に用ふる事は保健上弊害あるのみならず、明らかにスポーツ精神に悖る行爲であるけれども、筆者の論じてゐる方法は夫れとは全く異り、足らざるを補ふと云ふに過ぎず、即ち渴を癒するに水を以てするの類と何等異なる事なく、従つて決して不正行爲とは解されないのである。

偕て本論に就て申上げる事としよう。

最近英國醫學界に於て運動を行へば平生以上の酸

素を必要とすると云ふ事が研究されてゐる。其處で筆者は之と返對の見地から平生以上の酸素を供給して置けば運動が樂に行へやしないかと想像し、今度の實驗によつてその推理の確實性を檢しのである。幸ひにして此の實驗が成功したならば從來豫選、準決勝、決勝と連勝して泳がされた選手達は、其の速やかなる疲労回復に依つて毎回共發瀾たる元氣でレースに臨み得る故に、眞に給構な事だと窃かに期待してゐた次第である。

偕て實驗に當つては第三高等學校及び同志社大學の各水泳部員の御援助を煩はしたのであるが此處に改めて學界に貢獻して下さつた御厚情に對して深く感謝の意を表しておき度い。

實驗方法としては大略を申上げれば或る一定距離を疾走するのに酸素を吸はない普通の状態と所要タイム及び血壓に就て比較して見たのであるが總次その實驗成績を記す事とする。酸素吸入の方法はベッドに横臥してゐる選手に瓦斯を水中を通してその鼻口の前に放出せしめて吸入を行つた。

最初の實驗は計三回疾走して貰ひ、そして各疾走の間には約四十分の休憩を採つた。

第一回 普通の状態で疾走。

第二回 普通の状態で走り、その直合に五分間酸素吸入。

第三回 疾走前に三分間酸素吸入。

以上の方法で三回疾走した時の各測走仕の平均數を記して見よう。

第一 表

	疾走前	第一疾走 (普通時)	第二疾走 (疾走後 吸入)	第三疾走 (疾走前 吹入)
所要タイム(秒)		18.2	18.2	17.9
脈數(毎分時)	85	145	136	137
血 最高(耗)	121	161	145	144
壓 最低(耗)	66	17	31	43

斯様に所要タイムに就ては第二疾走のタイムは第一疾走の夫れよりも幾分遅くなつてゐるけれども第二疾走直後に酸素を吸ひ又疾走の直前にも酸素を吸つた第三疾走の結果はタイムの上に明らかにその好き影響を與へてゐる。一方その身體的影響を檢する意味で測走して脈數、血壓に就て疾走前の數位と各疾走後の夫れとを比較して見るのに、直後に於て酸素を用ひた第二疾走時と直前に夫れを用ひた第三疾走時は何れも酸素を用ひなかつた第一疾走時より變

化數位の僅少である事が認められる。之は運動の結果身體に過勞を來してゐないのみならず反對に等量の運動に對して疲労程度の遙かに輕微である事を如實に示してゐる證據と云ひ得よう。

次に運動前に於てのみ酸素を用ひても効果があるか否かを檢する意味で下記の方法で二回疾走を試みた。各回の間には矢張り約四十分の休憩を採つておいた。

第一回 普通の状態で疾走。

第二回 疾走前に三分間酸素吸入、この實驗の平均位を表に示すと下記の記の通りである。

第二 表

		第一疾走 (普通時)	第二疾走 (疾走前吸入)
所要タイム(秒)		18.1	17.6
脈 數(毎分時)	前	71	76
	後	120	125
血 最高(耗)	前	121	110
	後	140	131
壓 最低(耗)	前	63	52
	後	50	62

斯の如く第二表に於ても第一表に於けると略同様の成績を示し、運動前に於てのみ酸素を用ひても明らかに効果のある事が肯定出来る次第である。

次に筆者は此種のレコード向上は或は酸素吸入以外に他の何等の因子が存在してゐる故に齎らさわるのではなからうか、例へばウォーミングアップ等の影響に因するのではなからうかとの疑ひを挾んだ

其處で筆者はウォーミングアップの効果を最も良く發揮出来る方法として五分定の時間的間隔を置いて計四回の疾走を試みて貰ひ、他方毎五分間の休憩時には酸素吸入を行つて計四回疾走して貰つた結果とを之を比較研究して見た。その平均數位は下記の表が示す通りである。

第三 表

		普通時 (五分毎疾走)				
		疾走前	第一走	第二走	第三走	第四走
所要タイム(秒)			19.0	18.1	17.9	17.9
脈 數(毎分時)		65	101	117	117	135
血 最高(耗)		118	134	139	139	139
壓 最低(耗)		72	75	34	35	33

		吸 入 時 (毎五分宛)				
		疾走前	第一走	第二走	第三走	第四走
所要タイム(秒)			18.1	17.9	17.6	17.5
脈 數 (毎分時)	75	113	111	110	123	
血 最 高 (耗)	110	135	132	126	135	
歴 最 低 (耗)	62	55	60	60	60	

第三表に従へば成る程ウオミングアップのみによるタイムの向上も第三走までは認められるけれども酸素吸入を行つた場合の成績はウオミングアップの夫れ以上に、第四走に至るまでタイムの上にも好成績を示してゐるのみならず身體疲勞の状態も亦前者より僅少である事が視はれる。

斯様に運動時に於て酸素吸入を行ふ事は常に疲勞を輕微せしめ、且つ其の回復を速やかならしむるのみならず、延ひてタイムの上にも甚だ好結果を齎らし得るものであ。

然らば何故に酸素吸入が夫れ程の効果を及ぼすのであらうか。其の原因を識るには疲勞の本態を究める事が最も近道であらうと思はれる。

(26頁より)

1:22.2	福原喜一(安房中)
200米 3:04.5	奥田寛(安房中)
3:12.0	玉井音次郎(大日本水術)
3:20.0	川下彦三郎(修武館)
400米 6:23.0	鵜飼彌三郎(横濱體研)
6:49.0	玉井音次郎(大日本水術)
7:06.5	内藤貞二(磯子水泳)
800米 14:9.2	玉井音次郎(大日本水術)
14:48.0	内藤貞二(磯子水泳)
14:50.4	川下彦三郎(修武館)
400リレー	
5:26.3	安房中學(奥田、福原、池谷、辰野)
5:40.5	横濱體育研究會 (青木忠治、山田文吉、萩原、鵜飼)
少年100米	
1:24.5	日此野徳次郎(龜崎水泳)
1:26.6	山下繁吉(横濱體研)
1:27.2	村田文雄(通俗教育會)
少年200米	
3:20.2	池谷謹一(安房)
3:21.0	加藤正胤(山敷水泳)
3:23.3	山崎林次郎(荒谷水泳)

つゞく

抑々疲勞に關しては諸大家の研究に従へば運動に依り筋肉中に存する活力素のグリコーゲンが消耗されて乳酸を生じ、之が吾人に疲勞感を覚えしむる所所以であつて、これは尿中に排出される他呼吸により攝取した酸素に依つて大部分水と炭酸瓦斯とに分解されたり、又酸素の供給を享せて活力素たるグリコーゲンに再成せらるゝ事によつて疲勞が回復するものであると論じられてゐる。

此故に運動後多量の酸素を供給する事は即ちその疲勞回復を速かならしめる事となり、又運動前に之を試みる事は血液中に含有された餘分の酸素が運動に際して速かに疲勞回復の作用を營む故に効果ありと斷言し得ると信じる。

終りに臨み、筆者の希ふらくは前回御報告中上げたビタミンB製劑に於けると同様に、此の實驗に對する忌憚なき御批評を承らして載き度い次第である。

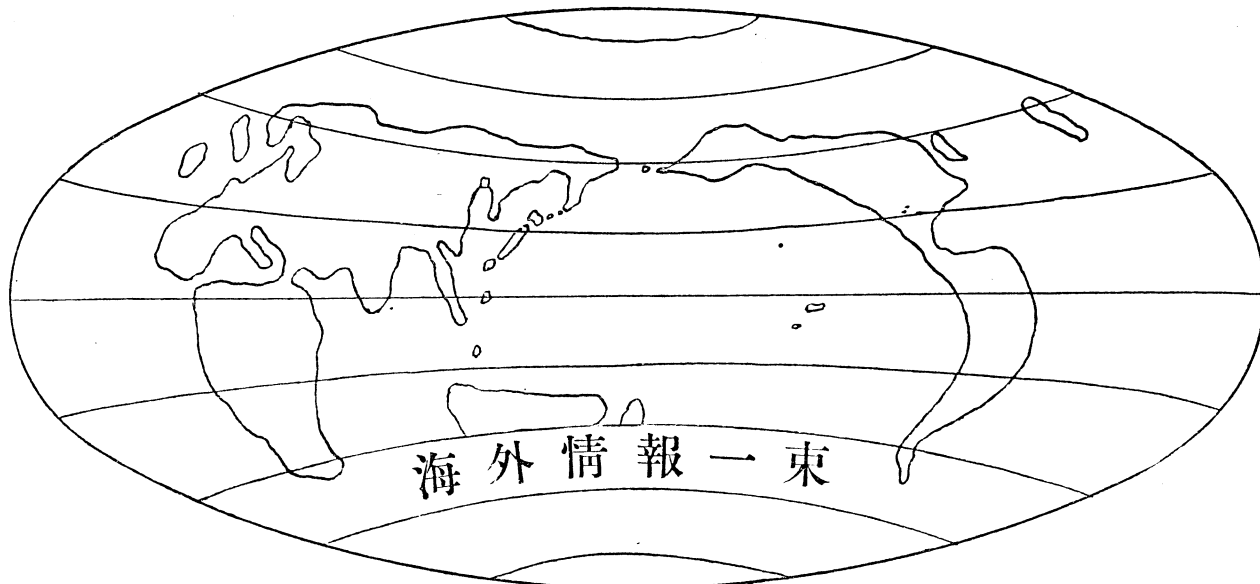
次回に於ては更らに此種の目的に對する方法として、「?」の效果に就て讀者諸君の御精讀を煩はし度豫め御願ひして此のを擱く。

臺比對抗競技

全フィリッピン對全臺灣の對抗水上競技大會は十二月十二日から三日間マニラのリサール記念プールに於て舉行された。

全臺灣軍は水上聯盟評議員加福均三氏監督、代議員藤本秀松氏コーチの本に奮闘し、全比軍36對全臺灣27で惜敗した。この點數の接近は近來著しく進歩した臺灣の水上競技の面目を窺ふに足る。尙詳細は報告ある筈であるが、この競技會に於て注目すべき記録は次の通りである。

50米自	アブズラマン	26.6
100米背	松村元義	1:14.0
200米平	ヂキラム	2:48.5



海外情報一束

飯田 光 太 郎

歐洲選手権大會

昨年お流れとなつた歐洲選手権大會は本年八月二十二日より三十日に至つてフランス・パリ市のトゥレル水泳場(50米水路1924年にオリムピック大會を行つた處)で開かれました。此大會の報告が筆者の手元に三通ありますが少しづつ差異がありますのでドイツの水泳聯盟の機關紙「デル・シユキムマー」のを基礎として書くことゝしました。シユキムマーが週刊である爲めに或る部分は豫選迄詳しく出て居るのに他は決勝のタイム迄書いてない様な編輯振りで統一がとれて居ませんが成るべく澤山なデータを取ることゝしました。飛込は別に島崎君が書くことになつて居るので略します。

男子100米自由型

豫選(1)	1. ツエケリー	ハンガリ	61.0
	2. ヌタイナー	チェツコ	62.8
	3. ペテルソン	スエーデン	63.4
(2)	1. バラニー	ハンガリ	59.8
	2. ハース	ドイツ	63.6
	3. ボチェンスキ	ポーランド	64.0
	5. バンケリ	イタリア	65.2
	6. レジユル	フランス	67.8
(3)	1. カペリニ	イタリア	63.8
	2. ルンダール	スエーデン	64.0
	3. シューバート	ドイツ	64.2
決勝	1. バラニー	ハンガリ	59.8
	2. ツエケリー	ハンガリ	60.8
	3. スタイナー	チェツコ	63.0
	4. ペテルソン	スエーデン	63.4
	5. ハース	ドイツ	} 64.4
	ルンダール	スエーデン	
	7. カペリニ	イタリア	65.0

男子400米自由型

豫選(1)	1. ゲトロイエル	チェツコ	不明
	2. ダイタース	ドイツ	
(2)	1. タリス	フランス	5:10.0
	2. バルドー (16年)	イタリア	
	3. ギリニ	ベルギー	
	4. シュラーダー	ドイツ	5:39.6
(3)	1. コストリ	イタリア	
	2. バラニー	ハンガリ	
決勝	1. バラニー	ハンガリ	
			1:07.0 2:26.0 3:46.3 5:04.0
	2. タリス	フランス	
			1:06.4 2:23.8 3:43.2 5:04.2
	3. コストリ	イタリア	
			1:08.0 2:28.0 — 5:16.8
	4. ゲトロイエル	チェツコ	
			— 2:31.0 — 5:21.8
	5. ギリニ	ベルギー	
			— — — 5:23.4
	6. ダイタース	ドイツ	
			1:09.0 2:31.0 — 5:25.0
	7. バルドー	イタリア	
			1:08.6 2:50.0 — 5:26.4

男子1500米自由型

豫選(1)	1. タリス	フランス	21:11.4
	2. コストリ	イタリア	21:21.6
	3. チュリカイネン	フィンランド	22:40.6
	4. ボーデ	ドイツ	22:46.4
(2)	1. ベレンチン	イタリア	21:13.8
	2. ロク	フランス	22:38.0
	3. ハラシー	ハンガリ	23:12.0

	4. ナイシエル	ドイツ	23:26.0
決勝	1. ハラシー	ハンガリ	20:49.0
	2. ペレンチン	イタリア	20:50.0
	3. コストリ	イタリア	21:09.4
	4. タリス	フランス	

	5. ルンダール	スウェーデン	1:16.4
	6. レーニヒ	ドイツ	1:17.2

600 米迄はタリスがリードして居たが800 米でペレンチンが11:01.0でリード、タリス、ハラシー、コストリの三人が第二位となつた。900 米でペレンチン、コストリ、ハラシー、タリスの順となり1000米でハラシー第二位となり接戦を續けてハラシーが優勝しました。ハラシーは米國よりの報道によると片足は膝からが切斷してあるさうです。勝つたハラシーが元氣にあつたのに敗れたペレンチンは水から上るや直にぶつ倒れてしまつたさうです。タリス及びコストリが敗れたことが不思議とされて居ます。

男子800米(4×200米)リレー

1. ハンガリー			9:34.4
ワンニエ	2:27.5	ツアバドス	
ツェケリー		バラニエ	
2. ドイツ			9:48.6
シュエバート	2:26.0	ダイタース	2:27.4
バルク	2:27.6	ハインリヒ	2:26.6
3. イタリア			9:49.0
コネリ		バンケリ	
バルド		ユストリ	
4. フランス			9:59.4
ヴアードプランク		ヴアルル	
タリス		ロク	

男子200米平泳

豫選(1)	1. キツテンバーク	ドイツ	不明
	2. レインコールト	フィンランド	1/3m後れる
	3. ファツキネツチ	イタリア	2:58.4 イタリ-記録
	4. ハルリング	スウェーデン	
	5. シューベル	フランス	
(2)	1. ジータス	ドイツ	不明
	2. キャルトンネ	フランス	
	3. ヘイネル	スウェーデン	
	4. ヒルト	ハンガリ	3分以内
	5. ウキス	スキス	

決勝	1. レインコールト	フィンランド	1:21.0	2:52.2
	2. キツテンバーク	ドイツ	1:25.0	2:52.4
	3. ジータス	ドイツ		2:55.0
	4. キャルトンネ	フランス	1:25.0	2:56.4
	5. ヘイネル	スウェーデン	1:25.0	2:56.6
	6. ファツキネツチ	イタリア		3:00.0

男子100米背泳

豫選(1)	1. レーニヒ	ドイツ	1:16.0
	2. ルンダール	スウェーデン	1:16.0
	3. ナヂー	ハンガリ	1:16.8
	4. ファイウ	フランス	1:17.4
	5. オメロ	イタリア	1:20.0
	6. ロエーデガー	オーストリア	
	7. ジーグリスト	スキス	
(2)	1. ドイツチ	ドイツ	1:14.2
	2. ビツカイ	ハンガリ	1:16.0
	3. ユルラー	オーストリア	1:17.2
	4. ノオール	フランス	1:18.0
	5. ハルリツェク	ポーランド	1:19.4
決勝	1. ドイツチ	ドイツ	1:14.8
	2. ビツカイ	ハンガリ	1:15.8
	3. ナヂー	ハンガリ	1:16.2
	4. コルラー	オーストリア	1:16.2

水 球

相手 國名	ハン ガリ	ドイ ツ	オース トリ	ベル ギー	チエ ツコ	フラ ンス	スウェー デン	得點
ハンガリ	—	2:2	13:0	9:2	4:1	12:1	12:1	11
ドイツ	2:2	—	5:1	3:3	3:1	4:1	4:2	10
オーストリ	0:13	1:5	—	0:0	3:2	1:5	3:2	6
ベルギー	2:9	3:3	0:0	—	3:4	4:2	4:2	5
チエツコ	1:4	1:3	2:3	4:3	—	2:1	1:2	4
フランス	1:12	1:4	5:1	2:4	1:2	—	4:4	3
スウェーデン	1:12	2:4	2:3	2:4	2:1	4:4	—	3

採點は勝 2點、引分各 1點となつて居ます。

ハンガリーとドイツとの分戦に就いて多數のフランスのスポーツ批評家はドイツが道德的勝利を得たと云つて居ます。

女子100米自由型

豫選(1)	1. ゴダールフ	ランス	1:10.4
	2. クーパー	イングランド	1:11.8
	3. ブラウン	オランダ	1:12.4
	4. シボス	ハンガリ	1:17.0
	5. ランプレット	南スラブ	1:18.8
(2)	1. レンカイ	ハンガリー	1:11.6
	2. デンウーデン	オランダ	1:12.2
	3. マク・ドクル	イングランド	1:16.8
	4. オロン	フランス	1:17.6
決勝	1. ゴダール	フランス	1:10.0
	2. デン・ウーデン	オランダ	1:11.8
	3. クーパー	イングランド	1:12.0
	4. ブラウン	オランダ	1:14.4
	5. レンカイ	ハンガリー	1:14.8
	6. マク・ドワル	イングランド	1:19.2

女子400米自由型

決勝	1. ブラウン	オランダ	5:42.0
	2. クーパー	イングランド	5:54.0

3. ゴダール	フランス	5:55.4
4. バウマイステル	オランダ	6:21.2
5. デイヴイース	イングランド	6:22.0
6. デルボル	フランス	6:46.4

4. フランス		5:13.0
ビーユトル	1:19.0	オロント 1:21.6
ゴダール	1:11.0	ユムプロ 1:21.4

先號の海外情報にオランダのブラウンの事イングランドの不参加の事などを傳へて置きましたがやはり兩方共出場することゝなりました。尤もイングランドの方は女子だけの出場らしい様です。

女子200米平泳

豫選(1)	1. ヒントン	イングランド	3:19.6
	2. ビーネンフェルト	オーストリア	3:24.0
	3. ファイベルス	オランダ	3:28.0
	4. ギユト	フランス	3:47.2
(2)	1. カステイン	オランダ	3:15.4
	2. ウォルステンホルム	イングランド	3:17.4
	3. ズハルト	ドイツ	3:21.0
	4. マンソン	フランス	3:39.2
決勝	1. ウォルステンホルム	イングランド	3:16.2
	2. カスライン	オランダ	3:18.2
	3. ヒントン	イングランド	3:20.4
	4. ズハルト	ドイツ	3:23.8
	5. ビーネンフェルト	オーストリア	3:24.0
	6. ファイベルス	オランダ	3:27.2

女子100米背泳

豫選(1)	1. ブラウン	オランダ	1:24.4
	2. クーパー	イングランド	1:26.6
	3. ブロンドー	フランス	1:28.6
(2)	1. ハーチング	イングランド	1:24.4
	2. ユムプロ	フランス	1:27.6
	3. コルトフ	オランダ	
決勝	1. ブラウン	オランダ	1:22.8
	2. クーパー	イングランド	1:23.6
	3. ハーチング	イングランド	1:24.8
	4. コルトフ	オランダ	1:27.8
	5. ユムプロ	フランス	1:28.6
	6. ブロンドー	フランス	1:30.0

女子400米(4×100)リレー

1. オランダ		4:57.4
バウマイステル	1:15.5	ヴイールダーク 1:15.5
デン・ウーデン	1:12.0	ブラウン 1:12.6
此個人時間は非公式のもので合計は公式タイムと合ひませが参考の爲めに掲げて置きます。以下同斷		
2. イングランド		3:00.8
デイヴイース	1:14.8	ハーチング 1:18.2
マクドワル	1:16.0	クーパー 1:10.4
3. ハンガリー		5:02.2
マラス	1:17.4	トート 1:15.6
シボス	1:18.0	レンカイ 1:11.8

全體の點數ではハンガリーが114點で第一位で優勝しました。第二位ドイツ92.5點、第三位フランスでありました。

此競技會は季節外れに涼かつた爲めに記録が不良でありましたから單に此記録からして歐洲與し易し考へるのは少し輕卒であります、男子の方はバラニーを除いては大した事はない、少くとも恐れる程の猛者が居りません。皆愛好すべき相手です。

オリムピック豫想

ルイス・ボニハードと云ふ歐洲の運動記者の書いたオリムピック豫想を紹介します。途中で歐洲選手權の結果が分つたので前後の調子が少し變つて來て居ます。

800米リレー 1. 米國 2. ハンガリ 3. 日本 4. イタリア
5. ドイツ

100米自由型

ハンガリーのバラニーが58.4が第一で、其次がフランスのタクスの59.8である。此外にカリリ兄弟が60.0を出して居るユージャックは59.0を出し得ると思ふ。自分は日本に二人60.0以内に入る者を知つて居る。であるから此競技はロサンジェレスに於て最もユクサイチングなものゝ一つとならう。

1. バラニー 2. コージャック 3. マニユエラ・カリリ
4. マカモ日本 5. タリス、フランス 6. マイオラ・カリリ
(註。どうも日本のマカモなんて泳手を知つて豫想を書いて居るんだから恐れ入ります。然し他山の石と思つて書いて置きます)

100米背泳

ドイツのキユツパースが1:12.0を出す歐洲第一人者である(註。キユツパースは既に競技から離れて居るらしいから實際來年の問題にはなりますまい)バラニーはウイーで1:12.6で泳いで歐洲第二位である。

1. コージャック 2. マイオラ・カリリ 3. キユツパース
4. バラニー

200米平泳

歐洲の第一はフィンランドのレインゴルト、第二はドイツのシュワルツである。之等と世界記録保持者レオナード・スパンズ、ラルター・スペンス、日本の鶴田などとの競技は最高の興味で熱狂的戦ひが最後の一時迄續けられ其結果次の如くにならう。

1. レオナード・スパンズ 2. レインゴルト 3. 鶴田
4. ジュクーツ(獨) 5. ラルター・スペンス 6. バン・パ
ライス(ベルギー)。

400米自由型

フランスのタリスは此種目に無敵である。彼の外に優秀なるイタリアのコストリが居る。日本も亦有名なる代表者十五年の少年マカモを有して居る。(註。おやおや100米の四

着の候補者マカモ君は牧野正藏君の間違ひであつた)。米國はクラブ、ラヂー、クラブ、マイオラ・カリリ等が有力なる候補者である。

1. タリス 2. マカモ(日本) 3. クラブ 4. コストリ
5. ラヂー 6. マイオラ・カリリ

1500米自由型

此距離の豫想は一番困難である。タリスが一本足のハラジに敗れ尙其上にクラレンス・クラブが日本の泳者達に敗れたのは眞く不可解である。然し決勝の結果を次の様に考へる。

1. タリス 2. クラブ 3. 牧野 4. クラップ 5. ツコムラ
- 日本(武村の誤なるべし) 6. ラヂー

飛板飛込

米國のハロルド・スミスに對して歐洲選手權の一二位のドイツのクリープシュレーガー及び佛のルパージュの二人が強敵であらう。尙マイクル、ガリツェンが決勝で相當戦ふことを疑はない。下記の豫想は大した差異のないものと信ずる。

1. スミス(米國) 2. リープシュレーガー(ドイツ) 3. ガリツェン(米國)
4. ルパージュ(佛) 5. ノイマン(ドイツ) 6. スタウゼンガー(オーストリア)

高飛込

歐洲選手權保持者のオースリーのスタウゼンガーが秀て居る。ドイツの飛込スターを破つた優秀さは歐洲飛込専門家の嘆賞して居る處である。歐洲で豫想して居る順序は下の通りである。

1. スタウゼンガー(オースリア) 2. ノイマン(ドイツ)
3. リープシュレーガー(ドイツ) 4. シマイカ(エジプト)
5. (不明) 6. オランダ(スウェーデン)

水球

オリムピック優勝者は疑ひもなくハンガリは1928年以來敗れたことのないハンガリーであらう。之に對する最強の敵手は疑ひもなくドイツである。ドイツは歐洲選手權に於てはハンガリーと2:2で引分となつた。他方に於てフランス、オーストリア、ベルギー、チエツコ等の間に激戦があるであらう。米國水球チームは十分なる日數の間専門家のコーチを受けスピードと力を十分利用出来る様になれば相當有利に戦ひるのである。結果は下の通りであらう。

1. ハンガリ 2. ドイツ 3. — 6. フランス、ベルギー、オーストリア、米國、チエツコ

以上の豫想で全體の優勝者を考へるとロサンジェレスに於て米國が依然第一位を占めるであらう。

ギルフラ

今夏日米戦に來朝したゼトロイト A. C. のジェイムス・ギルフラは今秋フレッシュマンとしてミシガン大學に入ることになりました。米國では彼の如く輝ける前途を以て大學へ入る者は未だ曾てないと云つて居ます。近來の日本と比べると些か傾きかけた大夏の感があります。ミシガン大學の水泳コーチ、マツト・マン氏の

指導でギルフラは至高の地位に達するであらうと豫測されて居ます。

女子1000米の記録

七月にヘレン・マヂソンがロング・ビーチの55碼競泳地に於て1000米に14:44.8の記録を出したが A. A. U. のガイドにノレリアスの13:39.0の記録があつたので問題とならなかつたが最近ノレリアスの記録は全然誤謬であると分つたので統轄團體ではマヂソンの記録に對する證人を集めて新記録として登録する様にした。女子の1000米は現在ではオーストラリアのデイヴィー嬢の15:46.6が世界記録となつて居り。本年フランスのゴダール嬢の15:18.6の新記録が報せられ居る此14:44.8が世に出れば正に最優記録である。

英國の男子500碼選手權は一哩の英國記録保持者であるテイラーが優勝するものと豫想されて居ましたが豫想外の新進のレイヴアースの6:11.4に一碼抜かれて選手權を取られてしまいました。

巴里の歐洲選手權の結果ドイツは甚だ望薄くなつてしまつたので室内シーズンの結果改善を見せない時はオリムピックへの競泳及び飛込の競技者は極く僅より派遣されないさうです。水球チームは必ず渡米して選手權を防守するさうです。

ハンガリの水球界

50米水路に於て次の好成績が出ました。		
100米自由型	アンドラス・ツエケリー	0:59.9
400米自由型	オリガア・ハラシー	5:14.6
100米背泳	カロリー・ナジー	1:14.0

米國のクラレンス・クラブ君が來年のオリムピックの後でプロフェショナルとなると云ふ風評に對して同君は斷定的に否定したさうであります。

米國西部選手權

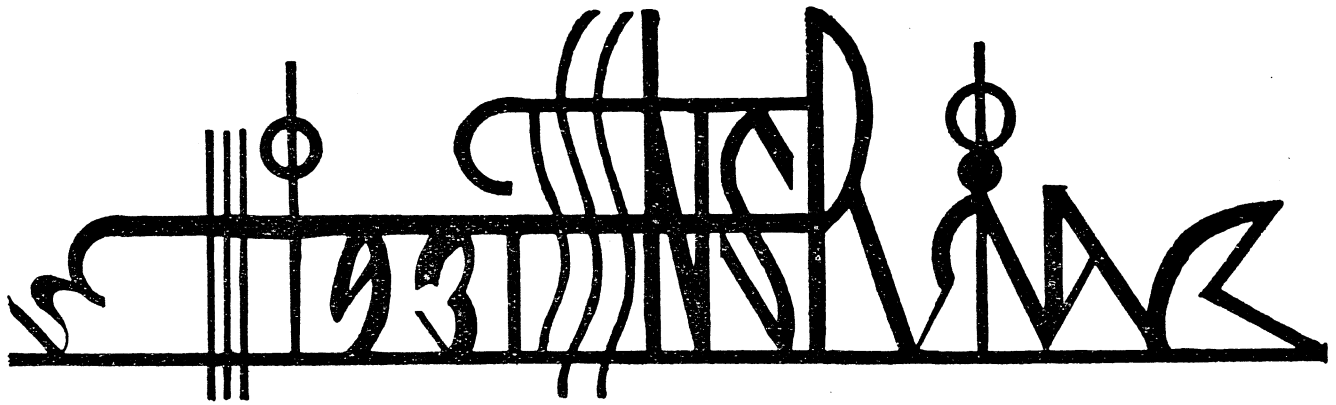
米國西部選手權はサンフランシスコの50碼競泳地で開かれましたがマヂソン嬢が計時の爲めに泳いで300米及び500米の世界記録を破つた以外選手權種目は全然失望でしたさうです。

女子300米自由型	マヂソン	3:58.0	新記録	マヂソン	3:59.5	舊記録
女子500米自由型	マヂソン	6:43.2		ブラウ	7:18.0	
女子1500米自由型	マヂソン	21:13.0				

此記録は優秀なものでありますが水路の長さが50米より縮いので世界記録とはなりません。

選手權種目の方は下の通りです。

100米自由型	マニユエラ・カリリ	1:00.7
400米自由型	クラブ	5:06.6
200米背泳	マイオラ・カリリ	2:42.2
200米平泳	ポールゼン	3:04.1
300米個人メドレー	マニユエラ・カリリ	4:26.3
飛板飛込	クリツフオード・サンフオード	
800米リレー	ホリウツド A. C.	9:43.7
女子100米自由型	マヂソン	1:10.1
女子200米自由型	マヂソン	2:44.2
女子300米個人メドレー	ギルマン	5:15.5
飛板飛込	リリアンファガスヴェイア夫人	



第六回京都府下中等學校水上競技大會

期日 昭和6年7月22日午前9時より	100米背泳	200米平泳
場所 八瀬プール(25米)	1. 久保氏總、京三中 1:22.0	1. 前田信三、東山中 3:12.6
主催 京都學生水上競技聯盟	200米自由型	800米リレー
200米リレー	1. 上河原一郎、京二商 2:46.8	1. 京二中(竹内、三坂、谷口、久原) 11:37.4
1. 京二商(森田、上河原、茂上、神田) 2:07.0	800米自由型	得點
400米自由型	1. 久原輝夫、京二中 11:54.2	京二商 44、京二中 33、京三中 31、同志中 21、京一中 20、以下略
1. 久原輝夫、京二中 5:39.6	100米自由型	
	1. 比良 明、兩洋中 1:07.2	

北海道中等學校水上競技大會

期日 昭和6年7月25日26日	3. 佐々木信夫、札一中 12:48.1	1. 甲谷啓一、北中 1:12.0
天候 25日 晴 26日 雨	200米自由型	2. 奈良盛勝、函商 1:12.6
気温 25日 23° 26日 20°	1. 小川、函商 2:39.0	3. 藤井晴雄、ク 1:13.0
水温 25日 16°5 26日 17°	2. 奈良盛勝、函商 2:49.0	200米平泳
場所 小樽市立中學プール(25米)	3. 田中武、函師 2:49.0	1. 筒井八男治、函中 3:13.2
主催 北海道中等學校競技聯盟	100米背泳	2. 河井龍衛門、函商 3:16.3
200米リレー	1. 赤塚英雄、函師 1:19.5	3. 安孫子三郎、札一中 3:17.1
1. 函商(藤井、佐野、奈良、小川) 2:07.0	大會新記録	800米リレー
2. 函師 田中、濱谷、高田、達田) 2:08.8	2. 青山武雄、函商 1:21.7	1. 函商(春山、佐野、奈良、小川) 11:12.5
3. 札一中(笹松、稻野、佐々木、笹) 2:12.0	3. 茨木松節、樽中 1:31.6	2. 函師(濱谷、田中、高田、達田) 11:38.7
800米自由型	400米自由型	得點
1. 達田市太郎、函師 12:41.6	1. 小川光一郎、函商 5:51.8	函商 66、函師 46、札一中 31、函中 23、北中 12、以下略
2. 佐野豊介、函商 12:46.2	2. 佐々木信夫、札一中 5:58.5	
	3. 達田市太郎、函師 6:02.6	
	100米自由型	

第七回全國高專水上競技大會

期日 昭和6年7月26日午前10時より	1. 日大豫科(安岡、安永、豊田) 3:41.0	100米自由型
場所 京都帝大プール(25米)	400米自由型	1. 豊田久吉、日大豫 1:01.0
主催 京都帝大學女會水泳部	1. 安藤秀信、關學 5:05.8	200米平泳
300米メドレーリレー		1. 安永 弘、日大豫 2:58.8

200米リレー	800米自由型	1. 關西學院 (伊藤、野村、安藤、松本)
1. 關西學院 野村、伊藤、松本、吉瀬	1. 安藤秀信、關學 10:56.6	得點 9:42.0
1:51.8	100米背泳	關西學院 73、日大豫 57、
200米自由型	1. 豐田久吉、日大豫 1:15.0	法大專問部 39、以下略
1. 伊藤英逸、關學 2:24.2	800米リレー	

全國高等學校水上競技大會決勝

期日 昭和6年8月1日2日 (午後0時半より)	400米自由型	100米背泳
場所 京都帝大プール	1. 近藤勇三、八高 5:9.8	1. 木下治雄、大阪 1:17.6
主催 帝國大學水上競技聯盟	100米自由型	800米リレー
300米メドレーリレー	1. 藤原豊、佐賀 1:02.4 <small>本會新記録</small>	1. 八高(守井、近藤、大宰、小出)
1. 佐賀(藤、大村、藤原)	200米平泳	10:13.0
3:47.8 <small>本會新記録</small>	1. 田川、五高 3:05.8	得點
200米リレー	200米自由型	八高 66、大阪 51、佐賀 51、
1. 八高(牧野、近藤、守井、小出)	1. 藤原豊、佐賀 2:20.8 <small>本會新記録</small>	五高 47、一高 31
1:56.8	800米自由型	
	1. 近藤勇三、八高 11:31.0	

第六回京滋中等學校對抗水上競技大會

場所 滋賀縣立栗太農學校 プール(50米)	笹尾虎男)	2:00.2	200米自由型
期日 昭和6年7月30日午後一時開始	800米自由型	1. 比良明、京都 2:30.4	200米平泳
主催 京都學生水上競技聯盟	1. 西崎次郎、滋賀 11:31.2	1. 前田倍三 3:09.2	800米リレー
滋賀縣中等學校水上競技聯盟	100米自由型	1. 比良明、京都 1:05.2	1. 滋賀(尾尾利一、西村三郎、西崎次郎、杉江利兵衛) 10:25.2
京都體育協會	400米自由型	1. 西崎次郎、滋賀 5:30.2	得點 滋賀 76、京都 65
滋賀縣體育協會	100米背泳	1. 角田重雄、滋賀 1:20.6	
200米リレー	1. 京都(比良明、久保氏總、丹田純弘)		

三重縣水上競技選手權大會

期日 昭和6年8月2日午前8時ヨリ	1. 池田三一、三重高農 12:12.0	女子100米平泳
場所 津市賢崎新堀特設競泳場 (鹽水50米)	100米背泳	1. 高柳國子、小池水練場 1:57.6
主催 津市體育協會 伊勢新聞社	1. 加藤久、陳川クラブ 1:28.6	小學50米自由型
三重水泳聯盟	200米平泳	1. 園部未男、知敬小 35.0
水溫 8AM27°、正午30°	1. 小出義彦、桑名中 3:03.8	小學50米背泳
50米自由型	200米リレー	1. 村田定雄、立誠小 49.2
1. 菊地和雄、三重高農 29.1	1. 三重高農チーム 2:04.4	小學100米平泳
100米自由型	800米リレー	1. 園部未男、知敬小 1:37.0
1. 海老名慶一、三重高農 1:03.6	1. 津中學チーム 12:17.0	小學200米リレー
400米自由型	女子50米自由型	1. 四日市小學聯合チーム 2:41.6
1. 武市正春、三重高農 5:52.4	1. 大井昌子、津高女 59.6	
800米自由型	女子50米背泳	
	1. 國持節子、〃 1:08.8	

期日 昭和6年8月5日
場所 白杵中學校プール(50米)
天候 快晴、水温 28°
主催 白杵體育協會

中學100米自由型
1. 衛藤幸雄、白中 1:10.0
2. 片岡 博、佐中 1:10.8
3. 神田治實、白中 1:12.4

中學200米自由型
1. 衛藤幸雄、白中 2:44.0
2. 工藤信雄、白商 2:49.8
3. 鈴木伍郎、白中 2:52.2

中學400米自由型
1. 堀 大助、白中 5:41.0
2. 坂本長次郎、白中 6:07.4
3. 片山邦雄、大中 6:36.6

中學1500米自由型
1. 堀 大助、白中 22:31.5
2. 坂本長次郎、白中 24:40.8
3. 石川盛平、佐中 24:58.0

中學200米平泳
1. 渡邊善一、白中 3:18.2
2. 小川 忠、大商 3:21.0
3. 清家初一、佐中 3:24.8

中學100米背泳
1. 神田治實、白中 1:26.8
2. 富成雄二、大中 1:26.8
3. 平田軍已、佐中 1:31.0

中學200米リレー
1. 白中(細江、神田、衛藤、大内) 2:05.0
2. 大中(安部、池田、猪原、富成) 2:09.9
3. 白商(神崎、高橋、齋藤、徳永) 2:11.4

中學800米リレー
1. 白中(衛藤、大内、坂本、堀) 10:49.0
2. 白商(龜井、鹽崎、佐藤、工藤) 12:21.0

中學300米メドレーリレー
1. 白中(神田、渡邊、衛藤) 4:06.8
2. 白商(徳永、竹尾、神崎) 4:08.7

得點 白中 70、白商 23、大中 15、
佐中 13、大商 5
—— ◁▷ ——

青年100米自由型
1. 金丸恒市、日代 1:14.9
2. 磯部吉元、日代 1:15.0
3. 岡田正一、佐伯 1:17.0

青年200米自由型
1. 中川三吉、日代 2:44.4
2. 岡田正一、佐伯 2:59.4
3. 中谷 勉、日代 3:05.8

青年400米自由型
1. 中川三吉、日代 6:04.8
2. 磯部吉元、日代 6:17.5
3. 後藤 學、四浦 6:46.0

青年200米平泳
1. 竹本三郎、別府 3:14.1
2. 中村重利、日代 3:20.0
3. 廣瀬、日代 3:36.0

青年100米平泳
1. 下村正司、日代 1:32.2
2. 後藤 學、田浦 1:40.2
2. 板井義夫、日代 1:57.0

青年200米リレー
1. 日代(金丸、磯部、朝生、川崎) 2:13.0
2. 佐加關(山本、磯野、中島、綿加) 2:23.0

青年800米リレー
1. 日代(中川、中谷、清水、濱田) 11:30.2

青年300米メドレーリレー
1. 日代(中村、下村、金丸) 4:21.8
—— ◁▷ ——

小學男子50米自由型
1. 上田十郎、日代 32.8
2. 福本五郎、日代 34.8
3. 田中 茂、白男 34.9

小學男子100米自由型
1. 大川 正、日代 1:20.2
2. 安藤四郎、白男 1:21.4
3. 松本大八、日代 1:21.8

小學男子400米自由型
1. 松野寶生、日代 6:18.8
2. 佐藤彌吉、日代 6:26.0
3. 田中 茂、白男 6:50.0

小學男子100米平泳
1. 石山義保、日代 1:32.6
2. 廣瀬友治、日代 1:39.6

3. 日高忠義、仙水 1:40.6

小學男子100米背泳
1. 青木光義、日代 1:36.2
2. 濱野候彦、日代 1:41.4
3. 關 善人、仙水 1:49.8

小學男子200米リレー
1. 日代(上田、青木、松本、坂本) 2:16.2
2. 白男(田中、齋藤、菅原、安東) 2:27.0

小學男子400米リレー
1. 日代(中村、佐藤、大川、久保田) 5:35.2
2. 白男(田中、齋藤、菅原、安藤) 5:42.0

小學男子150米メドレーリレー
1. 日代(青木、石山、上田) 1:58.4
2. 仙水(日高、柳川、竹尾) 2:10.6

小學男子50米旗持競泳
1. 松野寶生、日代 46.6
2. 桑野春夫、日代 52.8
3. 菅原一專、白男 56.0

得點 日代 77、白男 29、仙水 19
—— ◁▷ ——

小學女子50米自由型
1. 濱田タカエ、仙水 45.8
2. 軸丸ツメ、越智 47.2
3. 松本露子、白女 49.0

小學女子100米自由型
1. 濱田タカエ、仙水 1:43.4
2. 高木キミエ、越智 1:45.8
3. 佐野セツ、白女 1:54.0

小學女子50米平泳
1. 高木キミエ、越智 54.8
2. 川野イトエ、仙水 56.6
3. 佐々木花子、白女 57.4

小學女子50米背泳
1. 向石千恵子、仙水 53.4
2. 軸丸マサ子、四女 56.6
3. 高橋ヒサエ、四女 59.4

小學女子200米リレー
1. 白女(阿部、川崎、佐野、松本) 3:32.6
2. 越智(高木、田中、軸丸、疋田) 3:27.4

得點 白女 23、仙水 22、越智 19

第二回全札幌對全小樽水上競技大會

期日 昭和6年8月30日 午前9時ヨリ 場所 小樽市立中學プール(25米) 主催 小樽體育協會 氣溫 23° 水溫 16.95	2. 兒玉晃司、札 1:11.0 3. 一谷秀哉、小 200米平泳 1. 梶原 岬、札 3:12.9 2. 安孫子三郎、札 3:29.8 3. 渡邊常一、小 200米自由型 1. 佐々木信夫、札 2:47.5 2. 茨木松郎、小 2:49.0 3. 花田隼人、札 100米背泳 1. 本間孝之助、札 1:21.3 2. 福丸榮治、小 1:26.8 3. 田澤正松、小 400米自由型	1. 佐々木信夫、札 6:10.2 2. 笹 潤次、札 3. 眞井、 札 50米自由型 1. 兒玉晃司、札 30.2 2. 甲谷啓一、札 30.8 3. 佐藤新一、小 800米リレー 1. 札幌(佐々木、澤田、花田、尻内) 11:18.2 2. 小樽(茨木、一谷、神保、河) 12:10.1 得點 札幌 87、小樽 69
200米リレー 1. 小樽(佐藤、長尾、茨木、一谷) 2:01.5 2. 札幌(兒玉、甲谷、花田、本間) 2:02.8 800米自由型 1. 澤田克巳、札 13:15.1 2. 笹 潤次、札 15:27.1 3. 神保 浩、小 100米自由型 1. 茨木松郎、小 1:08.3		

第五回全道小學校對抗水上競技大會

期日 昭和6年8月30日 午前9時ヨリ 場所 小樽市立中學プール(25米) 主催 小樽體育協會 50米自由型 尋常科 1. 莊司信良、大川 38.7 <small>本會新記録</small> 41.6 2. 鈴木 正、湯川 3. 田口幸男、大川 高等科 1. 榊田政信、湯川 34.6 2. 熊倉 武、大川 36.0 3. 小幡 弘、湯川 200米自由型 尋常科 1. 松浦重雄、大川 3:26.2 2. 加藤綱次郎、湯川 3:38.3 3. 大關英治、大川 高等科 1. 水野安三、大川 3:17.8	2. 阿部林藏、大川 3:28.2 3. 川村正治、湯川 50米背泳 尋常科 1. 木村 直、湯川 49.1 <small>本會新記録</small> 51.0 <small>本會新記録</small> 2. 長濱吉右衛門、 3. 田口幸男、大川 高等科 1. 上林清治、第二 44.6 2. 本間貞藏、湯川 47.0 3. 水野安三、大川 100米自由型 尋常科 1. 莊司信良、大川 1:27.0 <small>本會新記録</small> 1:34.0 2. 松浦重雄、 3. 加藤綱次郎、湯川 高等科 1. 榊田政信、湯川 1:20.6 2. 熊倉 武、大川 1:24.1	* 3. 小幡 弘、湯川 100米平泳 尋常科 1. 梶浦和平、西創武 1:48.9 <small>本會新記録</small> 1:55.0 2. 鈴木 正、湯川 3. 山本貞雄、大川 高等科 1. 小山甚之助、大川 1:38.9 2. 佐々木清志、湯川 3. 齋藤龜雄、湯川 200米リレー 尋常科 1. 余市大川 2:57.4 2. 函館湯ノ川 2:58.4 3. 小樽若竹 高等科 1. 余市大川 2:34.2 2. 函館湯ノ川 2:37.4 3. 小樽第二高等
---	--	--

第六回明治神宮體育大會水上競技大會
 昭和六年度全日本選手權水上競技大會

關 東 豫 選

主催 關東水泳協會
 期日 昭和六年八月二十九、三十日
 場所 明治神宮プール

八月廿九日午後六時開始
 氣溫二十四度 水溫二十六度
 1. 水球競技 稻泳會對慶大

(前半 3:0) 6:0 で稻泳會の勝利
 後半 3:0) となる
 早大ベストメンバーに高石を加へたス

ビードのあるチーム結局ボールを多く見方に得てチャンスを物にしたが慶大は善戦防禦に努めたけれど却て自由扱を與へて度々ゴールをねらはれた。後半慶大最初は元氣で度々チャンスがあつたが惜しい處で得點せず絶へず壓迫されてゐた七分三分のゲームに終る

2. 青年四百米自由型

(A) 1. 山城 (北豊島) 6:38.0

2. 小形 (北多摩) 3:39.4 約1米

3. 新庄 (東京市) 6:49.8 8米

○一回フライングの後スタートするや五コース松本(豊多摩)一重伸で他はクロールで力泳北村、新庄、小形、山城の順、何と云つても一重伸では問題にならず二百米で棄權す。新庄は百米頃よりリードし十米先んじ山形、山城併行して續き次第に疲勞する新庄との差を縮めて三百では殆んど同行三五〇に入るや山城、小形の接戦となつたが山城ダッシュ功奏し一米の差で勝つ新庄は小形に遅ること約八米だつた。

(B) 1. 岡松 (東京市) 6:03.6

2. 青木 (八王子市) 7:39.2 約70米

3. 石井 (豊多摩) 8:35.0 40米

岡松最初よりピッチを舉げて十米も先んじ二着とは約七十米の差を以て泳ぐ三着石井は一重伸で最後まで泳ぎ通したのは賞すべきだ尙競泳として此の泳ぎが用ゐられるものか否かも解決されたと思ふ。

(C) 1. 木村 (南葛飾) 5:59.6

2. 田上 (東京市) 7:01.0 60米

3. 瓜生 (荏原) 7:20.0 25米

木村斷然リードして二百では片抜手で最後まで奮闘した田上を二十五米離し瓜生は二米遅れて次ぎ日本は百で棄權した三百を過ぎる頃木村更に力泳六十米の大差で一着となる。

3. 二百米自由型

(A) 1. 武村 2:20.0

2. 米山 2:21.6 ○一ツ

3. 伊崎 2:39.6

今秋インタカレッツに於ける早明の中堅であり昔は共に長距離の選手で有名である春以來兩名共調子悪く日米豫選では武村出場せず米山選に落ちるなど顔合せは面白いと思はれた果して最初

よりせり合ひとなり米山少しリードせば武村離さず機をみてラスト百七十米頃で併行急ピッチで迫り僅か一かきで武村の勝となる。

(B) 1. 横山 2:20.0

2. 竹林 2:26.4

3. 志村 2:28.2

日米水上競技四百では強敵ギルフラ・ハリと接戦を演じそのスプリントある泳ぎ振りは寧ろ長距離より中距離に適すべく本競技はその二百出場で多大の興味あることと思はれた、軽く二二〇で泳いだが高石と顔合せでもあつたら良タイムの出たことと思はれる。

4. 青年團二百米平泳

(A) 1. 栗原 (北豊島) 3:28.8

2. 稻葉 (南葛飾) 3:30.0

(B) 1. 谷川 (東京市) 3:25.6

2. 榊原 3:27.4 約1米半

3. 廣澤 3:41.6 15米

(C) 1. 渡邊 (北豊島) 3:31.8

2. 竹中 (荏原) 3:40.8

3. 谷川 (東京市) 3:42.8

左右足の動作の異なるものやターニングの際手を揃へて附けることを忘れて反則となり除外されたもの多きは遺憾だホームが良くてそれにピッチなど遅くてまだまだ研究練習の餘致あり將來がある谷川、榊原、栗原等の奮闘を望む

5. 青年團百米自由型豫選

(A) 1. 菊池 (北豊島) 1:10.4

2. 大畑 (南葛飾) 1:21.4

3. 小林 (東京市) 1:28.8

棄權者の多いことは誠に遺憾であつた一着菊池は老練な泳ぎ振りで約十五米リードして入る大畑、小林はまだ充分の練習がつかまえて居ないやうに見える

(B) 1. 濱上 (東京市) 1:10.4

2. 葛城 (北豊島) 1:15.4

3. 鈴木 (荏原郡) 1:24.0

B最初濱上と葛城との接戦であつたが次第に濱上頑張り約五米抜き出で、勝つ。松本(豊多摩)は初めからチンパ抜き手や一重伸平泳などで猛烈に泳いだが如何ともならずあせるのみでスピードは出なかつた。

(C) 1. 田中 (南葛飾) 1:10.8

2. 小宮 (荏原郡) 1:16.2

2. 新庄 (八王子市) 1:19.2 最優三等者
田中急ピッチで先づリードし約五米の差で一着小宮、新庄の順に入る。

(D) 1. 關根 (北豊島) 1:09.0

2. 樋口 (東京市) 1:16.6

3. 吉田 (北多摩) 1:20.0

元東洋商業關東中等學校では覇を稱へたことのある選手だけに流石レースに悠々 1:09.0 の豫選最高の記録で泳いでゐる實力としては七秒臺で泳げると思ふ。

6. 女子二百米自由型決勝

1. 永井 2:01.8

2. 市口 3:04.4

3. 川田 3:27.8

最初永井出で、百米頃より市口迫りラストで力泳を奏せず結局二米半の差で永井の優勝となる。

新進川田急ピッチで力泳に力めたが練習不足の爲め割合にスピードが出ないやうだ約三十米の差で第三着であつた

7. 四百米自由型豫選

(A) 1. 武村 5:13.6

2. 坂上 5:14.2

3. 竹林 5:27.6

棄權者なく八名の出場、坂上最初より出し武村、村松、竹林之に續き二百で武村少しリードして坂上と揃ひ竹林と村松は二米遅れて接戦す。三百でも坂上僅かにリードし武村自重して之を追ふ。又五米遅れた竹林は村松を二米抜きながらラストスパートに入る俄然武村猛烈とピッチをあげながら坂上と迫り合ひ遂に一米先んじてゴール一着となる。竹林も力泳して村松を抜かんとすれど案外の接戦となりタッチの差で竹林第三着となつたなど老練さを見せしてくれた。

(B) 1. 米山 5:11.4

2. 卯月 5:41.6

3. 伊崎 5:53.2

横山の棄權で米山の獨舞臺悠々 5:11.4 で實力に達しないが A の武村との決勝レースを思はせるタイムを出してくれた。

8. 三百メドレリレー

慶大(根來、大串、山川) 3:49.8 獨泳。

(第二日目)

八月三十日午後六時開始

気温二十三度 水温二十六度

1. 青年四百米決勝 6.00

- 1. 木村 (南葛飾) 5:47.4
- 2. 岡松 (東京市) 5:56.6
- 3. 小形 (北多摩) 6:24.0

岡松、木村稍出で三百迄併行してたが木村次第に引離し第一着となり5:47.4の好記録を出し青年團の爲めに氣を吐いた。次いで岡松十米餘遅れて二着四十米遅れて山城、小形接戦を演じてたが小形スピードを出し五米先んじて第三着となる。

2. 女子百米背泳決勝 6.10

- 1. 中川 1:41.2
- 2. 永井 1:45.4 差2米半
- 3. 高野 1:49.4 3米

永井のホームは美しい。殊に手のかき方は上出来だが頑張りの練習がどうも足りない爲めか思ひの外スピードが出なかつたのは残念、自重を望む。

3. 二百米自由型決勝 6.20

- 1. 横山 2:18.0
- 2. 武村 2:22.8
- 3. 米山 2:22.8

斯界の一流の顔合せとも思はれないが横山の二百へ挑戦が面白い、俄然横山武村、米山の接戦となり百で横山約一米リードし百五十米更に二米餘離し第一着となる。武村之を追へど迫らず米山と併行してラストに入り殆んど分らぬ程に同着結局武村の二着となる。

武村、米山豫選より接戦を演じ優劣なし武村稍ラストに強い様に思はれた。

4. 百米平泳決勝 6.30

- 1. 大串 1:21.0
- 2. 松本 1:22.4
- 3. 安永 1:22.6

インタカレッヂの闘將大串、松本の接戦五十米では殆んど同じく七十頃より大串半身リードして一着、安永、調子揃つて松本に迫る松本ピッチをあげ頭一つ勝つて二着、安永三着となる。

5. 千五百米自由型決勝 6.40

- 1. 鈴木 21:43.0
- 2. 村松 22:08.0
- 3. 藤田 22:15.0

鈴木最初より二米リードして藤田、村松、大岩の順にて之を迫り四百では村松少し出で、藤田と接戦す。

鈴木のスプリットタイムは
100 (1:13.0) 200 (2:36.4)
300 (4:02.8) 400 (5:30.0)
500 (6:58.8) 600 (8:28.6)
700 (9:57.0) 800 (11:26.0)
900 (12:53.8) 1000 (14:22.8)
1100 (15:53.8) 1200 (17:20.6)
1300 (18:49.2) 1400 (20:17.6)

6. 青年二百米平泳決勝 7.10

- 1. 谷川 (東京市) 3:24.8
- 2. 栗原 (北豊島) 3:29.4
- 3. 榊原 (北豊島) 3:30.4

谷川のホームは青年團として非常にいゝが頑張りが見られぬ、あれだけの伸びがとれるのだから少しピッチをあげて力泳して欲しかつた十秒臺には確實に泳げる人栗原、榊原まだまだ練習不足の點があり一般に初めにあまり力をセーブし過ぎてゐるやうだ。

7. 百米背泳決勝 7.20

- 1. 入江 1:15.4
- 2. 大島 1:15.8 半米
- 3. 根來 1:18.4 2米

今春不振を傳へられた入江はコースも良く手も軽く抜けたやうで秋のインタカレッヂにはさぞ優秀なタイムの出ることゝ思はれる。

8. 青年團百米決勝 7.20

- 1. 關根 (北豊島) 18.4
- 2. 濱上 (東京市) 18.6
- 3. 田中 (南葛飾) 19.2

關根、濱上、田中の接戦となり濱上優勢に半身リードしたが關根流石に老練さを見せラストタッチで勝つ、一米遅れ田中第三着となる。元關東中等界で鍛へた關根はあつぱれ上手な泳ぎをやつた。

9. 女子四百米決勝 7.40

- 市口氏の獨泳で 6:36.6
- 途中タイム 100 (1:33.2)
- 200 (3:14.4) 300 (4:56.4)

10. 百米自由型決勝 7.55

- 1. 高橋 1:02.4
- 2. 志村 1:05.6
- 3. 浦木 1:07.8

高橋最初より一米リード志村之を迫り更に七十では三米を引離され浦木、坂本之に續いたが浦木のラスト効を奏し(志村に二米遅れて)第三着となる。何となく物寂しいレースだつた。

11. 青年團百米背泳決勝 8.05

- 1. 菊池 1:27.4
- 2. 關根 1:27.6
- 3. 安藤 1:34.0

五〇では關根、安藤菊地の順で殆んど同じ位にターンし菊池七十頃より抜き出で關松と接戦を演じてラスト稍弱り關松之を追ひしも抜けず僅かタッチの差で惜しくも關根二着となる勝てるレースをターンで躊躇したゝ爲め敗れたのは惜しい。

12. 四百米自由型決勝 8.20

- 2. 坂上 4. 武村 5. 米山 7. 伊崎の順
- 1. 武村 5:11.0
- 2. 米山 5:12.6
- 3. 坂上 5:14.0

本大會二百決勝に次ぐ興味あるレースが展開された。先づ米山、武村、坂上卯月、伊崎の順で五〇を過ぎれば米山武村約一米出で坂上續き百で米山リード武村一米遅れ坂上之に二米の差で一五〇過ぎるや坂上猛烈に迫り武村、米山を抜き逆に三米離せば武村自重して坂上に續き二百に入るや武村少しく抜き坂上とせり合ひ米山も共に迫る三百で武村着々リードし初めたので米山猛然と追つて其の差を縮めんとすれど武村身體一つ抜きながらラストに入りピッチをあげて約米山を二米抜いて一着續いて坂上一米遅れて三着卯月更に二十米遅れて四着十五米伊崎第五着であつた。

13. 二百米平泳決勝 8.30

- 1. 大串 3:02.4
- 2. 松本 3:02.8 身半分
- 3. 調子 3:03.4 1米半

大串、調子、松本、安永の順でターン大串稍抜き百で調子、松本併行安永少し遅る一五〇を過ぎて松本ピッチ出して大事に迫る調子稍疲れてラスト一米餘の差で第三着となる。

14. 女子百米自由型決勝 8.40

- 高野獨泳 1:27.2

關東女子水泳界の爲めに誠に心細い、女子先輩諸嬢は後身の指導に盡力せられんことを望む。

15. **五十米背泳決勝** 8.50
- | | |
|-------|------|
| 1. 大島 | 24.4 |
| 2. 入江 | 34.8 |
| 3. 猿橋 | 35.0 |

スタート入江最もよく大島、坂本、猿橋之につゞき四十米では大島頭一ツリ、入江、猿橋並行タッチ入江かつ。

16. **青年團二百米繼泳決勝** 9.00
- (2) 北豊島(栗原、葛城、石山、關根)
(4) 東京市(岡松、管野、本田、濱上)
(6) 荏原郡(小宮、鈴木、中島、金子)
(7) 北多摩(吉田、佐藤、榎本、齋藤)
(8) 南葛飾(木村、田中、小山、加藤)

- | | |
|---------------|----------------|
| 最初50米 | 100米 |
| 1. 東京市(岡松) 半身 | 1. 北豊島(葛城) 1米半 |
| 2. 北豊島(栗原) 1米 | 2. 南葛飾(田中) 2米 |
| 3. 荏原郡(小宮) 同 | 3. 東京市(管野) 2米 |
| 4. 北多摩(吉田) 同 | 4. 北多摩(佐藤) 同 |

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 5. 南葛飾(木村) 150米 | 5. 豊原郡(鈴木) 200米 |
| 1. 北豊島(石山) 一カキノ差 | 北豊島(關根) 5米 |
| 2. 南葛飾(小山) 半米 半身体 | 荏原郡(金子) 2米半 |
| 3. 荏原郡(中島) | 南葛飾(加藤) |
| 4. 東京市(本田) | 東京市(濱上) |
| 5. 北多摩(榎本) | 北多摩(齋藤) |

第一着 北豊島(栗原、葛城、石山、關根)
第二着 南葛飾 木村、田中、小山、加藤
第三着 東京市、岡松、管野、本田、濱上
第二着の荏原郡、第三番目引繼者(中島)入水少し早き爲め反則オミットさる。

17. **八百米繼泳** 9.15
- (3) 隅田(大岩、卯月、伊崎、新谷)
(4) 稻泳會(横山、坂上、米山、高石)

第一着 稻泳會チーム
9:26.6 (日本新記録)

}	横山	2:19.6
	坂上	2:24.6
	米山	2:24.8
	高石	2:17.6

米山、坂上二百四百の疲れで好タイム出ざる爲め先日の米國チーム9:17.0に劣るも9:20.0臺に縮めることは出来たと思ふ。最終のレースに日本新記録を出し萬丈の氣を吐いた。

日米水上及中等學校東部豫選を終へた頃の大會だけに一流選手の出場少く興味は稍薄らいだが横山の二百への出場と之に高石、佐田、片山、宮崎、武村(兄)米山、野田等の闘將を加へた本大會は一段の緊張を増すことと思はれる。

目覺しい記録とてなかつたが米山、武村の接戦はインターカレッジを控へての面白い前衛戦だつ。

青年團は練習不足の點が多く殊に平泳の反則があつたことは研究を要すべきことであり十月の大會まで更に一段の猛練習を希望す。特に木村、岡松、谷川、關根、濱上、田中、菊池の諸兄の健闘を祈る。

記録 山崎三郎誌

第 八 回 全 國 競 泳 大 會

主催 名古屋水泳協會
後援 新愛知新聞社
場所 七本松プール
期日 昭和六年七月十九日

- 男子100米自由型決勝
1. 豊田久吉、日大 1:02.2大會新
2. 鈴木秀雄、法大
3. 加藤嘉清、法大
4. 青木喜右衛門、小牧中
- 男子200米自由型決勝
1. 鈴木秀雄、法大 2:25.6大會新
2. 長村良二、岐商
3. 村松琴、日大
3. 青木喜右衛門、小牧中
- 男子400米自由型決勝
1. 村松四郎、法大 2:25.0大會新
2. 濱田道男、日大
3. 近藤甚吉、東日壁青年
4. 小村政信、小牧中
- 男子1500米自由型決勝
1. 根來幸成、慶大 21:31.6大會新

2. 近藤勇三、瑞陵
3. 村松四郎、法大
4. 上田清、岐商
- 男子100米背泳決勝
1. 豊田久吉、日大 1:21.0
2. 吉川彦一、法大
3. 安岡正博、日大
4. 齋藤純朗、法大
- 男子200米平泳決勝
1. 中川重雄、神戸青年 2:57.0大會新
2. 小田義彦、桑名中 2:58.0大會新
3. 安永弘、日大
4. 向井正男、岐商
- 男子800米リレー決勝
1. 日大櫻泳會、村松、濱田、舟越、豊田 10:03.4大會新
2. 岐阜商業、中村、上野、志知、安藤
- 女子50米自由型決勝
1. 戸張ハツ、淑徳 0:36.4
2. 前畑秀子、椋山

3. 杉山壽恵子、縣一
4. 水野スズエ、椋山
- 女子100米自由型決勝
1. 小島一枝、椋山 1:20.0大會新
2. 戸張ハツ、淑徳
3. 社本田歌子、椋山
- 女子200米自由型決勝
1. 小島一枝、椋山 3:00.0大會新
2. 加藤好子、淑徳
2. 横江照子、淑徳
4. 高野菊江、淑徳
- 女子100米背泳決勝
1. 加藤好子、淑徳 1:27.4日本新
2. 吉田文子、縣一
3. 高野菊江、淑徳
4. 社本田歌子、椋山
- 女子200米平泳決勝
1. 前畑秀子、椋山 3:14.0大會新
2. 浅井金子、縣一 3:33.4大會新
3. 山田金野、縣一

4. 近藤春子、淑徳
女子200米リレー決勝
1. 椋山第二高女、社本、前畑、水野、
小出、
2. 愛知縣第一高女、神谷、武田、
吉田、杉山
2:27.8日本新
3. 愛知淑徳高女、戸張、加藤、寺下、
高野

昭和六年度全日本水上競技選手権大會
昭和六年度明治神宮大會水上競技

豫 選 會

- | | | |
|-------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 主催 松江體育協會 | 3. 西下 剛、内中原 0:54.1 | 1. 大中、山崎、小野、樽原、大野 2:01.7 |
| 場所 於末次埋立地島根縣體育協會
プール | 男子100米自由型決勝 (高男) | 3. 紅陵、岡富、安達、本田、三宅 2:03.7 |
| 期日 昭和六年八月二日 | 1. 三島一夫、母衣 1:27.9 | 男子200米リレー決勝 |
| 男子50米自由型決勝 | 2. 福島 猛、揖屋 1:31.6 | 1. 濱中、牛尾、西田、吉川、山本 4:27.6 |
| 1. 山本芳弘、濱中 0:28.9 | 3. 森山義光、母衣 1:42.5 | 2. 大中、山崎、藤原、油谷、大野 4:46.9 |
| 2. 大野一夫、大中 0:29.4 | 男子100米背泳決勝 | 3. 松中、内田、須山、上野、張川 4:53.4 |
| 3. 浦邊龍治、倉中 0:30.2 | 1. 須山正典、松中 1:24.5 | 男子800米リレー決勝 |
| 男子100米自由型決勝 | 2. 松本 保、倉中 1:25.8 | 1. 濱中、牛尾、吉川、西田、山本10:42.2 |
| 1. 大野一夫、大中 1:06.3 | 3. 稻田重雄、Y.S.S 1:31.0 | 2. 大中、山崎、油谷、藤原、大野11:06.5 |
| 2. 澤田寅太郎、Y.S.S 1:06.3 | 男子200米背泳決勝 | 男子300米メドレーリレー決勝 |
| 3. 内田 了、松中 1:11.5 | 1. 藤原伸夫、大中 3:03.2 | 1. 松中、内田、須山、入江 4:04.6 |
| 男子200米自由型決勝 | 2. 須山正典、松中 3:07.8 | 2. 倉中、松本、浦邊、市川 4:18.4 |
| 1. 西田正四郎、濱中 2:36.2 | 3. 福田重雄、Y.S.S 3:15.2 | 3. 島商、木村、西代、山田 4:38.3 |
| 2. 西古康平、Y.S.S 2:44.9 | 男子100米平泳決勝 | 女子50米自由型決勝 |
| 3. 牛尾弘文、濱中 2:49.4 | 1. 入江 治、松中 1:27.1 | 1. 曾田英子、松高 0:43.5 |
| 男子400米自由型決勝 | 2. 吉岡 等、島高農 1:27.5 | 2. 神田伊織、松高 0:44.7 |
| 1. 小西虎次郎、安來青年 5:30.0 | 3. 出井 潔、Y.S.S 1:31.7 | 3. 本間節子、松高 0:46.2 |
| 2. 和田 彰、Y.S.S 5:59.0 | 男子200米平泳決勝 | 女子100米自由型決勝 |
| 3. 油谷 彊、大中 6:09.4 | 1. 入江 治、松中 3:12.5 | 1. 神田伊織、松高 1:45.4 |
| 男子1500米自由型決勝 | 2. 出井 潔、Y.S.S 3:28.8 | 2. 曾田英子、松高 1:49.0 |
| 1. 小西虎次郎、安來青年 21:55.7 | 3. 荆尾 正、大中 3:34.2 | 3. 佐川淑子、松高 2:01.5 |
| 2. 西古庵年、Y.S.S 24:07.0 | 男子400米平泳決勝 | 女子100米背泳決勝 |
| 3. 和田 彰、Y.S.S 24:27.0 | 1. 丹羽一郎、Y.S.S 7:15.7 | 1. 松崎八重子、松高 2:41.7 |
| 男子50米自由型決勝 (尋男) | 2. 吉岡 等、高島農 7:29.1 | 2. 錦織米子、家政 2:43.9 |
| 1. 持田正庵、母衣 0:48.8 | 3. 木村益悦、島高 7:33.6 | 3. 野々村初枝、家政 3:16.5 |
| 2. 渡邊彌一、白濁 0:50.4 | 男子200米リレー決勝 | 女子200米リレー決勝 |
| | 1. 濱中、牛尾、吉川、西田、山本 2:00.0 | 1. 松高、神田、曾田、佐川、長岡 3:20.4 |

第七回 靜浦游泳協會水上競技大會
兼全國選手権大會地方豫選

- | | | |
|-----------------------|---------------------|---------------------|
| 主催 靜浦游泳協會 | 3. 小早川三五郎、靜游 0:29.6 | 3. 川島達男、沼商俱 2:45.0 |
| 後援 沼津體育協會。東京日日新聞
社 | 男子100米自由型決勝 | 男子400米自由型決勝 |
| 場所 江の浦プール (長さ50米) | 1. 石川 勇、靜游 1:06.0 | 1. 坂倉 晴、靜游 5:31.8 |
| 期日 昭和六年八月五日、六日 | 2. 新井茂夫、古宇青 1:08.4 | 2. 竹内常郎、沼商俱 5:52.8 |
| 男子50米自由型決勝 | 3. 中島清作、靜游 1:09.2 | 3. 川島達男、沼商俱 6:07.8 |
| 1. 今井誠太郎、遠州水 0:28.4 | 男子200米自由型決勝 | 男子200米背泳決勝 |
| 2. 新井茂夫、古宇青 0:28.6 | 1. 石川 勇、靜游 2:34.6 | 1. 竹内常郎、沼商俱 1:23.6 |
| | 2. 大川房善、靜游 2:37.6 | 2. 小早川三五郎、靜游 1:27.4 |

3. 中島博乃、靜游 1:29.4
 男子200米平泳決勝
 1. 渡井八郎、法友 3:13.6
 2. 飯塚由太郎、靜游 3:18.0
 3. 小池二郎、沼商俱 3:23.4
 男子200米リレー決勝
 1. 靜浦游泳協會、小早川、坂倉、中島、石川 2:00.6
 2. 沼商俱樂部、大川、川島、加藤、竹内 2:05.8
 3. 古宇水泳會、新井茂、新井、田村久保田 2:09.8
 男子800米リレー決勝
 1. 靜浦游泳協會、坂倉、中島、小早川石川、中島博、秋山 10:35.0
 2. 沼商クラブ、川島、加藤、竹内、大川、勝亦、田村 11:30.6
 中學100米自由型決勝
 1. 森 博、靜中 1:07.4
 2. 白井岩雄、豆中 1:09.0
 3. 須田太郎、沼中 1:10.2
 中學200米自由型決勝
 1. 森 博、靜中 2:35.2
 2. 高木茂雄、靜中 2:35.4
 3. 杉山信次、沼商 2:37.4
 中學400米自由型決勝
 1. 新間六炳、靜中 5:33.6
 2. 渡邊元一、沼商 5:41.0
 3. 小井戸武男、庵中 5:58.0
 中等800米自由型決勝
 1. 新間六炳、靜中 11:21.2
 2. 渡邊元一、沼商 11:40.4
 3. 小早川利夫、沼商 12:16.8
 中學50米背泳決勝
 1. 宮田 榮、沼商 0:37.4
 2. 中島 武、沼中 0:38.0

3. 八木橋親臣、沼商 0:38.0
 中等100米背泳決勝
 1. 堀井鏡平、靜中 1:22.0
 2. 宮田 榮、沼商 1:22.0
 3. 八木橋親臣、沼商 1:29.4
 中等100米平泳決勝
 1. 渡井長七郎、富中 1:27.4
 2. 藁科 實、沼商 1:30.0
 日下部充雄、沼中 1:30.4
 中等200米平泳決勝
 1. 渡井長七郎、富中 3:09.0
 2. 小野 勳、富中 3:16.2
 3. 藁科 實、沼中 3:16.8
 中等200米リレー決勝
 1. 靜岡中學、堀井、森、新間、高木 1:57.2
 2. 沼津中學、川守、仁王、秋山、須田 2:04.8
 3. 沼津商業、村上、小松、宮田、杉山 2:07.0
 中等800米リレー決勝
 1. 靜岡中學、高木、堀井、新間、森 10:29.0
 2. 沼津商業、杉山、小杉、渡邊、小早川、宮田、遠藤 10:54.6
 3. 富士中學、岩科、前山、落合、田島、脇田、石橋 11:20.0
 少年50米自由型決勝
 1. 曾我忠至、柿崎小 1:31.8
 2. 土佐谷長松、靜浦小
 3. 大川 實、西浦赤
 少年100米自由型決勝
 1. 久保田忠雄、西浦小 1:15.4
 2. 渡邊保久、靜小 1:15.6
 3. 大川泰平、内浦小 1:17.8
 少年400米自由型決勝

1. 渡邊保久、靜浦小 6:16.8
 2. 増田武夫、靜浦小
 3. 小松正夫、靜浦小
 少年50米背泳決勝
 1. 田内秀雄、靜浦小 0:47.6
 2. 高山 孝、靜浦小 0:50.0
 3. 久保田忠雄、西浦小
 少年100米平泳決勝
 1. 栗原平吉、靜浦小 1:34.6
 2. 眞部竹次郎、靜浦小 1:36.6
 3. 大木英則、西浦小
 少年200米リレー決勝
 1. 西浦小學校、久保田、高田、久保田武、上原、大木 2:22'0
 2. 靜浦小學校、渡邊、大沼、長澤、増田、笹原、土佐谷 2:23.4
 3. 西浦赤十字團、山口、池谷、相磯高野、原田 2:27.8
 少年200米オープン各區對抗リレー決勝
 1. 江ノ浦チーム、増田、大沼、土佐谷山崎、小柴、小池 2:26.6
 2. 獅子濱チーム、長澤、小松、中島、小松正、高山、植松 2:30.6
 3. 多此、志下、口野混合チーム、笹原渡邊保、田口、渡邊 2:34.4
 女子50米自由型決勝
 1. 荻川タマ、靜游 0:47.6
 2. 中山 高、沼津女 0:47.6
 3. 金子利代、沼津女 0:48.0
 女子100米自由型決勝
 1. 荻川タマ、靜游 1:52.8
 2. 杉山トシ、靜游 2:14.0
 女子100米平泳決勝
 1. 菊場チェ、靜游 2:00.0
 2. 植松ツル、靜小 2:06.8
 3. 小早川キク、靜小 2:09.6

第五回市民水泳大會

主催 名古屋體育協會
 場所 七本松プール
 期日 昭和六年八月二十二日夜
 一般男子50米自由型決勝
 1. 近藤甚吉、名水 0:30.2
 2. 伊藤 進、愛水 0:30.8
 一般男子100米自由型決勝
 1. 近藤甚吉、名水 1:06.4
 2. 伊藤 進、愛水

3. 原 留夫、愛水
 一般男子100米平泳決勝
 1. 中川重雄、名水 1:23.0
 2. 鈴木富三、
 3. 古澤三郎、愛水
 男子中等學校50米自由型決勝
 1. 渡邊健重、中商 0:30.6
 2. 水谷 實、名商
 3. 中谷博光、二商

男子中等學校100米自由型決勝
 1. 浦野義正、二商 1:11.2
 2. 渡邊健重、二商 1:11.2
 3. 水谷 實、名商
 男子中等學校200米自由型決勝
 1. 浦野義正、二商 2:44.2
 2. 廣田利夫、二商
 3. 小倉 進、名商
 男子中等學校100米平泳決勝

1. 中村良一、名水 1:36.4
2. 新庄 晃、明倫
3. 石川秀幸、中商
- 男子中等學校100米背泳決勝
- 1' 久野良三、 1:38.0
2. 西脇正勝、名水
3. 鈴木秀之進、二商
- 男子中等校200米リレー決勝
1. 名古屋商業 2:16.0
- 女子50米自由型決勝
1. 小島一枝、椛山 0:35.0
2. 杉山壽恵子、愛知一 0:37.2

3. 戸張ハツ、淑徳
- 女子100米自由型決勝
1. 小島一枝、椛山 1:19.0
2. 戸張ハツ、淑徳 1:23.8
3. 伊藤和子、淑徳 1:24.0
- 女子200米自由型決勝
1. 伊藤和子、淑徳 3:08.4
2. 横江照子、淑徳 3:12.2
3. 石田豊子、椛山
- 女子100米背泳決勝
1. 加藤好子、淑徳 1:28.0
2. 吉田元子、愛知一 1:30.6

3. 高野菊枝、淑徳 1:36.0
- 女子100米平泳決勝
1. 前畑秀子、椛山 1:28.1
2. 浅井品子、愛知一 1:36.0
3. 近藤春子、淑徳 1:42.0
- 女子200米リレー決勝
1. 椛山第二高女、水野、社本、小島
前畑 2:25.2
2. 淑徳高女、戸張、伊藤、高野、横
江 2:29.0
3. 愛知一高女、 2:30.0

昭和六年度全日本選手権大會 兼神宮體育大會水上競技豫選會

- 主催 名古屋體育協會
- 場所 清洲プール
- 期日 昭和六年八月三十日
- 男子100米自由型決勝
1. 豊田久吉、明大 1:01.8
2. 長村良三、岐商 1:07.6
3. 青木喜左衛門、小牧中
- 男子200米自由型決勝
1. 豊田久吉、日大 2:27.4
2. 長村良三、岐商 2:33.6
3. 志知 廉、岐商
- 男子400米自由型決勝
1. 近藤勇三、瑞陵 5:30.0
2. 安藤勇二、岐商 5:45.4
3. 伊藤峰三、津島中
- 男子1500米自由型決勝
1. 近藤勇三、瑞陵
2. 上野 清、岐商
3. 安藤勇二、岐商
- 男子50米背泳決勝
1. 市橋清之介、慶大 0:35.0
2. 永廣宇之助 名高商 0:37.6

- 吉川彦一、岐商出
- 男子100米背泳決勝
1. 河合一郎、小牧中 1:21.8
2. 吉川彦一、岐商出 1:22.4
3. 永廣宇之助、名高商
- 男子100米平泳決勝
1. 中川重雄、名水 1:23.4
2. 杉浦武雄、豊水 1:28.6
3. 齋藤喜一、名水
- 男子200米平泳決勝
1. 中川重雄、名水 3:05.6
2. 杉浦武雄、豊水 3:16.8
3. 福田幸彦、津島中
- 男子800米リレー決勝
1. 名古屋高商、今枝、奥西、水谷、
清川 10:28.0
- 男子300米メドレーリレー決勝
1. 名古屋高商、清川 磯野、水谷、
3:54.0
- 女子100米自由型決勝
1. 小島一枝、椛山 1:19.8
2. 伊藤和子、淑徳 1:25.2

3. 杉山壽恵子、愛知縣一
- 女子200米自由型決勝
1. 小島一枝、椛山二 3:00.8
2. 伊藤和子、淑徳 3:12.4
3. 石田豊子、椛山
- 女子400米自由型決勝
1. 横江照子、淑徳 7:04.6
2. 石田豊子、椛山 7:05.6
3. 林千代子、愛知一
- 女子100米背泳決勝
1. 加藤好子、淑徳 1:30.0
2. 吉田文子、愛知一 1:33.0
3. 高野菊枝、淑徳
- 女子200米平泳決勝
1. 前畑秀子、椛山 3:14.6
2. 山田金野、愛知一 3:24.0
3. 浅井品子、愛知一 3:24.8
- 女子400米リレー決勝
1. 椛山第二高女、水野、小島、社本
前畑 5:34.6

第四回水上競技選手権大會

- 第一回中等學校リレーカーニバル。
- 昭和六年度全日本水上競技選手権大會
及ビ明治神宮競技大會京都地方豫選。
- 主催 京都體育協會
- 場所 京都市叡鐵八瀬遊園地公認プ
ール (25米)

- 期日 昭和六年八月二十六・七日
- 男子100米自由型決勝
1. 樋口榮一、京武 1:03.8
2. 横田弘一、京武 1:04.8
3. 村上 弘、京武 1:05.2
- 男子200米自由型決勝

1. 武村寅雄、明大 2:21.6
2. 樋口榮一、京武 2:27.8
3. 松本治一、京武 2:23.2
- 男子400米自由型決勝
1. 武村寅雄、明大 5:02.2
2. 松本治一、京武 5:15.6

3. 陳内 清、北一中俱	林	10:28.5	2. 渡邊和子、北二女	1:47.4			
男子100米背泳決勝	2. 臺中商業、一丸、後藤、手塚、久保田、松井	11:13.7	3. 小山百代、南一女				
1. 小野四郎、中二中	1:21.2	女子50米自由型決勝	1. 渡邊和子、北二女	3:47.4			
2. 米重 勇、北一師	1:23.1	1. 芝原ユリ、南一女	0:37.3	2. 松田敏子、北一女	3:51.3		
3. 松井五夫、中商		2. 桑原セイ、嘉女	0:38.5	3. 小山百代、南一女			
男子200米背泳決勝	3. 熊谷 鑛、南一女		女子100米平泳決勝	1. 伴 菊代、南一女	1:47.0		
1. 陣内 清、北一中俱	2:57.0	女子100米自由型決勝	1. 伴 菊代、南一女	1:47.0			
2. 松井五夫、中商	3:15.6	1. 田中敬子、南一女	1:26.5	2. 安藤茂登、南一女	1:54.0		
3. 野村憲夫、北一中俱		2. 芝原ユリ、南一女	1:27.6	3. 渡邊チエ、南一女			
男子100米平泳決勝	1. 高尾修一、臺高俱	3. 龍本早子、嘉義		女子200米平泳決勝	1. 伴 菊代、南一女	3:50.4	
2. 池上 章、北一中俱		女子200米自由型決勝	1. 田中敬子、南一女	3:14.2	2. 安藤茂登、南一女		
3. 山内幸彌、中師		1. 田中敬子、南一女	3:14.2	3. 富宿フサエ、南一女			
男子200米平泳決勝	1. 霜 三雄、臺高俱	2. 前田キヌ、南一女	3:14.2	女子200米リレー決勝	1. 臺南一女、芝原、前田、熊谷、田中	2:33.8	
2. 池上 章、臺中俱	3:09.6	3. 下田アサエ、南一女		2. 嘉義女學校、桑原、瀧本、村井、田村	2:42.0		
3. 横林輝美治、臺高俱		女子400米自由型決勝	1. 住吉政子、南一女	6:57.7	女子300米メドレーリレー決勝	1. 臺南一女、下田、伴、田中、	4:57.1
男子200米リレー決勝	1. 臺高俱、高尾、横林、金子、神保	1:55.8	2. 下田アサエ、南一女	7:18.5	2. 臺北一女、生田、下川、奥河内、松田、戸田	5:10.3	
2. 臺中商業、久保田、一丸、後藤、手塚、小谷	2:01.0	3. 蓑田保子、嘉義		女子50米背泳決勝	1. 生田美代子、北一女	0:42.5	
男子800米リレー決勝	1. 北一中俱、田崎、淺井、陳内、横		2. 松田敏子、北一女	0:45.7	2. 松田敏子、北一女	0:45.7	
		女子100米背泳決勝	1. 生田美代、子北一女	1:33.0			

第一回和歌山選手権水上競技大會兼全日本選手権豫選

主催 和歌山水泳協會	1. 兒島高一、那者水泳	22:05.4	女子200米自由型決勝	1. 田中光枝、妙寺小	3:04.2		
場所 和歌山師範學校プール (長さ25米)	2. 龜田康雄、五條中	23:57.6	2. 中谷みよ子、妙寺小	3:16.8			
期日 昭和六年八月三十日	3. 前田 茨、妙寺小	24:51.0	3. 内田悦子、武徳支部	3:32.4			
男子100米自由型決勝	男子100米背泳決勝	1. 龜田康雄、五條中	1:26.8	女子400米自由型決勝	1. 内田悦子 武徳支部	7:15.2	
1. 上山宗男、和歌師	1:06.4	男子100米平泳決勝	1. 加藤 清、和中	1:24.6	女子100米背泳決勝	1. 田中光枝、妙寺小	1:33.0
2. 加藤義一、五條中	1:12.0	2. 岩倉利市、九度山	1:25.2	2. 山本喜恵、武徳支	1:58.4		
男子200米自由型決勝	1. 前川重樹、和歌中	2:30.0	3. 林 春郎、京醫大	1:26.8	女子200米平泳決勝	1. 西本ユキ子、妙寺小	
2. 上山宗男、和歌師	2:37.2	男子200米平泳決勝	1. 加藤 清、和中	3:08.0	女子400米リレー決勝	1. 妙寺小學チーム、鹽見、畑中、中谷、田中	6:10.0
3. 宮田勝之助、和歌浦	3:16.6	2. 林 春郎、京醫大	3:20.6				
男子400米自由型決勝	1. 前川重樹、和歌中	5:34.8	女子100米自由型決勝	1. 中谷みよ子、妙寺小	1:27.4		
2. 中野 壽、伊都郡	6:25.8	2. 畑中 榮、妙寺小	1:34.0	3. 鹽見梅子、妙寺小			
3. 宮田勝之助、和歌浦	7:13.6	男子1500米自由型決勝					

全日本選手権大會兼第六回明治神宮大會水上競技九州豫選

主催 福岡水泳協會	場所 九州帝國大學プール(27米)	男子100米自由型決勝	1. 正木敬造、修猷館	1:09.2
後援 大阪毎日福岡支局	期日 昭和六年八月三十日			

2. 副田、修猷館
3. 秋山、障水俱
- 男子200米自由型決勝
1. 正木敬造、修猷館 2:33.4
2. 鶴田、山門郡 2:36.6
3. 村上、豊津中
- 男子400米自由型決勝
1. 森原幸彦、修猷館 5:27.4
2. 安元、久留米商
3. 角野、修猷館
- 男子1500米自由型決勝
1. 森原幸彦、修猷館 22:12.0
2. 角野、修猷館 24:17.0
3. 金子、修猷館 24:42.2
- 男子50米背泳決勝
1. 上野大藏、朝倉中O.B. 1:36.0
2. 村田、朝倉中
3. 桑野、福岡中
- 男子100米背泳決勝
1. 上野大藏、朝倉中O.B. 1:16.2
2. 徳山、熊本
3. 畑井、朝倉中
- 男子200米背泳決勝
1. 上野大藏、朝倉中O.B. 2:50.8
2. 徳山、熊本 2:56.6
3. 桑野、福岡中
- 男子100米平泳決勝
1. 池田吉郎、修猷館 1:24.8
2. 葉室、修猷館 1:27.6

3. 不破、修猷館O.B. 1:29.0
- 男子200米平泳決勝
1. 池田吉郎、修猷館 3:04.4
2. 葉室、修猷館
3. 益田、福岡中
- 男子200米リレー決勝
1. 修猷館俱、副田、正木、角野、加藤、住吉 2:01.4
2. 障水俱、龍頭、小城、井手、安元 松山
- 男子800米リレー決勝
1. 修猷館俱、副田、正木、角野、森原 10:26.6
2. 障水館、井手、小城、龍頭、安元
- 男子300米メドレーリレー決勝
1. 修猷館、大木 池田、安田 3:59.0
2. 修猷俱O.B.
- 女子50米自由型決勝
1. 古賀桂子、久留米高女 0:37.0
2. 古閑、熊本中央高女
3. 與儀、沖繩第二高女
- 女子100米自由型決勝
1. 秋山春代、高良内 1:29.4
2. 谷口、大村高女
3. 與儀、沖繩第二高女
- 女子200米自由型決勝
1. 秋山春代、高良内 3:21.4
2. 森、大村高女
3. 谷本、大村高女

- 女子400米自由型決勝
1. 古閑久子、熊本中見高女 7:17.8
2. 倉田、大村高女
3. 小林、久留米高女
- 女子50米背泳決勝
1. 東原伊都子、久留米高女 0:54.0
2. 原田、大村高女
3. 久富、久留米高女
- 女子100米背泳決勝
1. 東原伊都子、久留米高女 0:05.6
2. 久富、久留米高女
3. 占部、福岡高女
- 女子50米平泳決勝
1. 平岡品子、久留米高女 0:53.0
2. 濱田、福岡高女
3. 森、大村高女
- 女子100米平泳決勝
1. 和田秋、大村高女 2:00.8
2. 平岡、久留米高女 2:01.8
3. 西村、熊本
- 女子200米リレー決勝
1. 久留米高女、國女、福岡、古賀、小林 2:44.2
2. 大村高女、指方、倉田、谷本、森
- 女子150米メドレーリレー決勝
1. 大村高女、原田、和田、愛野 2:24.7
2. 久留米高女、東原、平岡、古賀

第四回女子中等學校競泳大會

主催 日本女子水上競技聯盟。日出新聞社
場所 八瀬遊園地公認プール
期日 昭和六年九月五日・六日

- 女子50米自由型決勝
1. 谷口鏡子、同志 0:35.6
2. 荒田雪江、二條 0:36.0
3. 宮城清子、府二 0:37.4
- 女子100米自由型決勝
1. 荒田雪江、二條 1:21.0
2. 谷口鏡子、同志 1:24.4
3. 横井キヌ、二條 1:26.4
- 女子200米自由型決勝
1. 鈴木里子、府二 3:00.6
2. 櫻井愛、二條 3:09.8
3. 栗本好子、府二 3:10.8
- 女子400米自由型決勝

1. 鈴木里子、府二 6:42.6
2. 櫻井愛、二條 6:47.0
3. 丸橋綾子、同志 6:47.6
- 女子50米背泳決勝
1. 横田操、同志 0:40.2日本新
2. 松井菊、府二 0:45.6大會新
3. 田畑美澄、府二 0:46.0
- 女子100米背泳決勝
1. 横田操、同志 1:31.0日本新
2. 松井菊、府二 1:37.4大會新
3. 田畑美澄、府二 1:40.0
- 女子100米平泳決勝
1. 中村芳江、府二 1:39.2
2. 池田龜代、同志 1:40.2
3. 久原菊子、同志 1:40.6
- 女子200米平泳決勝
1. 久原菊子、同志 3:31.6

2. 池田龜代、同志 3:33.4
3. 中村芳江、府二 3:36.4
- 女子200米リレー決勝
1. 京都二條高女、乾、隱岐、横井、荒田、山口、櫻井 2:23.4日本新
2. 京都同志社高女、谷口、伊達、丸橋、横田 2:29.8
3. 京都府二高女、宮城、永井、栗本、鈴木、河原、福岡 2:30.4
- 女子300米メドレーリレー決勝
1. 京都同志社高女、横田、池田、谷口 4:31.2大會新
2. 京都府二高女、松井、中村、鈴木、宮城、永井 4:35.4大會新
3. 京都二條高女、田畑、初田、林、山川、荒田、隱岐 4:54.6

全日本水上競技選手権大會及明治神宮大會 本道豫選兼全北海道水上競技選手権大會

主催 小樽體育協會
場所 小樽市立中學プール(25米)
期日 昭和六年九月六日

- 男子100米自由型決勝
1. 茨木松郎、樽中 1:08.5
2. 一谷秀雄、綠丘俱
3. 小玉昊司、八紘學
- 男子200米自由型決勝
1. 佐々木信夫、一泳會 2:47.9
2. 居内二郎、札商
3. 神保 浩、綠泳會
- 男子400米自由型決勝
1. 佐々木信夫、一泳會 6:06.7
2. 澤田克己、一泳會
3. 鈴木猶一、綠泳會

- 男子800米自由型決勝
1. 澤田克己、一泳會 13:07.4
2. 笹 順次、一泳會
3. 稻野八郎、一泳會
- 男子50米背泳決勝
1. 本間孝之助、綠丘俱 0:36.8
2. 名雲 賢、綠丘俱
3. 川内四郎三郎、八紘學
- 男子100米背泳決勝
1. 本間孝之助、綠丘俱 1:23.0
2. 名雲 賢、綠丘俱
3. 笠 松、一泳會
- 男子100米平泳決勝
1. 梶浦 岬、札二中 1:26.6
2. 渡邊常一、綠泳會

3. 田澤正松、綠丘俱
- 男子200米平泳決勝
1. 梶浦 岬、札二中 3:17.0
2. 白 石、水産
- 男子800米リレー決勝
1. 綠泳會、茨木、鈴木、佐藤、神保 11:28.5
2. 一泳會、笹、笠松、澤田、佐々木
3. 綠丘俱、本間、田澤、名雲、一谷
- 男子300米メドレーリレー決勝
1. 綠丘俱、本間、田澤、一谷 4:03.0
2. 綠泳會、佐藤、渡邊、神保、茨木
3. 八紘學院、齋藤、川内、小玉

第六回和歌山縣下中等學校及學童水上競技大會

主催 和歌山水泳協會
後援 大阪朝日新聞社和歌山通信部
場所 和歌山中學校水泳場(25米)
期日 昭和六年九月六日

- 男子100米自由型決勝
1. 前川重樹、和歌中 2:06.0
2. 上野良平、和師 1:09.0
3. 西本和市、和高 1:09.4
4. 大須賀泥、和中
5. 山戸東金吾、和商
6. 森口弘吾、耐久中
- 男子200米自由型決勝
1. 前川重樹、和歌中 2:28.0
2. 島本信美、和商 2:34.8
3. 西本和市、和商 2:34.8
4. 山戸東金吾、和商
5. 大須賀泥、和中
6. 宮井長二郎、耐中
- 男子400米自由型決勝
1. 島本信美、和商 5:23.6
2. 兒島高一、耐中 5:31.2
3. 井村健一、和商 5:50.6

4. 三木信雄、和商
5. 橋高義人、和中
6. 十河 浩、和中
- 男子800米自由型決勝
1. 兒島高一、耐中
2. 井村健一、和商
3. 椿原政治、耐中
4. 三木信雄、和商
5. 十河 浩、和中
6. 橋高義人、和中
- 男子50米背泳決勝
1. 土浦善弘、和商 0:36.2
2. 崎本 安、田邊中 0:38.2
3. 小仲彌幸、耐中 0:38.6
4. 林 美一、和師
5. 柳本友雄、耐中
6. 木下 豊、和商
- 男子100米背泳決勝
1. 土浦善弘、和中 1:19.4
2. 森 重雄、箕商 1:22.4
3. 崎本 安、田中 1:26.4
4. 小中彌幸、耐中

5. 中下弘三、和中
6. 木下 豊、和商
- 男子100米平泳決勝
1. 加藤 清、和中 1:23.6
2. 川崎銚二、和商 1:26.4
3. 川崎己代男、和商 1:28.0
4. 豊岡貞一、和師
5. 瀬順順介、和中
6. 清水敬次、和中
- 男子200米リレー決勝
1. 和師、水原、中田、上野、木村 2:02.4
2. 和商チーム
3. 田邊中チーム
4. 耐久中チーム
- 男子800米リレー決勝
1. 和商、西本、土浦、井村、島本 10:41.0
2. 耐久中チーム
3. 和中チーム
4. 和師チーム
5. 田邊中チーム

第四回水上競技大會

主催 大分縣體育協會
後援 白杵體育協會

場所 白杵中學校プール
期日 昭和六年九月十三日

- 男子100米自由型決勝
1. 衛藤幸男、白中 1:09.4

2. 神田治實、白中 1:09.7
 3. 徳永千助、白商 1:09.7
- 男子200米自由型決勝
 1. 衛藤幸男、白中 2:40.9大會新
 2. 鈴木伍郎、白中 2:47.3
 3. 中尾義一、白中 2:47.8
- 男子400米自由型決勝
 1. 堀 大助、白中 5:32.7大會新
 2. 坂本長次郎、白中 6:02.0
 3. 中尾義一、白中 6:05.8
- 男子800米自由型決勝
 1. 坂本長次郎、白中 11:59.0大會新
 2. 濱野宗三、白中 12:08.2大會新
 3. 吉田健一、白中 12:29.8大會新

- 男子100米背泳決勝
 1. 神田治實、白中 1:28.8
 2. 徳永千助、白商 1:29.0
 3. 加藤國雄、白中 1:29.5
- 男子200米平泳決勝
 1. 竹尾徳五郎、白商 5:13.0大會新
 2. 渡邊善一、白中 3:13.2大會新
 3. 甲斐三郎、白商 3:18.4大會新
- 男子1500米自由型決勝
 1. 堀 大助、白中 22:33.0大會新
 2. 濱野宗三、白中 23:47.0
 3. 相澤昌弘、白中 24:26.8
- 男子200米リレー決勝
 1. 白中、細戸、神田、衛藤、堀、

- 2:04.3大會新
 2. 白商、徳永、廣川、神崎、高橋 2:07.8
 3. 大師、久留島、園田新、園田正、立川 2:08.5
- 男子800米リレー決勝
 1. 白中、衛藤、坂本、堀、濱野 10:46.8大會新
 2. 白商、末松、工藤、佐藤、龜井 11:31.8
 3. 佐中、片岡、鹽月、平田、石川 11:57.6

昭和六年度全日本水上選手權大會並 第六回明治神宮體育會水上競技大會

- 主催 廣島縣教育會
 期日 昭和六年九月十四日
- 男子100米自由型決勝
 1. 岡政秋介、廣高師 1:17.6
 2. 根木三之介、廣高師 1:19.4
- 男子200米自由型決勝
 1. 奥野健造、廣高師 2:25.6

- 男子400米自由型決勝
 1. 奥野健造、廣高師 5:19.0
- 男子50米背泳決勝
 1. 沖野忠一、廣島安佐郡中原 0:50.0
- 男子100米平泳決勝
 1. 正本數雄、廣島觀音町 1:27.0
 2. 岩下雄二、廣高師 1:32.4

- 男子200米平泳決勝
 1. 正本數雄、廣島觀音町 3:28.0
- 男子800米リレー決勝
 1. 明治大學チーム 9:51.8
- 男子300米メドレーリレー決勝
 1. 明治大學チーム 3:44.6

第三回和歌山縣下學童水上競技大會

- 主催 和歌山縣師範學校水泳部
 後援 大阪毎日新聞社和歌山支局
 場所 和歌山縣師範學校プール
 (長さ25米)
 期日 昭和六年九月二十日
- 男子尋常科50米自由型決勝
 1. 井端吉一、九度山 0:37.4
 2. 河合繁雄、九度山
 3. 水原重明、野崎
 4. 中辻松造、妙寺
- 男子尋常科100米自由型決勝
 1. 三谷照夫、九度山 1:25.6
 2. 川合益雄、九度山
 3. 守岡啓次、妙寺
 4. 水原重明、野崎
- 男子尋常科200米自由型決勝
 1. 三谷照夫、九度山 3:11.8
 2. 川合益雄、九度山
 3. 守岡啓次、妙寺
 4. 松本光男、妙寺

- 男子尋常科50米背泳決勝
 1. 保脇利貞、九度山 0:45.2
 2. 井端吉一、九度山
 3. 妙中要造、妙寺
 4. 井上政治、九度山
- 男子尋常科100米平泳決勝
 1. 岡村 肇、妙寺 1:43.6
 2. 見鏡正雄、九度山
 3. 池永義一、野崎
 4. 西尾秀雄、九度山
- 男子尋常科200米リレー決勝
 1. 九度山山チーム、井端、川合、河合、三谷 2:35.8
 2. 野崎チーム、松下、池永、田村、水原
 3. 妙寺チーム、中辻、松本、松本、守岡
 4. 師附チーム、鹽谷、太田、中島、中島
- 男子尋常科150米メドレーリレー決勝
 1. 九度山チーム、保脇、見鏡、三谷 2:10.4
 2. 妙寺チーム、妙中、岡村、中村

- 男子高等50米自由型決勝
 1. 岸谷隆一、橋本 0:31.2
 2. 原 良夫、和高
 3. 脇田順一、九度山
 4. 福住一夫、九度山
- 男子高等100米自由型決勝
 1. 岸谷隆一、橋本 1:13.8
 2. 脇田順一、九度山
 3. 原 良夫、和高
 4. 玉置幸吉、妙寺
- 男子高等200米自由型決勝
 1. 前田 茂、妙寺 2:44.6
 2. 小西秀夫、九度山
 3. 横手文明、九度山
 4. 楠本正之、九度山
- 男子高等400米自由型決勝
 1. 前田 茂、妙寺 5:54.6
 2. 小田秀夫、九度山
 3. 横手文明、九度山
 4. 木村富造、妙寺

男子高等100米背泳決勝

1. 西畑憲一、九度山 1:31.4
2. 木澤熊市、九度山
3. 松本弘夫、妙寺
4. 久保 要、妙寺

男子高等200米平泳決勝

1. 西尾夫夫、九度山 3:31.4
2. 加藤義信、野崎
3. 下田土郎、妙寺
4. 三浦久二、妙寺

男子高等400米リレー決勝

1. 九度山チーム、横手、岡、小西、
脇田 5:30.6
2. 妙寺チーム、玉置、溝端、前田、
前田
3. 橋本チーム、氏岡、寺島、中岡、
岸谷
4. 和高チーム、豊田、兵谷、吉田、原

男子高等300米メドレーリレー決勝

1. 妙寺チーム、松本、三浦、前田
4:33.8
1. 九度山チーム、西畑、蓮沼、福住

女子尋常40米自由型決勝

1. 鹽見梅子、妙寺 0:39.2
2. 森岡伊都子、九度山

2. 林 久子、妙寺

3. 道上三四子、九度山

女子尋常100米自由型決勝

1. 枚 久子、妙寺 1:39.0
2. 山田 菊、妙寺
3. 森岡伊都子、九度山
4. 海堀道子、九度山

女子尋常50米背泳決勝

1. 鹽見梅子、妙寺 0:52.4
2. 松岡芳子、妙寺
3. 下村シゲ子、妙寺

女子尋常100米平泳決勝

1. 松岡芳子、妙寺 1:51.0
2. 佐田延子、九度山
3. 原田蓮枝、席附屬
4. 丹下富美子、橋本

女子尋常200米リレー決勝

1. 妙寺チーム、松岡、山田、鹽村
見 2:54.2
2. 九度山チーム、田中、海堀、道上
森岡
3. 橋本チーム、中山、三宅、浦和、
尾谷

女子高等50米自由型決勝

1. 畑中 榮、妙寺 0:39.8

2. 道上二三子、九度山

3. 奥田りん、九度山
4. 北畠清子、妙寺

女子高等100米自由型決勝

1. 中谷美代子、妙寺 1:29.4
2. 萩本千代子、九度山
3. 道上二三子、九度山
4. 北畠清子、妙寺

女子高等50米自由型決勝

1. 田中光枝、妙寺 2:58.8
2. 中谷美代子、妙寺

女子高等50米背泳決勝

1. 田中光枝、妙寺 0:42.2
2. 畑中 榮、妙寺

女子高等100米平泳決勝

1. 宮本日出子、妙寺 1:47.0
2. 西本幸子、妙寺
3. 玉置候枝、九度山

女子高等200米リレー決勝

1. 妙寺チーム、畑中、北畠、中谷、
田中 2:59.9
2. 九度山チーム、萩本、中野、道上
奥田

第九回關西學生水上競技大會

昭和六年九月十九、二十日

大阪築港プール

關西學生水上競技聯盟主催

50米自由形準決勝

1. 野村 弘 (關學) 0:28.0
2. 岸本芳郎 (關學) 0:28.2
3. 吉瀬智雄 (關學) 0:28.6

100米自由形決勝

1. 野村 弘 (關學) 1:04.4
2. 横田弘一 (同大) 1:05.0
3. 竹村公良 (同大) 1:05.4

200米自由形決勝

1. 松本治一 (關學) 2:24.6大會新
2. 奥野健造 (廣文) 2:25.4大會新
3. 兵庫慶二 (關學) 2:33.4

400米自由形決勝

1. 安藤秀信 (關學) 5:16.0大會新
2. 松本治一 (關學) 5:16.2大會新
3. 山尾大吉 (關學) 5:22.8

800米自由形決勝

1. 安藤秀信 (關學) 11:08.2大會新
2. 山尾大吉 (關學) 11:22.6大會新
3. 兵庫慶二 (關學) 11:24.4

100米背泳

1. 吉瀬智雄 (關學) 1:17.0大會新
2. 河合一郎 (同商) 1:21.8
3. 川喜田益夫(關學) 1:22.0

200米平泳

1. 小川賢助(神商) 3:10.0
2. 鍵本芳次(神商大) 3:15.0
3. 野田正雄 (關學) 3:17.8

200米リレー

1. 關西學院 1:52.0大會新
(岸本、野村、松本、吉瀬)
2. 同志社大學 1:59.0

(竹村、井上、齋藤、横田)

3. 第三高等學校 2:00.4
(谷口、百尾、大野、金子)

800米リレー

1. 關西學院 10:09.4
(山尾、兵庫、安藤、松本)
2. 同志社大學 10:48.8
(井上、齋藤、竹村、横田)
3. 同志社高商 10:50.4
(河合、大門、並川、前田)

300米メドレー・リレー

1. 關西學院 3:51.0
(吉瀬、野田、野村)
2. 同志社大學 3:59.8
(竹村、岡島、横田)
3. 神戸商大 4:02.8
(草野、小山、山田)

會報

昭和六年十二月

FINA

FINA名譽秘書より來翰

NSR専務理事 田畑政治殿

先月廿八日附、牧野正藏君の八百米自由型 10分16秒3の世界記録を申請されたる貴翰拜受、該記録は前のジャン・タリス作る所の 10分17秒2を破り、且つ書類も規則に適合して居りますから、新世界記録として通過するでせう。小生は早速記録證、並に記録章を作る事を命じましたから、何れ御手に入るでせう。

尙 FINAのオリンピック基金、12弗50仙及日米國際競技に對する税金1磅に對する領收書同封いたしましたから御査収下さい。

十月廿七日

FINA名譽秘書

レオ・ドナート

NSR専務理事 田畑政治殿

貴國水泳選手、牧野正藏君の八百米自由型 10分16秒3の世界記録に對する世界記録章を同封御送附申上げました。尙同君に對し、何卒くれぐれも宜しく御傳へ下さい。

十一月廿三日

レオ・ドナート

FINA議事録

FINAから十月三、四日白耳義に開催された理事會議事録、又同月四、五日、同所に開催された、國際水球委員會議事録、及八月廿三、廿七、廿九日、巴里のトゥレル水泳場に開催された國際飛込委員會の議事録が來て居るが、何れも大切なもので全文を掲載しなければならないのに、紙面が足り無から敢て次號に廻す事とした。但理事會議事録中新しい世界記録の報告だけを載せる事とする。

種目	姓名	國籍	時間	場所	水路	年月日
男 300m 自	J. Taris (タリス)	佛	3:27.6	レイム (佛)	25 m	1931.7.11
男 800m 自	J. Taris (タリス)	佛	10:17.2	カンヌ (佛)	50 m	1931.6.9
女 150y 背	J. Cooper (クーパー)	英	1:54.0	グラスゴー (英)	25 y	1931.6.5
女 200m 平	M. Hinton (ヒントン)	英	3:10.6	マンチェスター (英)	25 y	1931.7.20
女 500m 平	H. Wunder (ウンデル)	獨	8:52.0	ライプツヒ (獨)	25 m	1931.8.20

NSR

定例代議員會

昭和六年度定例代議員會は本聯盟規約に従ひ、全日本選手權大會を期して召集された。大會第一日即十月二日の夜東京九段富士見軒に於て晚餐後開催されたが議事多く、遂に續いて三日夜も神宮プール貴賓室に於て殘餘の議事を進

めると云ふ有様であつた。

第一日

出席者

NSR會長 末弘嚴太郎

代議員 關東水泳協會 (小林榮三、松澤一鶴) 新潟水上

競技聯盟（野村佐多雄、酒井由郎）京都體育協會（吉田四朗、小林龍二郎）白杵體育協會（志村弘、白石巖）臺灣體育協會（武田義人、藤本秀松）松江體育協會（小具練）名古屋體育協會（見田公一、鳥井義紀）濱名灣游泳協會（牧野敏一、田畑政治）大阪體育協會（杉本傳、齋藤巍洋、中尾保、深山昶）靜浦游泳協會（齋藤亨、青木優）全國學生水上競技聯盟（野村憲夫、井澤和夫、磯部百男、松浦武雄、小松崎三次、井關親之輔）

NSR評議員 石本巳四雄、飯田光太郎

NSR會計 西本龍三

NSR各部委員 本井功、鶴岡英吉

傍聽 三重水泳聯盟（松本治雄）

委任狀（NSRに全權を委任されたる加盟團體）愛知水泳協會、福岡水泳協會、廣島縣教育會、岩手水泳協會、宮城水泳協會、滿洲體育協會、小樽體育協會。

外に石川縣體育協會は岩地外松氏に委任されたれども欠席。岡山縣體育協會は全然返事なし。欠席

1. 議事

今年度に於ける事業報告は、時間も無き故、本誌の報告を以て此に代へ省略する事に満場一致を以て承認。

2. 新加盟團體の件

初に靜浦游泳協會加盟の件の報告あり、次に申請ありたる次の諸團體の加盟が承認された。

三重水泳聯盟。秋田縣體育協會。

和歌山游泳協會。野尻湖游泳協會。

尙朝鮮體育協會水上部は申込みありたれども書類未着の爲留保となる。

3. 會計報告

會計西本氏より下記の如く報告承認された。

昭和5年度收支決算

	円
収入	5443.35
内、文部省獎勵金	600.00
加盟團體分擔金	520.00
5年度選手權大會收入	4283.35
支出	2903.35
内、雑誌水泳補助	980.00
日本記録證代	272.50
最高記録章代	165.00
FINA納付金	30.00
通信費	144.50
神宮鎮座十週年游泳聯盟寄附	300.00
プール測定員派遣費	120.00
會場費	60.00
會合費	320.00
（プール設計打合せ會を含む）	
講習會器具設備費	443.35
差引殘高	2500.00

昭和5年度選手權大會決算

収入	14562.27
支出	10278.92
外國選手4名招待費	5913.52
競技會費用	1460.00
準備費	2905.40
差引殘高	4283.35

日米大會決算

（第八號本誌参照の事）

尙日米大會決算に於て、殘高 11974圓78錢及米國チームより精算の結果返るべき金はオリンピック選手派遣費として豫定したるものなれども、一時神宮プール建設費に流用すべき事をも一致承認された。

4. オリンピック大會に關する方針

田畑事務理事はオリンピックに對する本聯盟の方針に就て左の如く述べた。

一昨年來本聯盟はオリンピック第一主義を以て進んで來たが、目的とする所は男子競泳を中心とするものであつた。が最近大日本體育協會の情勢は蹴球がオリンピックから排除され、派遣選手の人員に稍餘裕もあるが故に、水上競技の男子競泳以外の種目の競技者をも更に追加出場せしむる絶好の機會と信じ、且學生水球リーグよりの要望もあり、茲に斷然男子競泳に重心を置き、之が充分に戦へるだけの人員と、リレー平泳を中心としたる數名の女子競泳チームと、飛板並に高飛込に對する少數の飛込チームと、最少限度の補欠を含む水球チームに、役員コーチを含む有力なる水泳チームを派遣する決心で、體育協會と交渉し、遂に岸會長の好意ある諒解を得たので本誌第八號所載オリンピック第一次豫選としての全日本選手權大會の計畫を發表したのである。

此に依り名古屋體協提案の女子選手派遣數の増加の件は不必要となり撤回され、理事會の處置に對し満足の意を表し、田畑氏の勞に對し感謝した。尙、同時に發表されたる候補者に對する冬春の合宿練習の件及來年度のオリンピック豫選會の方法も確認された。

しかも水球チーム銓衡に關しては、本年度選手權獲得チームが第一に選ばれるべきは當然なるが、此のみにては練習も充分ならざる點があるので、現在最も有力なる學生水球リーグの結果を待ちて、更に候補者を追加すると共に、今年は水球もオリンピックに参加し得る點が、全國に徹底して居らなかつたから來年競泳の最終豫選の頃に全國のチームに對し挑戰の機會を與へると云ふ方針をも決定した。

5. 昭和七年度選手權大會の件

來年はオリンピックの爲、日本選手の歸朝を待つて選手權大會を開催するを適當と認め、規定の八月第四日曜は延期する事となつた。九月月上旬頃とし、期日は遠征選手の船の都合等の決定を待つて改めて發表する。

尙同大會には歐洲選手の歸途を東洋經由にして貰ひ、日

本に國際競技を開く希望が大阪體協及理事會等より提出満場賛意を表した。ハンガリー、獨逸等の一流の水球チームを二組と、歐洲の有名なる競泳選手を招聘する事、日本選手權爭奪として参加せしめ、特別な國際對抗競技とはせざる事、交渉は理事會一任、と決定した。尙此の外國選手はなるべく時間の許すかぎり關西方面に於ても技を示す様取計ふべき希望が出た。かゝる計畫の下に行ふ全日本選手權大會を支持する爲、全國學生水上競技聯盟に於ても其の大會期日を變更する等の便宜の處置を計る様出席代議員を通じて聯盟側より希望した。

6. 在京代議員設置の件

聯盟本部と地方加盟團體との一層密なる連絡と接觸とを期する爲、代議員を各加盟團體三名に増し、一名は必ず東京在住者を選び、一ヶ月に一回位の在京代議員會を開催せんとする案は熱烈たる賛成を受けた。各加盟團體はなるべく早く本部に其の氏名を通知する事に決した。

7. 競技委員を部門別にする件

競技委員を設置してより以來益々其の機能の重要性を認められ、一層發展せしむべき必要あり、今後、競技委員を更に種目に依り分ちて、競泳、飛込、水球各競技委員と、標準泳法競技委員とにする事に一致賛成した。

8. 代議員會延期の件

斯て重要議事多數の爲、代議員會を翌日(三日)に延期する事とし、場所は神宮水洋場貴賓室、競技終了後直に開泳と決定して散會した。

第二日

出席者

NSR會長 末弘嚴太郎

代議員 大阪體育協會(杉本傳、齋藤崑洋、深山杲)關東水泳協會(小林榮三、松澤一鶴)京都體育協會(吉田四朗)靜浦游泳協會(齋藤亨、青木優)濱名灣游泳協會(牧野敏一、田畑政治)松江體育協會(小具鍊)臼杵體育協會(白石嚴)名古屋體育協會(齋藤劔次、林身松)全國學生水上競技聯盟(野村憲夫、小松崎三次、井澤和夫、磯野百男、野田一雄、松浦武雄)新潟水上競技聯盟(野村佐多雄、酒井由郎)

NSR評議員 石本巳四雄、飯田光太郎

NSR會計 西本龍三

NSR競技委員 本井 功

委任狀 前日に同じ

議事

1. 來年度全日本選手權大會各地豫選會の期日の件

一定の時期に行ふ事に決定。但し朝鮮、滿洲、臺灣等の遠隔の地は此の限りに非ず。

2. 選手權豫選會申込に就て

關東水泳協會は、選手權豫選會の申込に就て同一人が同時に二個所以上の豫選區に申込み得ざる事を提案した。前項の要旨も選手權大會の準備を容易ならしむると同時に、或る競技者が資格を得る爲に各地豫選會に數回出場するの弊を認めた結果たるが故に、此の提案も異議なく可決された。

3. リレーチームの解釋

選手權豫選會等に於て獲得せるリレー・チームの其の後

の出場權は、本聯盟に於てはチームとして得たるものと認められ、其の團體内に於てリレー・メンバーの變更を許される事となつた。即ちオリンピックに於ける主義を採つたものである。但し其の後の會に對して申込み得る人員は從來通り六名である。

4. 前年度選手權保持者の優先權

前年度日本選手權保持者を選手權大會に招待する爲に、主催加盟團體は該保持者の現住所より開催地迄、二等往復旅費を支給すべき事を原則とする事となつた。此は地方加盟團體に於て選手權大會を開催する場合にも選手權保持者に出場を容易ならしめる事は一層大會の經理を安全ならしめると云ふ意見の下に一致賛成された。

5. 選手權大會出場者數の件

現代の如く各加盟團體とも選手權大會に對する出場資格者(即豫選通過者)の數を平均に各種目とも三名迄とするのは申込者の非常に多き地方と少き地方とに於て不公平を生じ、爲に種々なる弊害を生ずる傾向あるを以て、申込者の數に比例して選手權大會への出場者を増加せしむる様、具體案を作製する事を理事會に一任せられた。

6. 聯盟規約第四條改正の件

來年度の規約改正に當つては、第四條に本聯盟が大日本體育協會並に明治神宮體育會の加盟團體なる事を挿入する事を一致賛成す。

7. 靜浦游泳協會より代議員會に於ける

A. 各加盟團體の議決の投票數を決定する事

B. 代議員の義務權限を明示されたき事

を提議したが、A項はNSRに於ては創立の當初より票數による決定を絶対にさけ、常に協議一致して進み來れる事を會長より説明があつたので、充分に諒解され提議を撤回した。B項に就ては聯盟規約の不備を認め、規約改正に際し追加明示する事に決した。

8. 各部委員擴張の件

前日の決定に依り競技委員の擴張をなすと同時に、國際競技の數多くなるに従ひ、外國關係委員の設置と、聯盟の内容の膨脹に従ひ、組織委員の新設の必要ある事を認め、其の案を作る事となつた。

9. 代議員改選時期

聯盟規約第九條に於て、例年代議員改選時期を四月としてあつたが、此の爲に毎年「水上競技規定」の發行の遅延を來し不便少なからず、此を一月末日に改選する事に決定した。

10. アマター規約に關して

A. 此の重要な規約が巻末追録中にあるのは、誤解を招くから斷然本章中に入れる事

B. FINAのアマター規約中未だ本聯盟規約に加へられざるものあるのは遺憾であるから同時に此を加へ、其字句の不適當なるものを改正する事

C. 公認競技會の主旨徹底を期する事

D. インヴェイション・ゲーム禁止の事(關東水泳協會提案)旅費、滞在費を支給して競技者を招待する競技會は本聯盟並に加盟團體以外は之を行ふ事を得ず其以外の者が之を行ふ必要ある場合には、本聯盟或は當該地方加盟團體の許可を得る事を要し、且其の競技會に關する精算書を提出せしむる案は滿場

一致賛成された。

7. アマター登録の件を研究する事に決した。

11. メドレー・リレーのチームを六名とする件

聯盟競技規定第十二條のメドレー・リレーのチームを六名とする件は満場一致賛成。

12. 抗議の規定に關する訂正

競技規定第十三條の抗議の項は意味不明瞭にて、且FINA規約と比較して訂正を要する點あり、規約改定の際は此の點を考慮すべき事を要求せられた。

13. 日本女子水上競技聯盟

該聯盟加盟の件は組織として欠くる點あるを認め否決された。從來本聯盟の方針に於て、女子競技促進の點に欠くる憾あり。依つて此を機會に聯盟に婦人部を設くる意味にて女子競技委員を設置し、尙同時に各加盟團體に於ても同様の組織を作る事の考慮を求むる事に決した。

14. 役員改選の件

前日の決定に従ひ在京代議員の出來るを俟ちて、理事、競技委員等此と接觸を保ちて今後の事を處理する方針は賛成され、且、現會長、理事を以てもう一年進みオリンピックを了る案(理事田畑並に京都案)は満場一致賛成された。

尙オリンピック第二次豫選頃に出來得れば代議員會を行ひ、オリンピック中の役員補充に關する件を議する豫定

15. 記録申請書を印刷配布する希望あり、可決。

16. 本聯盟の性質上、理事の期限、會計年度等を選手權大會より選手權大會迄として行ふ主旨は賛成された。

17. 全日本選手權大會の種目變更の件

男子50米背泳は、100米背泳を助長する目的で加へたるものであつたが、既に其の計畫は或る點まで成功したものと認め、次回よりは再び200米背泳と改め、又なるべく種目を減ざる爲に300米メドレー・リレーを廢止する事となつた。

終りに臨み末弘會長より日本水上競技聯盟の將來につき他團體より嫉るれざる様充分の戒心を要すべき事の注意あり、散會。

オリンピック選手候補者銓衡會

十月四日全日本選手權大會終了後直ちに神宮水泳場貴賓室に於て開催し、異常の緊張を示した。

銓衡委員出席者(委員長)末弘嚴太郎(委員)石本巳四雄、飯田光太郎、大澤保三郎、小林榮三、齋藤藤洋、杉本傳、田畑政治、西本龍三、野村憲夫、松澤一鶴、本井功、

欠席 村松正一、堀江耕造の兩氏。

銓衡方針。オリンピック選手候補者(即明年第二豫選を経ずして最終豫選に出場し得るもの)の銓衡方針が先次の如く定められた。

A. 男子競泳。昭和六年度選手權保持者、同選手權大會のオリンピック種目に於て三等迄の入賞者(但リレーは一等)或は其以下に於て入賞者とタイムに於て大差なきも及日米大會代表選手にして本大會に出場したるもの(冬、春の休暇中合宿練習をなす)

B. 女子競泳。オリンピック入賞を目標とし、四百米リレー、平泳、背泳に出場せるものより見込ある者。

C. 水球。先本大會の優勝チームを選び、次で學生水球リーグ終了後に一組位のピックアップチームを銓衡し合同して練習をなす。

D. 飛込。女子競泳と同じく入賞の見込あるもの。

候補者氏名

主任コーチ 松澤一鶴

男子競泳。宮崎康二、高橋成夫、河石達吾、横山隆志、武村清、武村寅雄、牧野正藏、北村久壽雄、清川正二、入江稔夫、河津憲太郎、小池禮三、原毅、伊藤三郎、鶴田義行、新間六炳、野田一雄、片山兼吉、豊田久吉、遊佐正憲、大横田勉、坂上安太郎、小出義彦、中川重雄、鈴木政雄、高石勝男、塚原茂樹、根來幸成。

女子競泳。松澤初穂、荒田雪江、小島一枝、前畑秀子、山田金野、守岡初子、淺井品子、吉田文子、加藤好子、横田みさを。

水球。(稻泳會)高石勝男、藤田明、時任巖、竹林隆二、土井修爾、上野克巳、松本隆重、阪上安太郎、延東善太郎、飛込競技。小林一男、原西三、原秀夫、野田卓夫、生江哲太郎、西尾太郎、石田英勝、鎌倉悦子。

オリンピック選手候補者追加

先の決定に依り學生水球リーグより水球候補者の追加をした。尙コーチ松澤の意見に依り萬全を期する爲、銓衡委員の意見を書面にて徴したる結果、男子競泳も左の如く追加、發表した。

水球追加。高橋成夫、澤海東助、木村清兵衛、坂倉隆吉、清水清秋、小柴義清、黒川武夫、村井清、土屋三千雄。

水球チーム及練習の事に就ては藤田、坂倉の兩氏に委嘱す。

男子競泳選手追加。知念繁夫、石原田愿、鈴木重孝、山田弘、宮本武夫、志村義久。

編輯後記

躍進を續けた昭和六年も將に暮れんとしてゐる。年改ると共に一九三二年!!吾等が世界の覇を稱える可き希望に満ちた年だ。

○

第九號は十二月一日に發行する豫定の處、昭和六年度新記録の審査會が十二月に入つてから行はれたので、その結果を誌上に發表したいと待つてゐたので遅くなりま

日本水上競技聯盟機關雜誌 **水 泳 第 九 號**
特別定價 四十錢 一年六回隔月發行
 預約申込者に限り販布す (一年前金豫約) (は送料不要)
 廣告料 十圓乃至三十五圓
 御申込次第詳細回答
 昭和六年十二月廿七日納本
 昭和六年十二月三十日發行
 編輯兼發行人 鶴岡英吉 (日本水上競技聯盟代表)
 印刷者 平林唯逸
 印刷所 東海印刷所 東京府蒲田町北蒲田 833
 發行並 東京市四谷區神宮外苑プール
 申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所 振替 貯金 東京 三九九一九番

した。惡からず。尙六年度ベストテンは原稿締切の間に合はず残念乍ら次號に廻します。

○

本號は原稿が澤山で五十頁を突破しました中には貴重な原稿を頁を飛ばして組んだのもあります。編輯子の無能として御寛恕を乞ふ

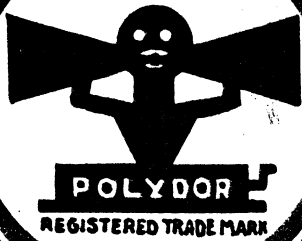
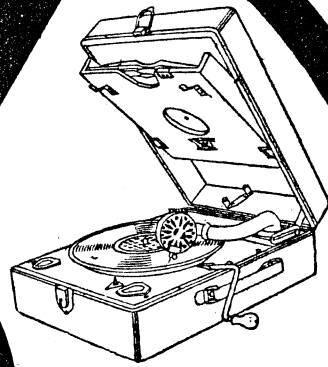
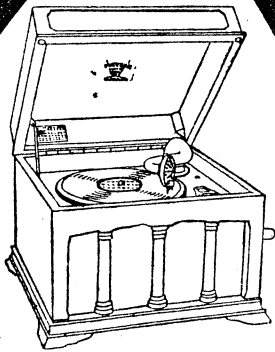
○

會員諸君の御健康を祝し、新春を迎へて尙一層我が水上競技發達の爲めに御奮闘あらん事を祈る。

器音蓄式一アフリポの一第界斯

ポリドール

これ
です……
あなたのご家庭
に華彩を添へる
もの



新 發 賣

ご旅行に
ポータブル

重量僅かに七・五匁
手提型蓄音器の白眉
定價五拾圓也

音の大きい

モデル百號型

家内中誰れも喜ぶ
すばらしい音量
自働停止器付
定價六拾圓也



モデル二百號型
新しいポリファ
ー式蓄音器です。
これは今迄のよ
り稍高級に造ら
れました。音の

分離の良いのは
音管とトーンア
ームの改善によ
るものです。こ
れでこそ名實第
一の蓄音器！
新しい座敷用

定價七拾五圓也

蓋カバ一及自働停止器付